

平成 22 年度
市民意識調査報告書

平成 22 年 11 月

寝屋川市

◆ 報告書の見方

- 各集計の構成比は百分率で表し、四捨五入して小数点以下第1位で表示しているため、合計が100%にならない場合がある。
- グラフ中のNは構成比を表示する際の母数を示す。
- 図表中及び文章中、選択肢などを一部省略して表記している場合がある。

目 次

1. 調査の概要	1
2. 調査結果	3
回答者の属性	3
問1 日頃の行動などについて	12
問2 安全で安心できるまちづくりについて	15
問3 安全で安心できるまちづくりの実現に向けた取組について	17
問4 健康でいきいき暮らせるまちづくりについて	25
問5 夢を育む学びのまちづくりについて	28
問6 夢を育む学びのまちづくりの実現に向けた取組について	31
問7 快適でうるおいのあるまちづくりについて	45
問8 環境を守り育てるまちづくりについて	49
問9 活力あふれるにぎわいのまちづくりについて	51
問10 市民が主役のまちづくりについて	52
問11 将来を見据えた自治経営について	53
参考資料	
資料1 市民意識調査内容	57
資料2 単純集計結果	67

1. 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、今後の市政運営の参考とするため、市民を対象に意識調査を行い、市の現状や将来のまちづくりに対する意識やニーズを把握することを目的とする。

(2) 調査項目

- 問1 日頃の行動などについて
- 問2 安全で安心できるまちづくりについて
- 問3 安全で安心できるまちづくりの実現に向けた取組について
- 問4 健康でいきいき暮らせるまちづくりについて
- 問5 夢を育む学びのまちづくりについて
- 問6 夢を育む学びのまちづくりの実現に向けた取組について
- 問7 快適でうるおいのあるまちづくりについて
- 問8 環境を守り育てるまちづくりについて
- 問9 活力あふれるにぎわいのまちづくりについて
- 問10 市民が主役のまちづくりについて
- 問11 将来を見据えた自治経営について
- 問12 あなたご自身のことについて

(3) 調査の設計

- ①調査対象地域
寝屋川市全域
- ②調査対象
市内に在住する満18歳以上の市民（平成22年7月1日現在）
- ③標本数
3,500人
- ④抽出方法
単純無作為抽出
- ⑤抽出台帳
住民基本台帳・外国人登録原票
- ⑥調査方法
郵送配布・郵送回収による郵送調査法
- ⑦調査時期
平成22年8月19日（木）～8月31日（火）
- ⑧礼状兼督促状
第1回：8月27日（金）、第2回：9月2日（木）

(4) 回収結果

- ①標本数 3,500 人
- ②有効配布数 3,474 件
- ③有効回収数 2,116 件
- ④回収率 60.5%

(5) 標本誤差

本調査は、95%の信頼度のもとで標本誤差2.5%以内に収まるよう、回収率43.6%を見込み配布数を3,500件とした。

調査の結果、2,116件を回収し、標本誤差は2.16%となり、目標どおりの結果を得た。

$$b = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差

N = 母集団数 (18歳以上の総人口)、203,047 人

n = サンプル数 (比率算出の基礎)、2,116 件

P = 回答比率、50%とする

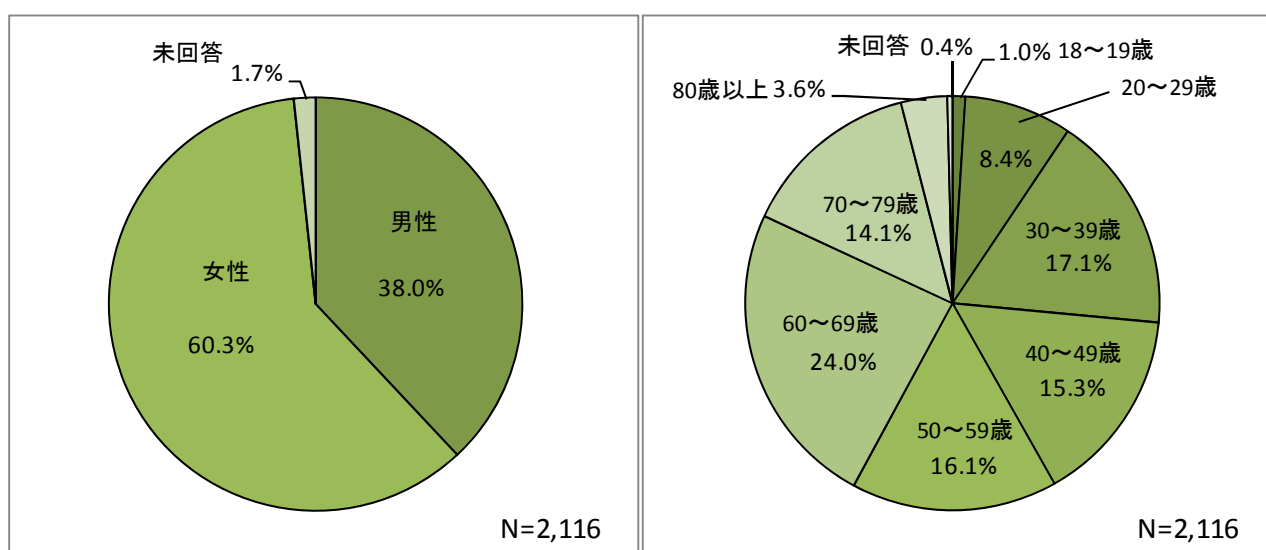
2. 調査結果

回答者の属性

(1) 性別・年齢

回答者は男性が38.0%、女性が60.3%、未回答が1.7%であった。平成22年7月1日の住民基本台帳及び外国人登録原票（以下「住民基本台帳等」とする）による18歳以上人口は、ほぼ同比率（男性48.4%、女性51.6%）であるので、回答者の属性としては、女性の比率が高くなっている。

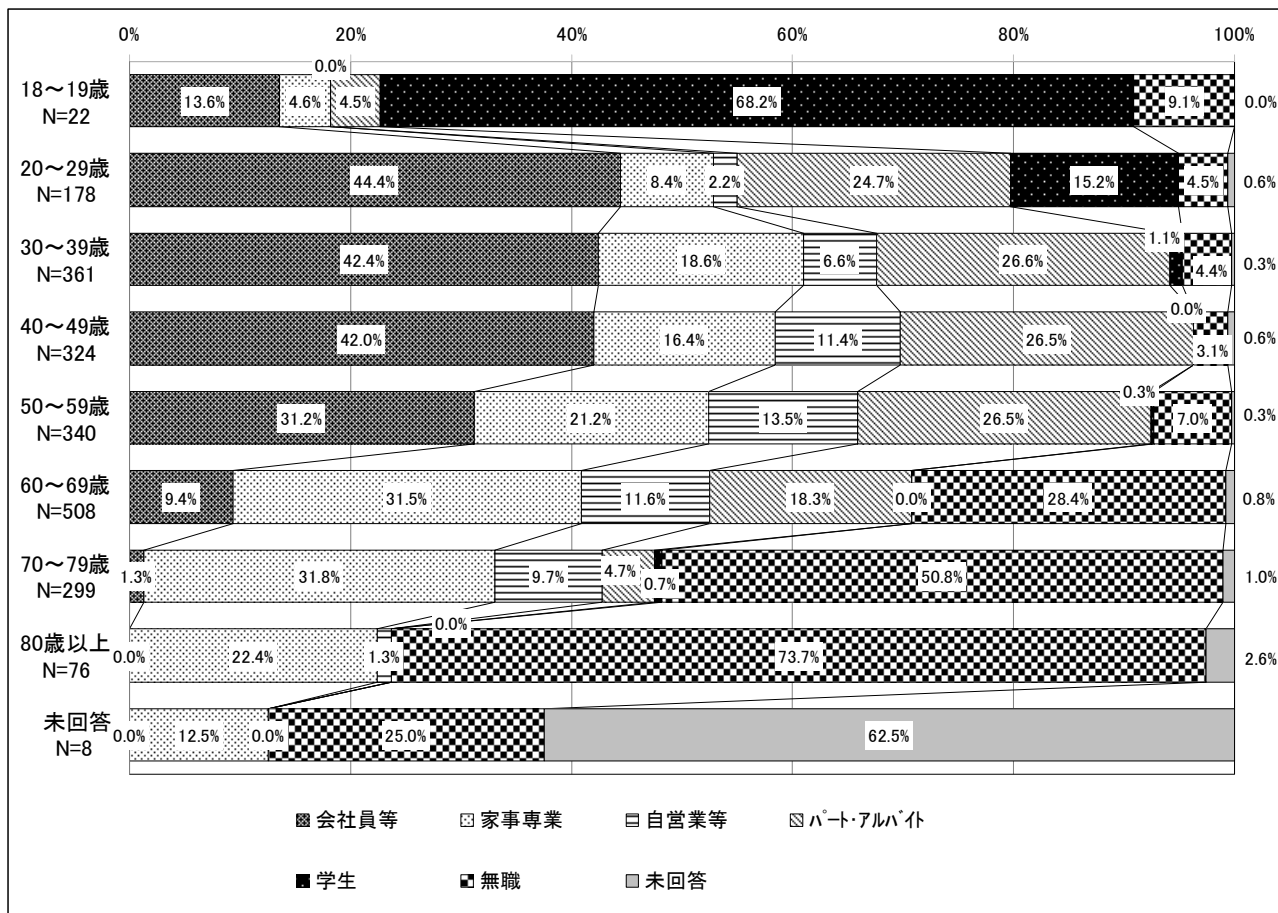
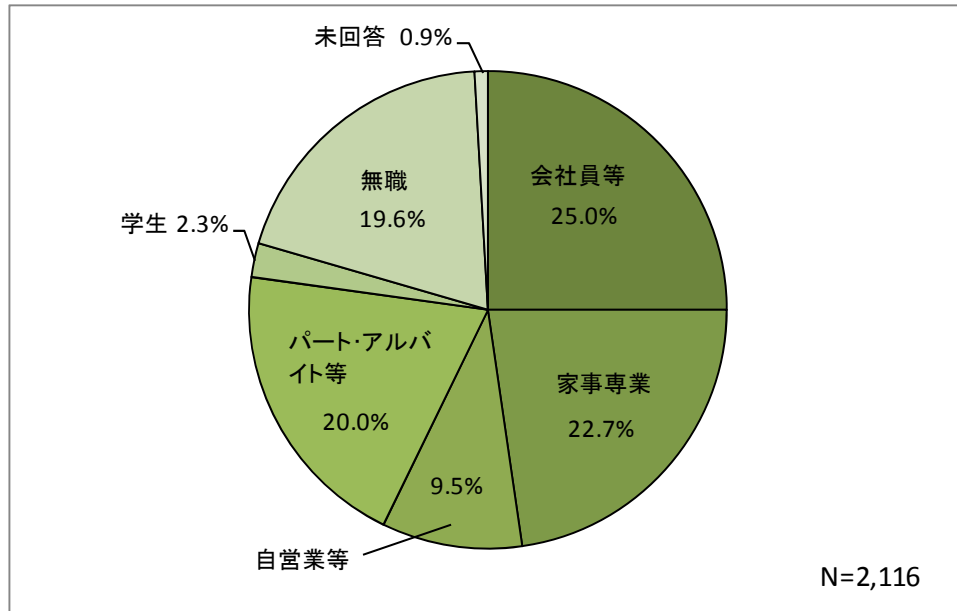
また、年齢構成比は、「10歳代」が1.0%、「20歳代」が8.4%、「30歳代」が17.1%、「40歳代」が15.3%、「50歳代」が16.1%、「60歳代」が24.0%、「70歳代」が14.1%、「80歳以上」が3.6%である。



(2) 職業

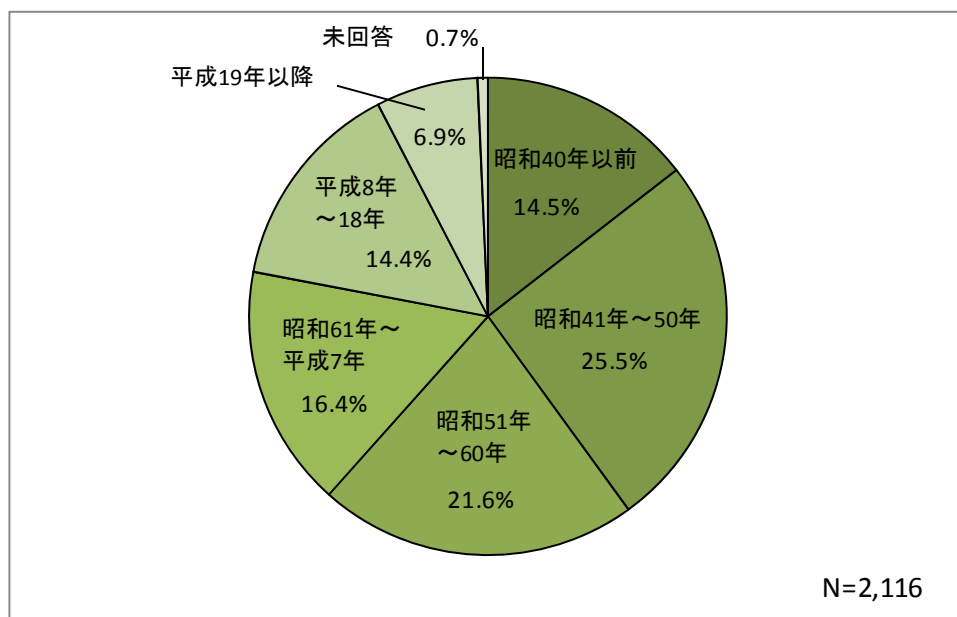
回答者の職業を見ると、「会社員・公務員」が25.0%、「家事専業」が22.7%、「自営業・会社役員」が9.5%、「パート・アルバイト・契約社員・派遣社員」が20.0%、「学生」が2.3%、「無職（学生、家事専業を除く）」が19.6%である。

年齢別に見ると、20歳代から40歳代までは「会社員・公務員」が40%台となっている一方、20歳代から50歳代までで「パート・アルバイト・契約社員・派遣社員」が20%台となっている。10歳代は「学生」、60歳代以上は「無職」と「家事専業」が多いという結果になった。



(3) 居住時期

回答者の本市の居住時期は、「昭和40年以前」が14.5%、「昭和41年～50年」が25.5%、「昭和51年～60年」が21.6%、「昭和61年～平成7年」が16.4%、「平成8年～18年」が14.4%、「平成19年以降」が6.9%である。

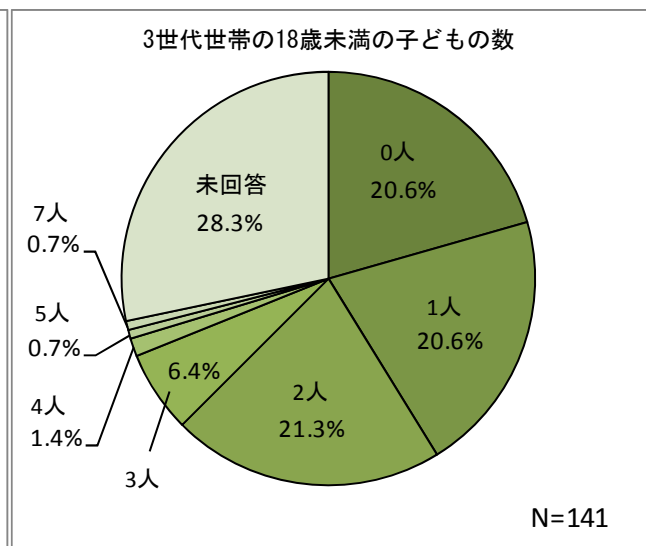
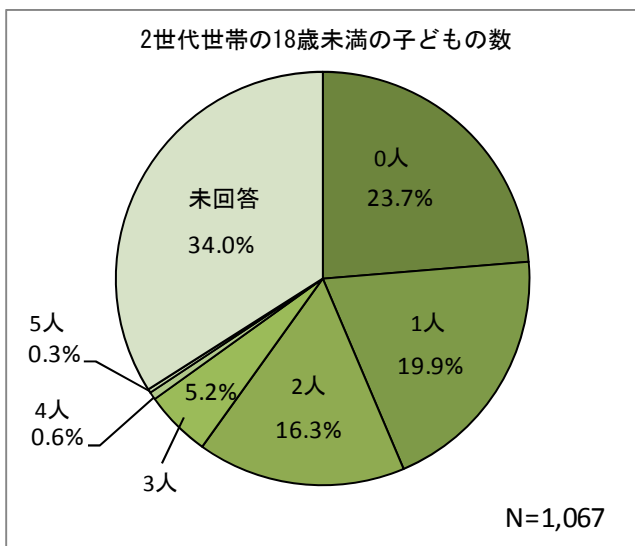
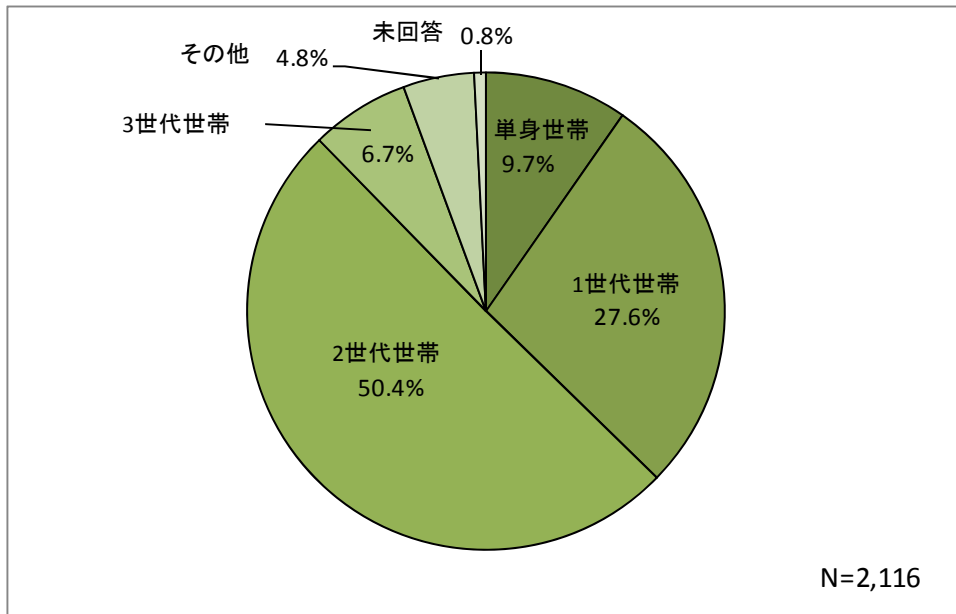


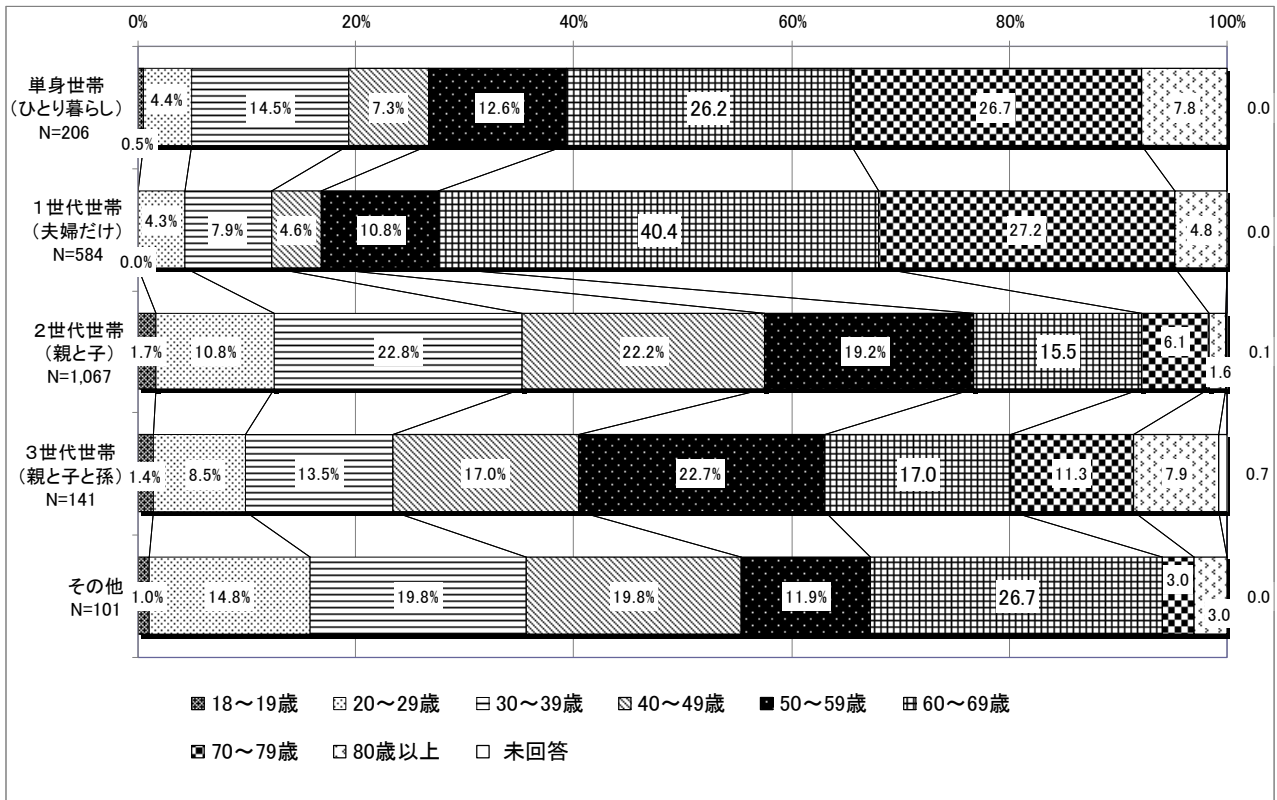
(4) 家族構成

回答者の家族構成は、「単身世帯（ひとり暮らし）」が 9.7%、「1 世代世帯（夫婦だけ）」が 27.6%、「2 世代世帯（親と子）」が 50.4%、「3 世代世帯（親と子と孫）」が 6.7%である。

2 世代世帯の 18 歳未満の子ども数は、「0 人」が 23.7%、「1 人」が 19.9%、「2 人」が 16.3%、「3 人」が 5.2%となっている。3 世代世帯では、「0 人」が 20.6%、「1 人」が 20.6%、「2 人」が 21.3%、「3 人」が 6.4%である。

また、家族構成と年代を見ると、単身世帯、1 世代世帯の 60 歳以上の割合が高くなっている。

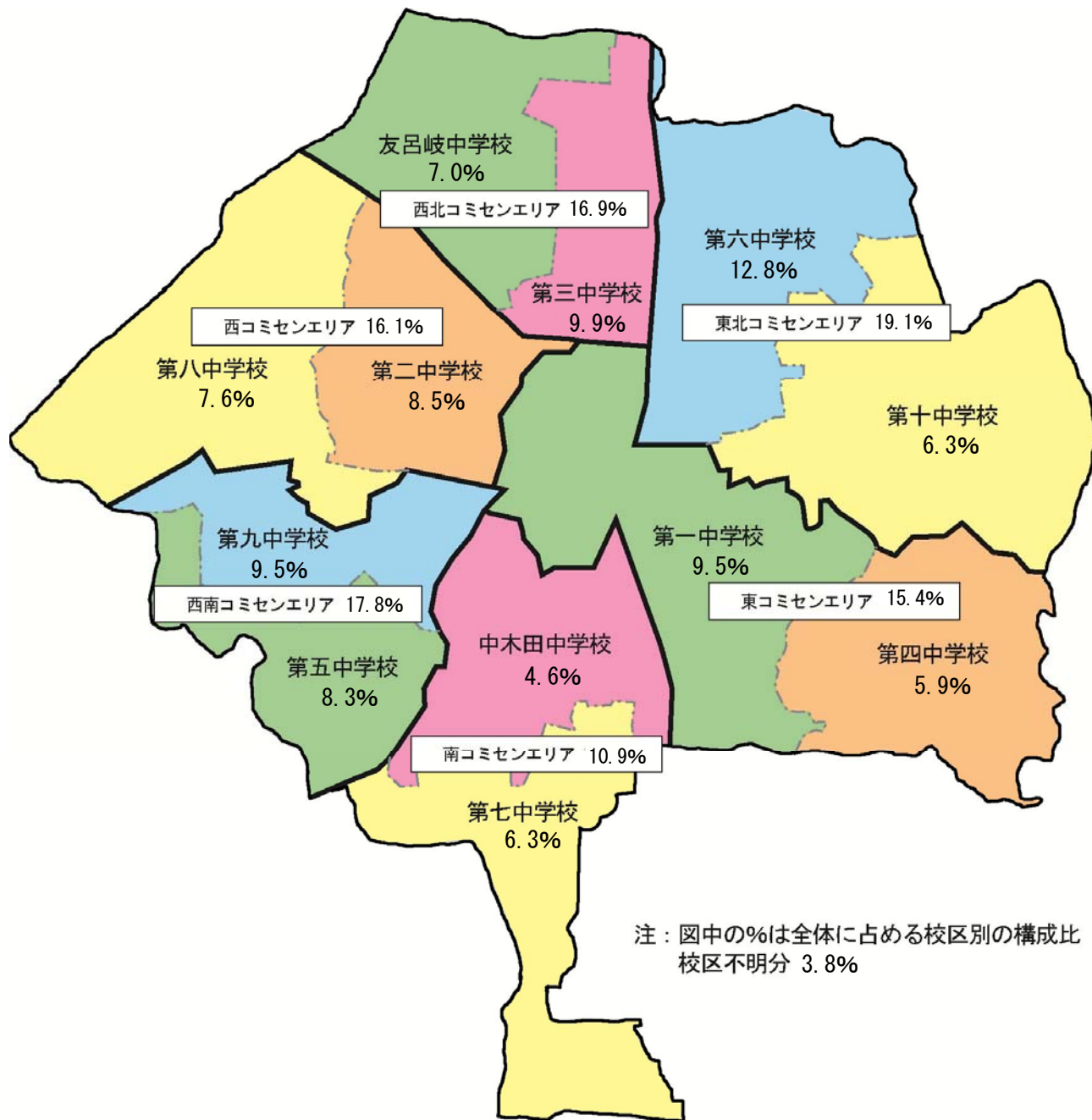




(5) 居住地区

居住地区別の回答者数は人口分布を反映しており、「第六中学校区」が多く、「第四中学校区」、「中木田中学校区」が少ない。

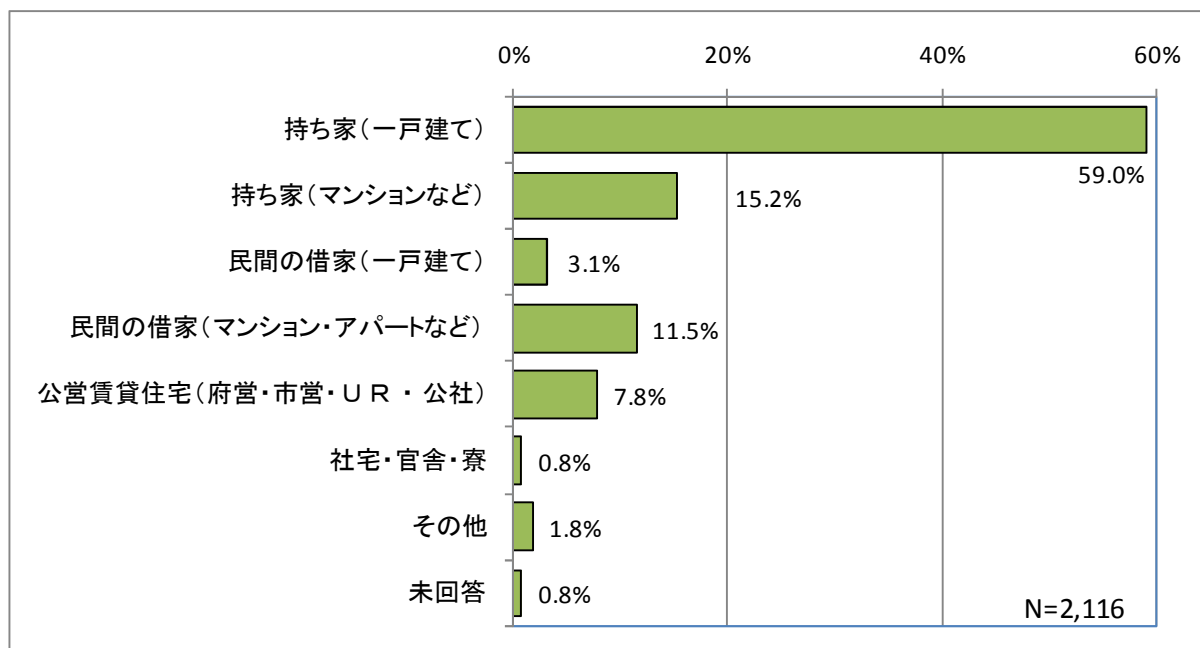
また、コミセンエリア別にみると、「東北コミセンエリア」が19.1%と最も多く、ついで「西南コミセンエリア」が17.8%、「西北コミセンエリア」が16.9%である。以下、「西コミセンエリア」16.1%、「東コミセンエリア」15.4%、「南コミセンエリア」10.9%である。



注：図中の%は全体に占める校区別の構成比
校区不明分 3.8%

(6) 住宅形態

回答者の住宅形態は、「持ち家（一戸建て）」が 59.0%と6割近くを占め、「持ち家（マンションなど）」の 15.2%を合わせた持ち家の合計は 74.2%である。また、「持ち家（一戸建て）」と「民間の借家（一戸建て）」を合わせた一戸建て居住者は、62.1%である。



(7) 回答者の傾向

本意識調査の対象者は住民基本台帳等から無作為に抽出したが、回収率が100%でないため、回答者の属性は市民（母集団）と若干のずれがある。

本意識調査の回答者属性と住民基本台帳等（平成22年7月1日現在）を比較すると、回答者の傾向は以下のとおりである。

- ① 男性の構成比が低く、女性が上回っている（表1）。
- ② 20歳代、30歳代の構成比が低く、60歳代、70歳代が高くなっている（表2）。
- ③ 中学校区別の人口構成比は、概ね母集団を反映している（表3）。

表1 18歳以上男女別人口と回答者

	住民基本台帳等		本意識調査		差
	人口	構成比	回答者	構成比	
合計	203,047	100.0 %	2,116	100.0 %	—
男性	98,341	48.4 %	805	38.0 %	▲ 10.4 %
女性	104,706	51.6 %	1,276	60.3 %	8.7 %
未回答	—	—	35	1.7 %	—

表2 18歳以上年代別人口と回答者

	住民基本台帳等		本意識調査		差
	人口	構成比	回答者	構成比	
合計	203,047	100.0 %	2,116	100.0 %	—
10歳代	4,480	2.2 %	22	1.0 %	▲ 1.2 %
20歳代	25,568	12.6 %	178	8.4 %	▲ 4.2 %
30歳代	37,259	18.3 %	361	17.1 %	▲ 1.2 %
40歳代	32,795	16.2 %	324	15.3 %	▲ 0.9 %
50歳代	28,567	14.1 %	340	16.1 %	2.0 %
60歳代	40,239	19.8 %	508	24.0 %	4.2 %
70歳代	24,130	11.9 %	299	14.1 %	2.2 %
80歳以上	10,009	4.9 %	76	3.6 %	▲ 1.3 %
未回答	—	—	8	0.4 %	—

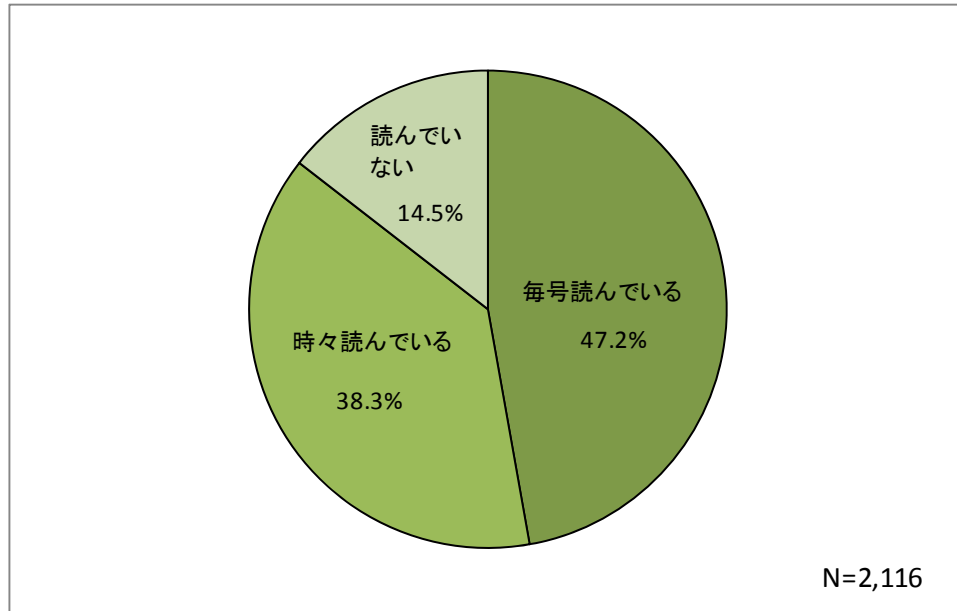
表3 18歳以上中学校区別人口と回答者

	住民基本台帳等		本意識調査		差
	人口	構成比	回答者	構成比	
合計	203,047	100.0 %	2,116	100.0 %	—
第一中学校区	19,821	9.8 %	201	9.5 %	▲ 0.3 %
第二中学校区	19,055	9.4 %	180	8.5 %	▲ 0.9 %
第三中学校区	21,423	10.5 %	210	9.9 %	▲ 0.6 %
第四中学校区	10,930	5.4 %	124	5.9 %	0.5 %
第五中学校区	17,300	8.5 %	176	8.3 %	▲ 0.2 %
第六中学校区	24,526	12.1 %	271	12.8 %	0.7 %
第七中学校区	14,440	7.1 %	132	6.3 %	▲ 0.8 %
第八中学校区	16,207	8.0 %	160	7.6 %	▲ 0.4 %
第九中学校区	16,993	8.4 %	201	9.5 %	1.1 %
第十中学校区	15,491	7.6 %	134	6.3 %	▲ 1.3 %
友呂岐中学校区	13,904	6.8 %	148	7.0 %	0.2 %
中木田中学校区	12,957	6.4 %	98	4.6 %	▲ 1.8 %
わからない	—	—	5	0.2 %	—
未回答	—	—	76	3.6 %	—

問1 日頃の行動などについて

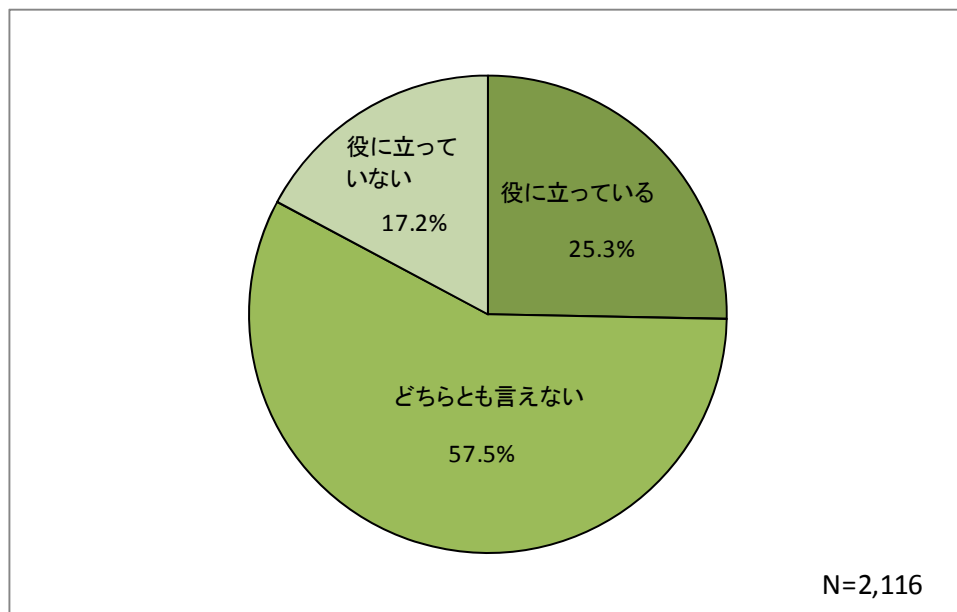
問1-1 あなたは、「広報ねやがわ」を読んでいますか。

「毎号読んでいる」が47.2%と5割近くを占め、「時々読んでいる」の38.3%を合わせた「読んでいる」は85.5%で8割以上を占めている。



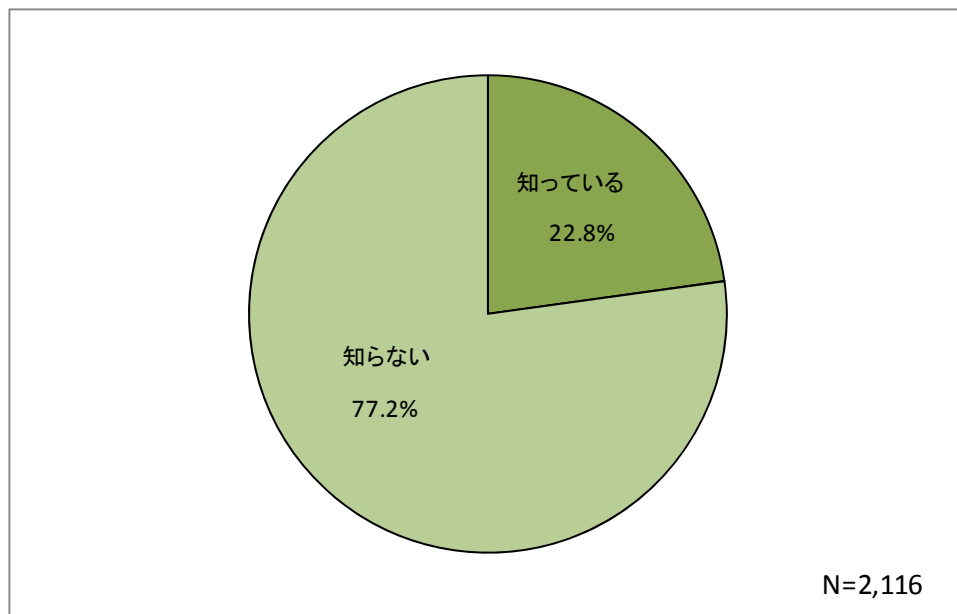
問1-2 あなたは、消費生活センターからの情報が役に立っていると思いますか。

「どちらとも言えない」が57.5%で最も多く、「役に立っている」が25.3%で、「役に立っていない」の17.2%を上回っている。



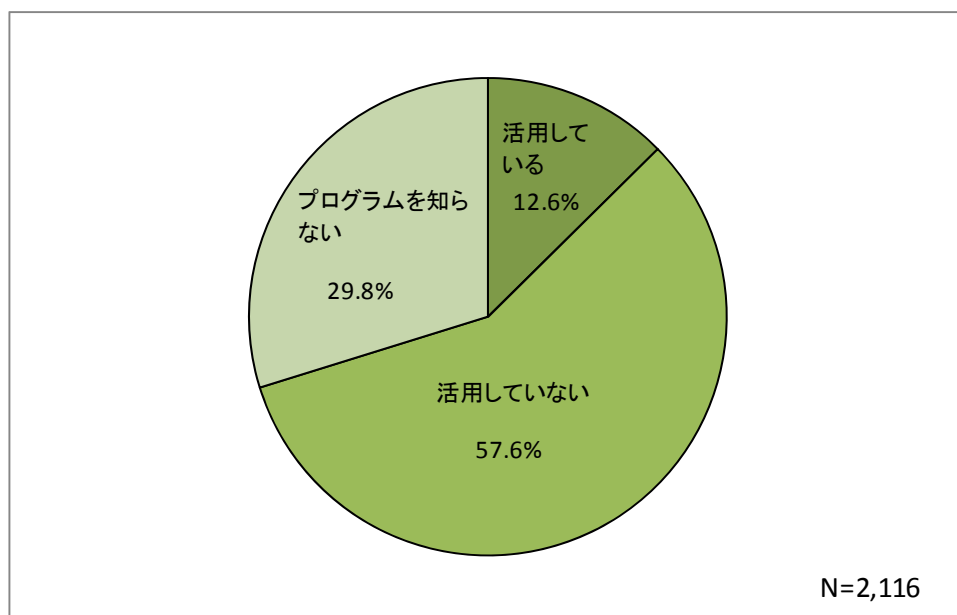
問1-3 あなたは、産業振興センター（にぎわい創造館）を知っていますか。

「知らない」が77.2%と8割近くを占め、「知っている」の22.8%を大きく上回っている。



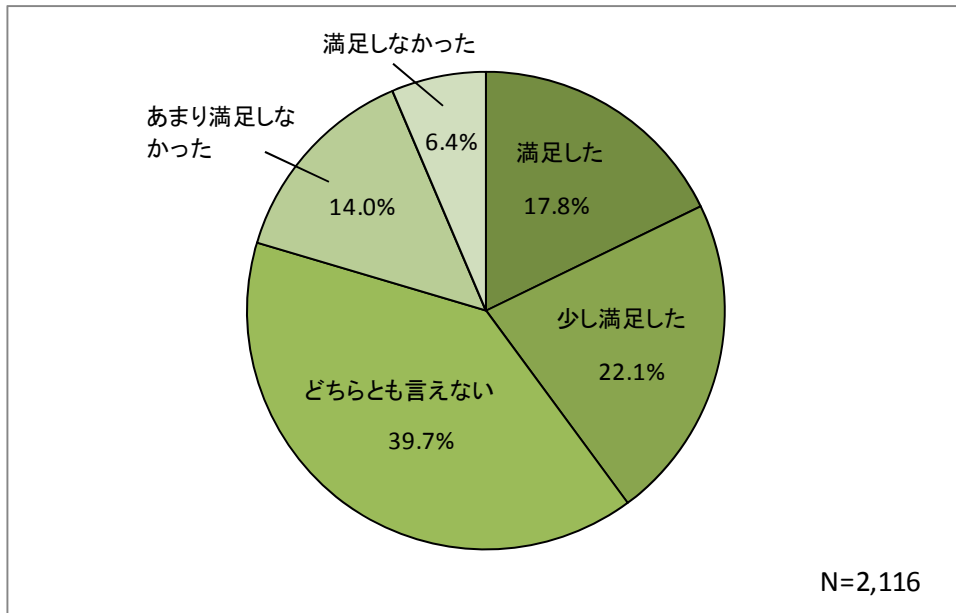
問1-4 あなたは、市が配布している「健康づくりプログラム」を活用していますか。

「活用していない」が57.6%で6割近くを占め、「活用している」の12.6%を大きく上回っている。



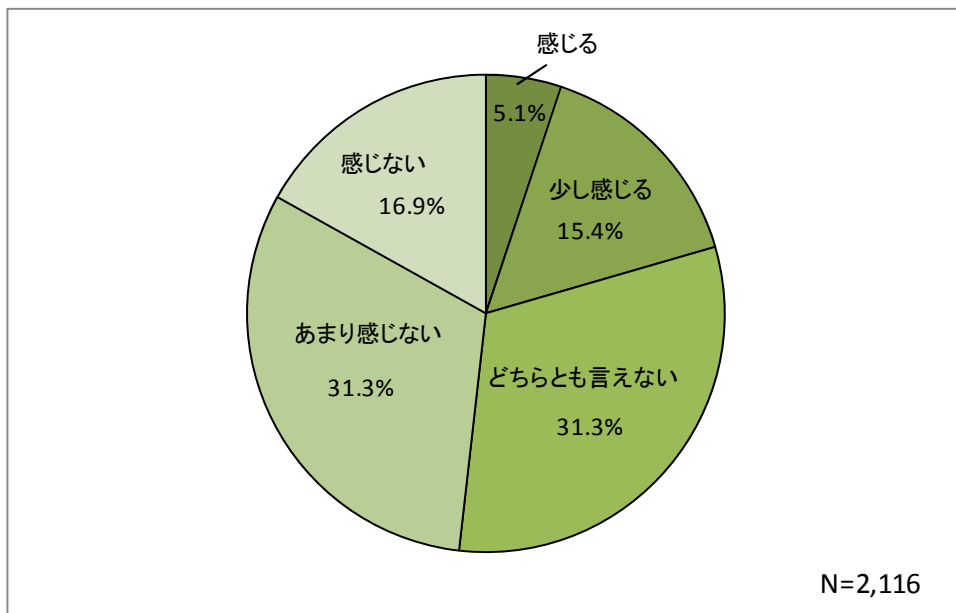
問 1-5 あなたは、市役所や市民センターでの窓口対応に満足しましたか。

「どちらとも言えない」が 39.7%で最も多く、「満足した」と「少し満足した」を合わせた『満足した』は 39.9%で、「あまり満足しなかった」と「満足しなかった」を合わせた『満足しなかった』の 20.4%を上回っている。



問 1-6 あなたは、寝屋川市のイメージが良いと感じますか。

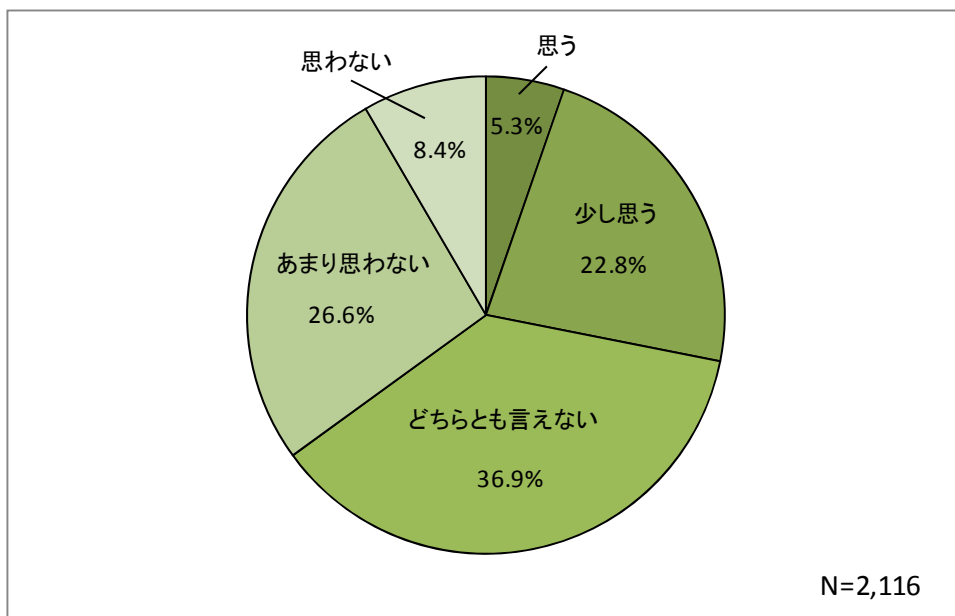
「感じる」と「少し感じる」を合わせた『感じる』は 20.5%で、「あまり感じない」と「感じない」を合わせた『感じない』の 48.2%を大きく下回っている。



問2 安全で安心できるまちづくりについて

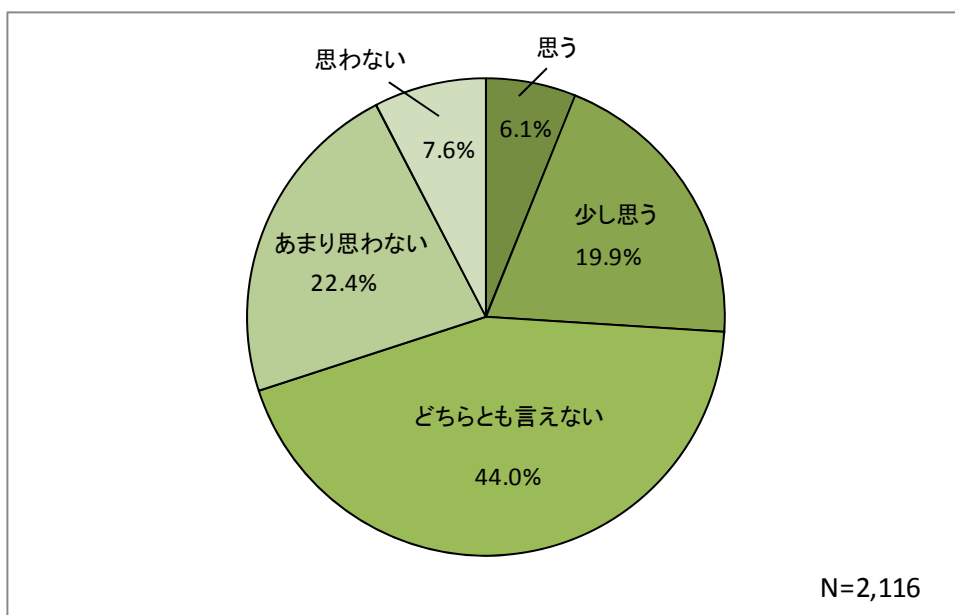
問2-1 寝屋川市は、災害に備えるまちづくりが行われていると思いますか。

「どちらとも言えない」が36.9%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は28.1%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の35.0%を下回っている。



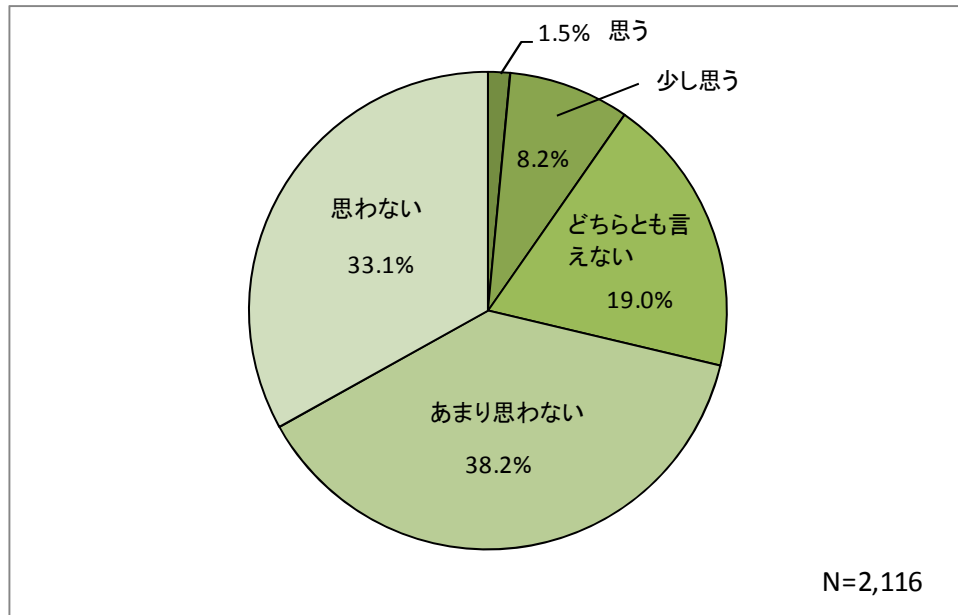
問2-2 地域の消防防災体制が充実していると思いますか。

「どちらとも言えない」が44.0%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は26.0%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の30.0%を若干下回っている。



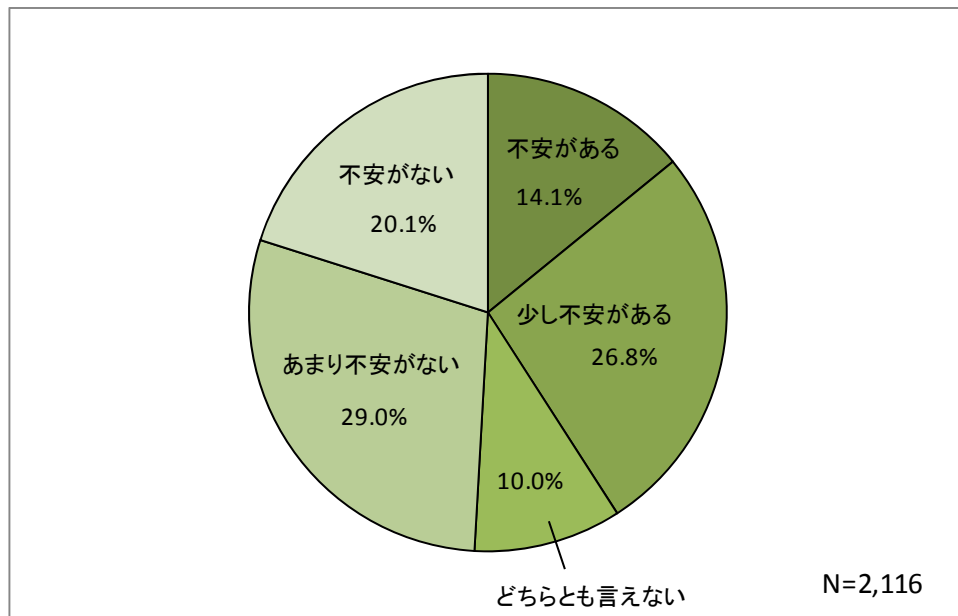
問2-3 寝屋川市は、犯罪が少なく、安全なまちであると思いますか。

「あまり思わない」が38.2%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は9.7%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の71.3%を大きく下回っている。



問2-4 あなたは、雨の時に浸水の不安がありますか。

「あまり不安がない」が29.0%で最も多く、「あまり不安がない」と「不安がない」を合わせた『不安がない』は49.1%で、「少し不安がある」と「不安がある」を合わせた『不安がある』の40.9%を上回っている。

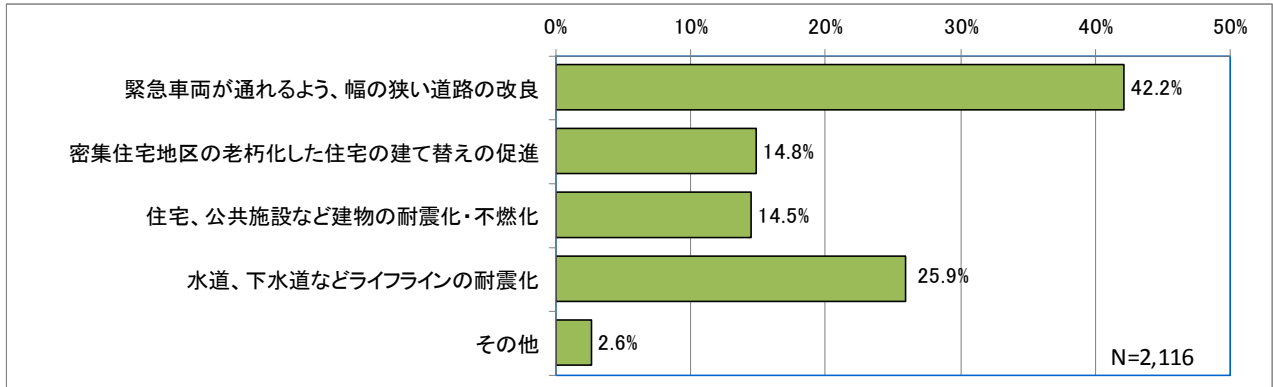


問3 安全で安心できるまちづくりの実現に向けた取組について

問3-1 災害に強いまちづくりのために、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

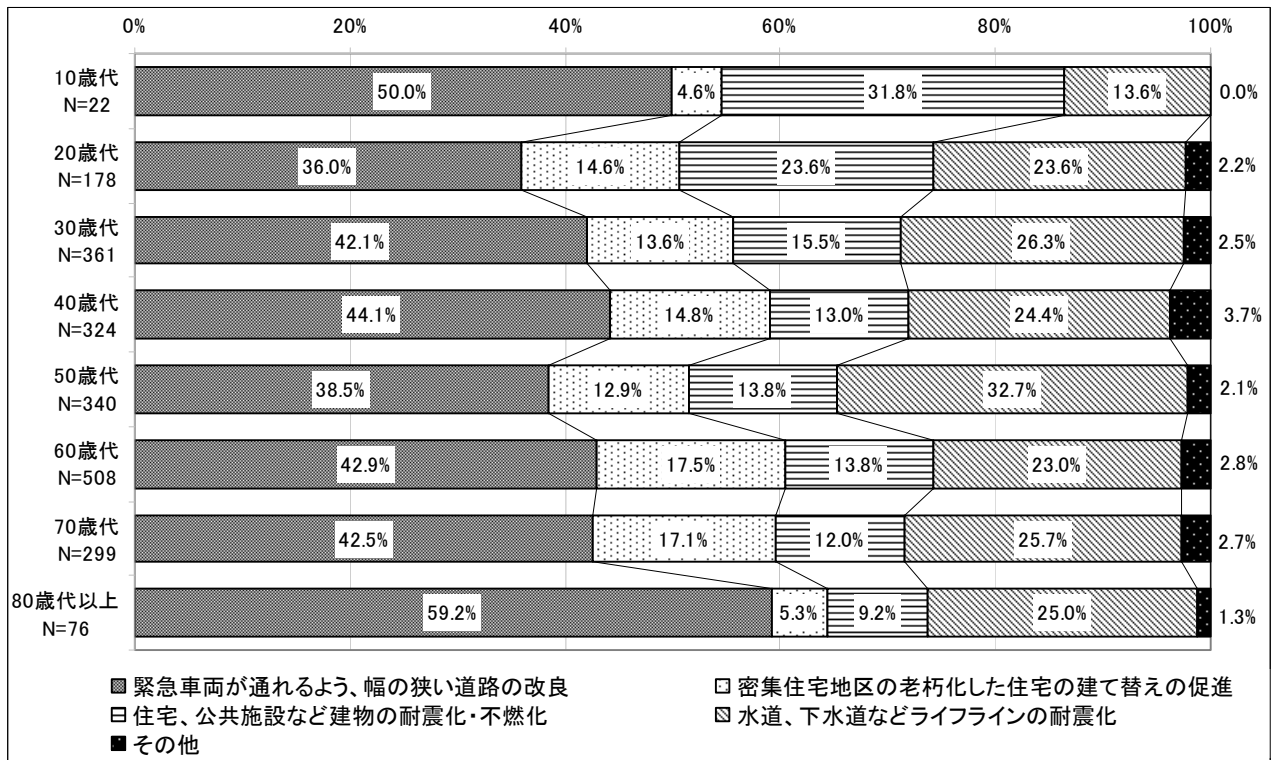
【全体】

「緊急車両が通れるよう、幅の狭い道路の改良」が42.2%で最も多く、「水道、下水道などライフラインの耐震化」が25.9%で続いている。



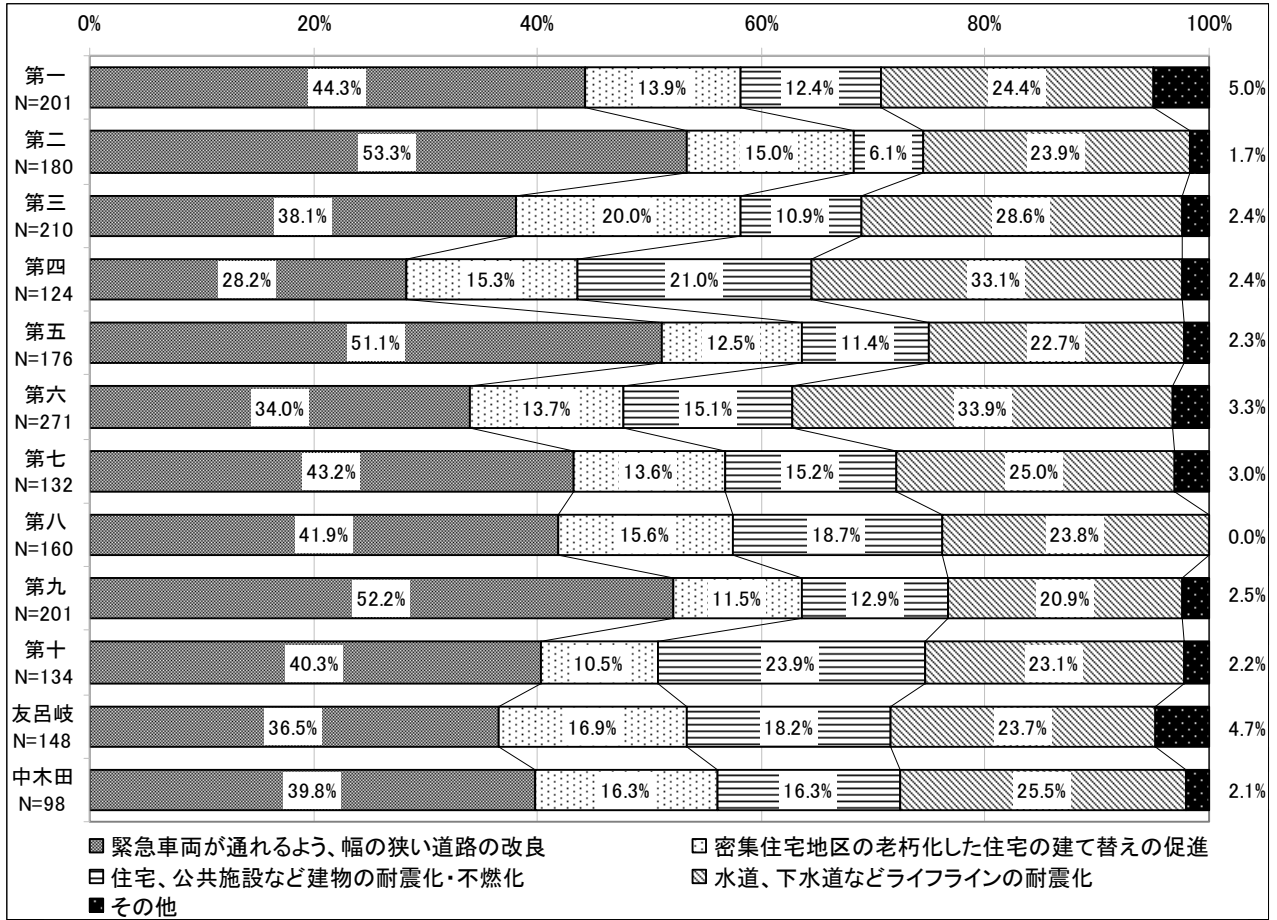
【年代別】

各年代において「緊急車両が通れるよう、幅の狭い道路の改良」が最も多く、80歳代以上においては、6割近くを占めている。



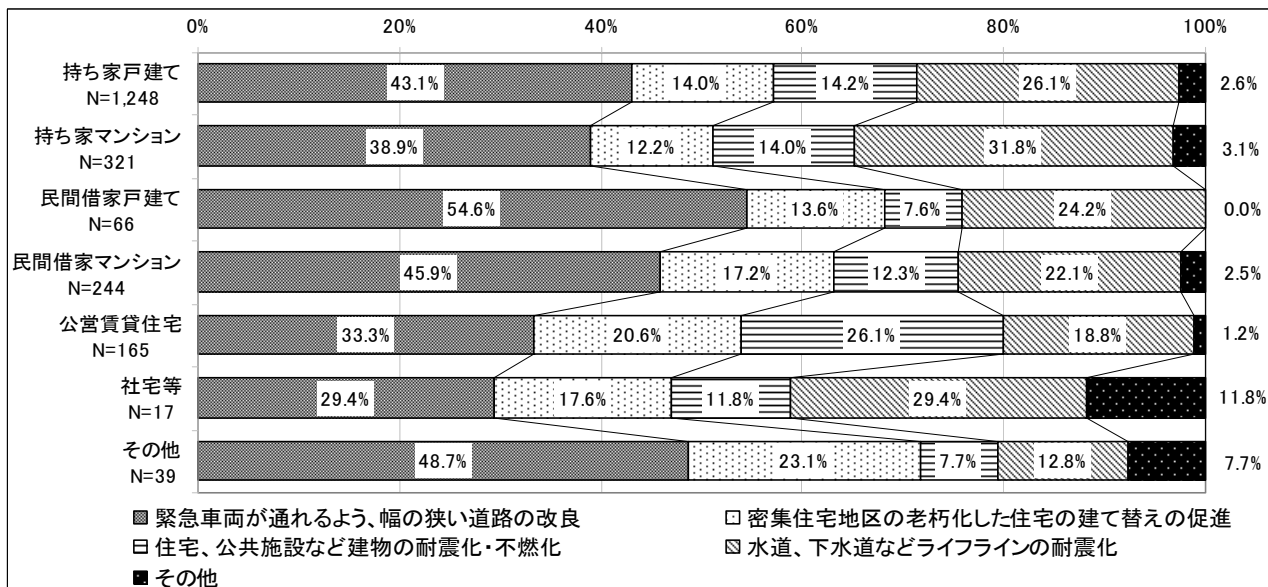
【校区別】

第四、第六中学校区以外の校区においては「緊急車両が通れるよう、幅の狭い道路の改良」が最も多く、第四、第六中学校区においては「水道、下水道などライフラインの耐震化」が最も多くなっている。



【住宅形態別】

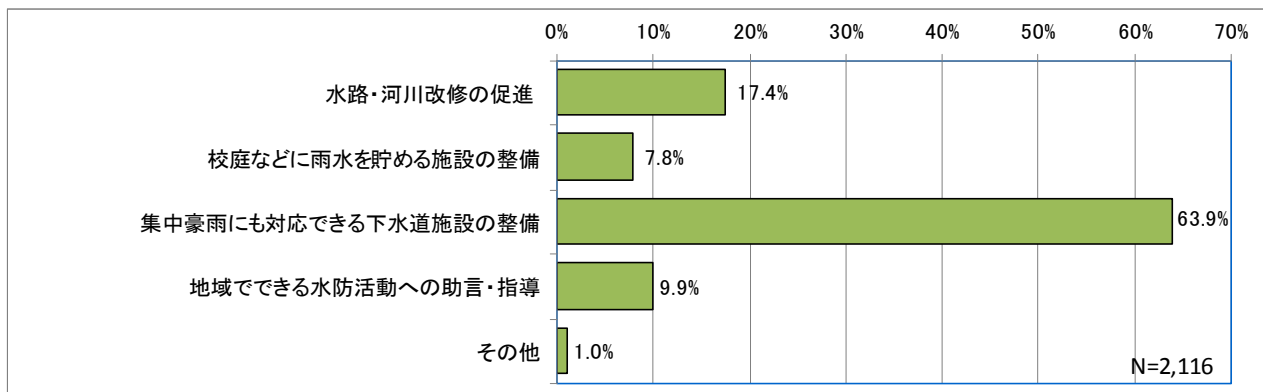
各住宅形態において「緊急車両が通れるよう、幅の狭い道路の改良」が最も多く、公営賃貸住宅においては「住宅、公共施設など建物の耐震化・不燃化」、それ以外においては「水道、下水道などライフラインの耐震化」が続いている。



問3-2 治水対策として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

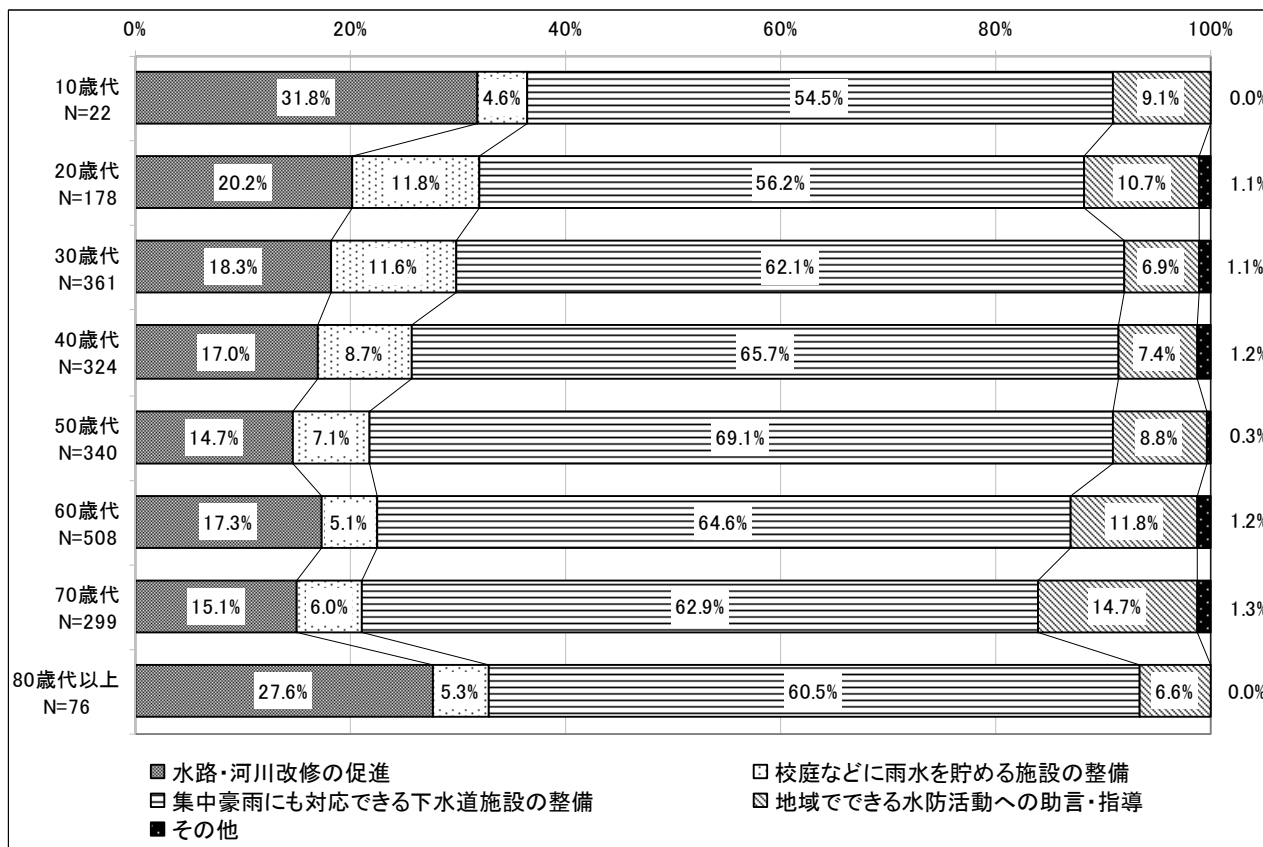
【全体】

「集中豪雨にも対応できる下水道施設の整備」が63.9%で最も多く、「水路・河川改修の促進」が17.4%が続いている。



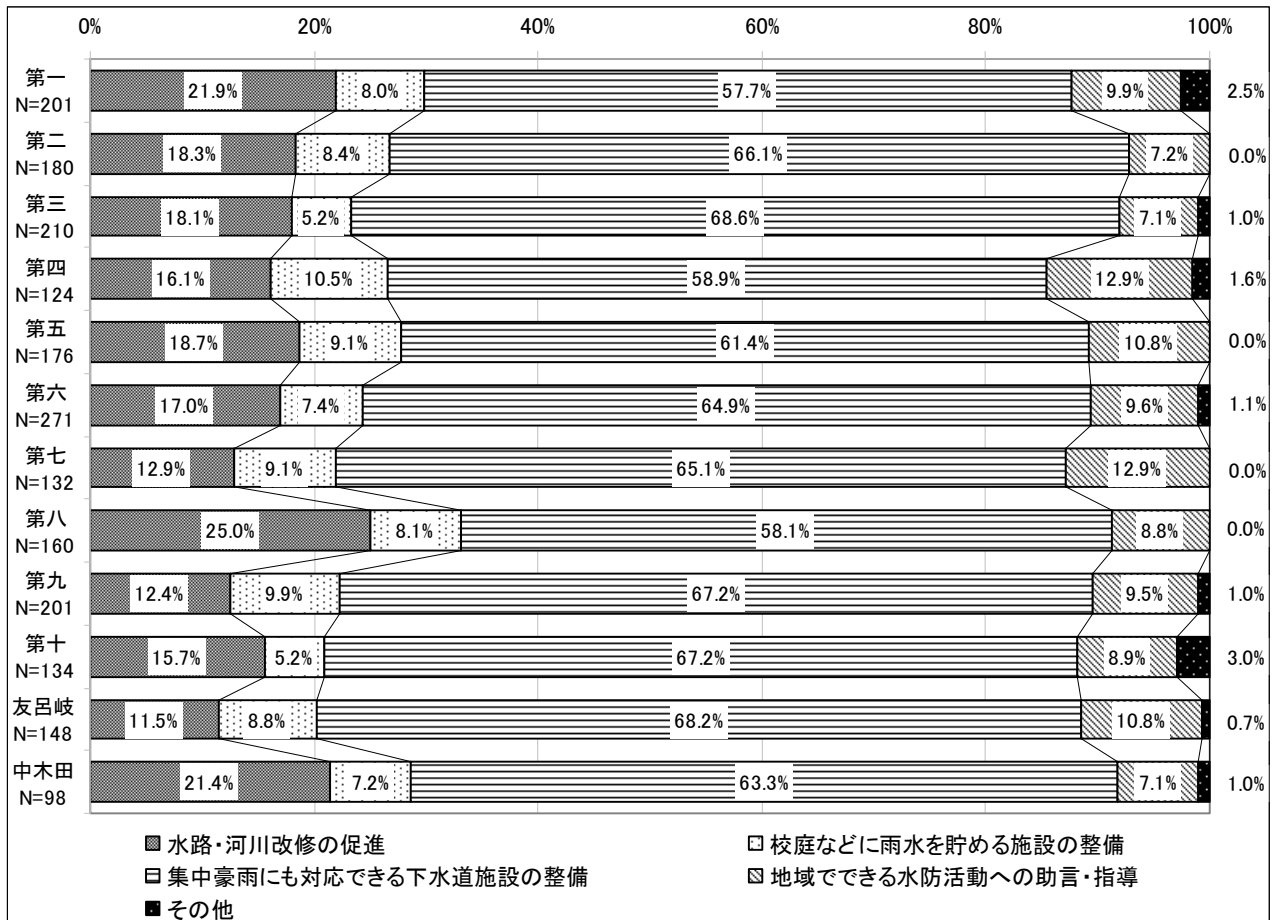
【年代別】

各年代において「集中豪雨にも対応できる下水道施設の整備」が6割を占め最も多く、「水路・河川改修の促進」が続いている。



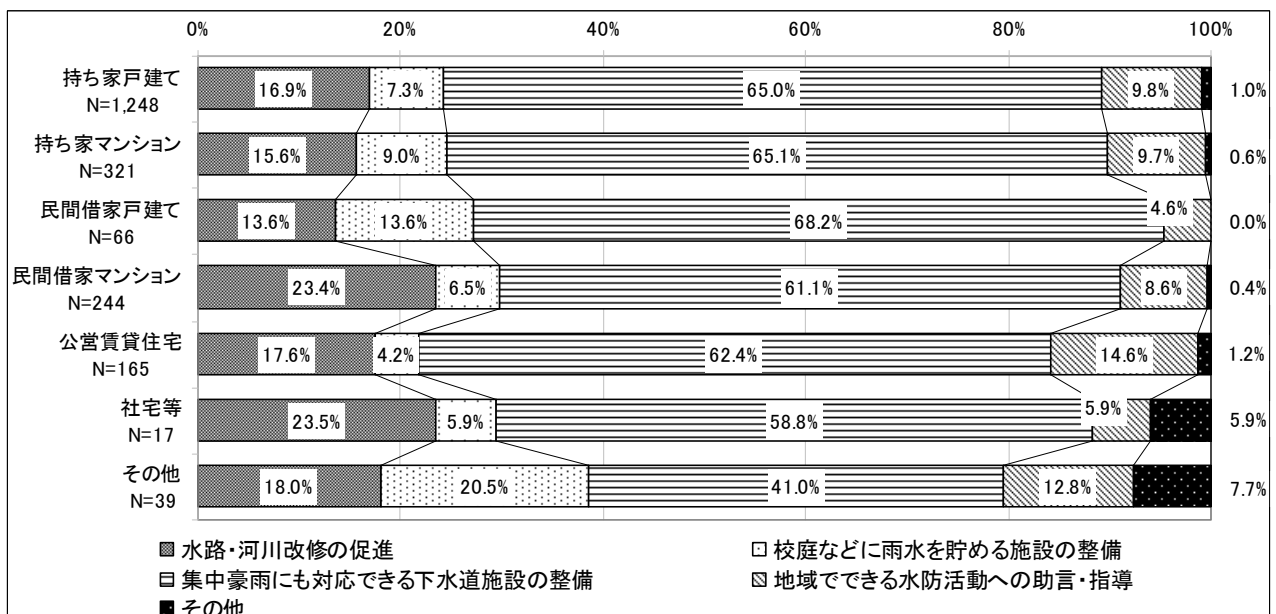
【校区別】

各校区において「集中豪雨にも対応できる下水道施設の整備」が6割を占め最も多く、「水路・河川改修の促進」が続いている。



【住宅形態別】

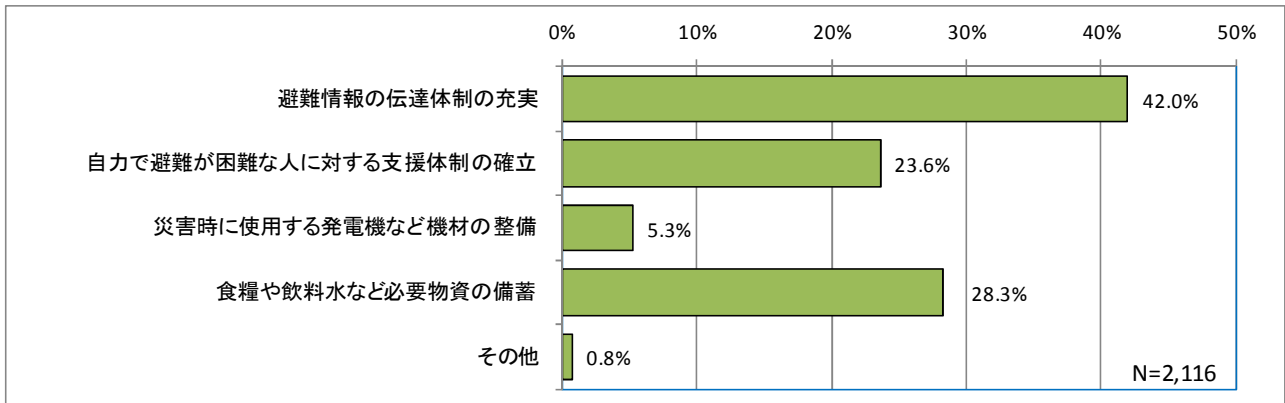
各住宅形態において「集中豪雨にも対応できる下水道施設の整備」が6割を占め最も多く、「水路・河川改修の促進」が続いている。公営賃貸住宅においては「地域でできる水防活動への助言・指導」の割合が若干高くなっている。



問3-3 災害時の対策として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

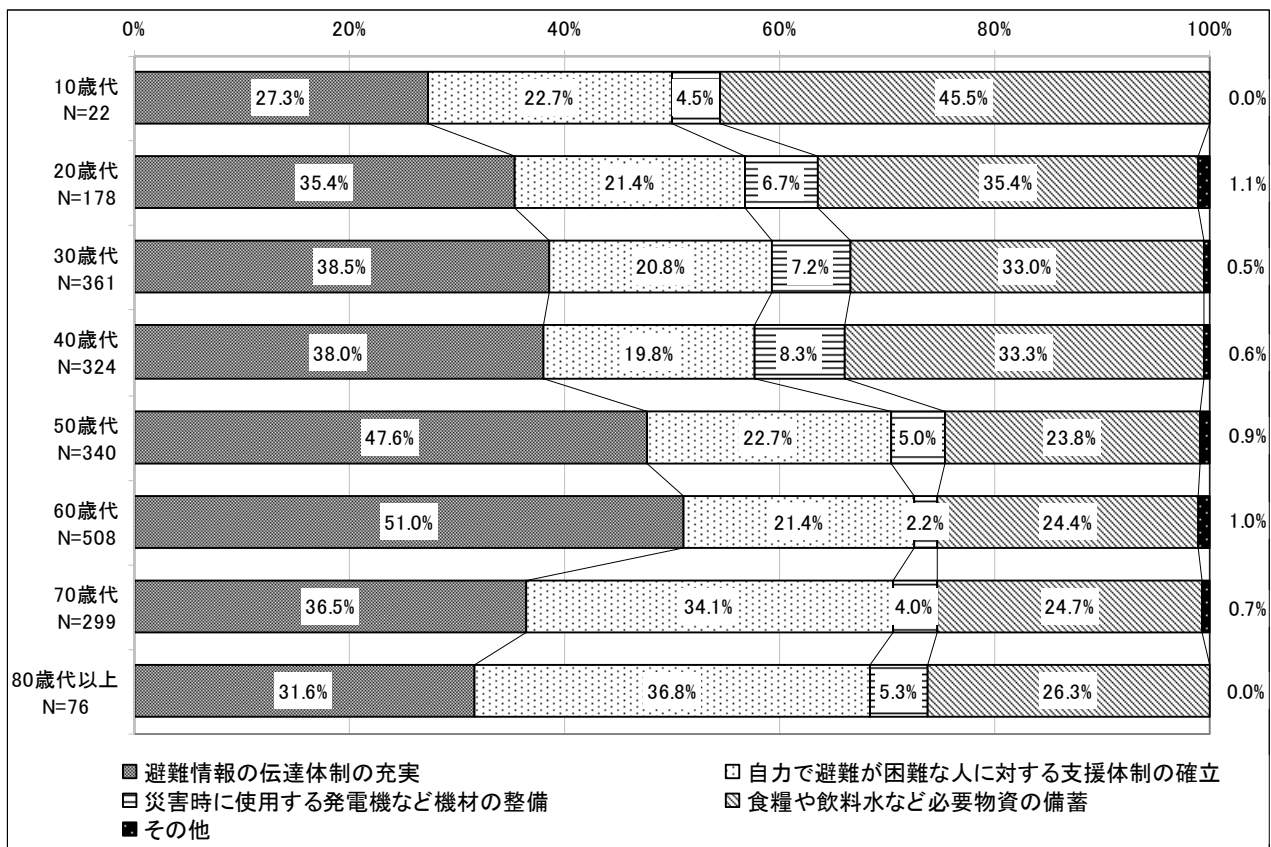
【全体】

「避難情報の伝達体制の充実」が42.0%で最も多く、「食糧や飲料水など必要物資の備蓄」が28.3%、「自力で避難が困難な人に対する支援体制の確立」が23.6%で続いている。



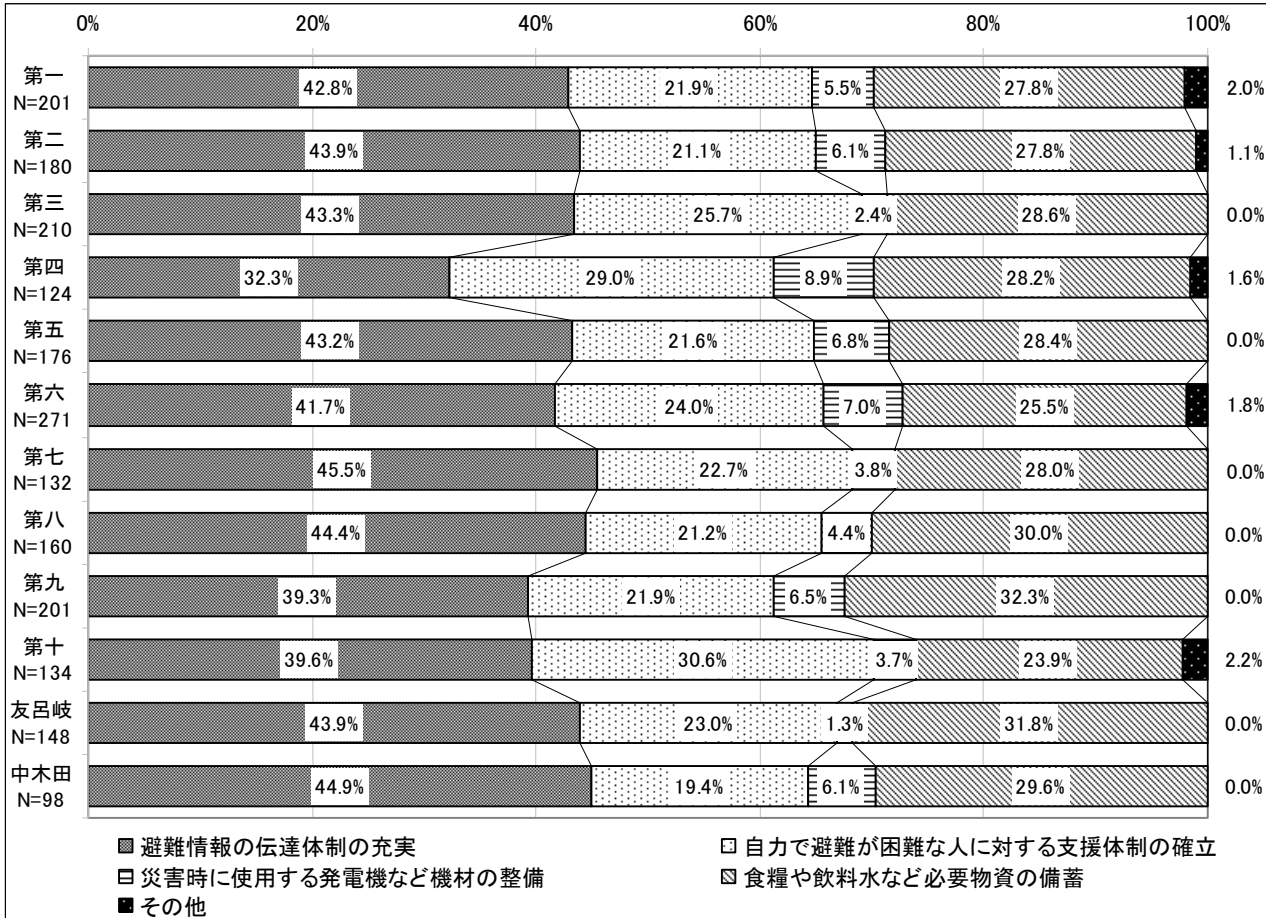
【年代別】

10歳代を除き、60歳代までは「避難情報の伝達体制の充実」が多く、70歳代以上になると「自力で避難が困難な人に対する支援体制の確立」が多くなっている。



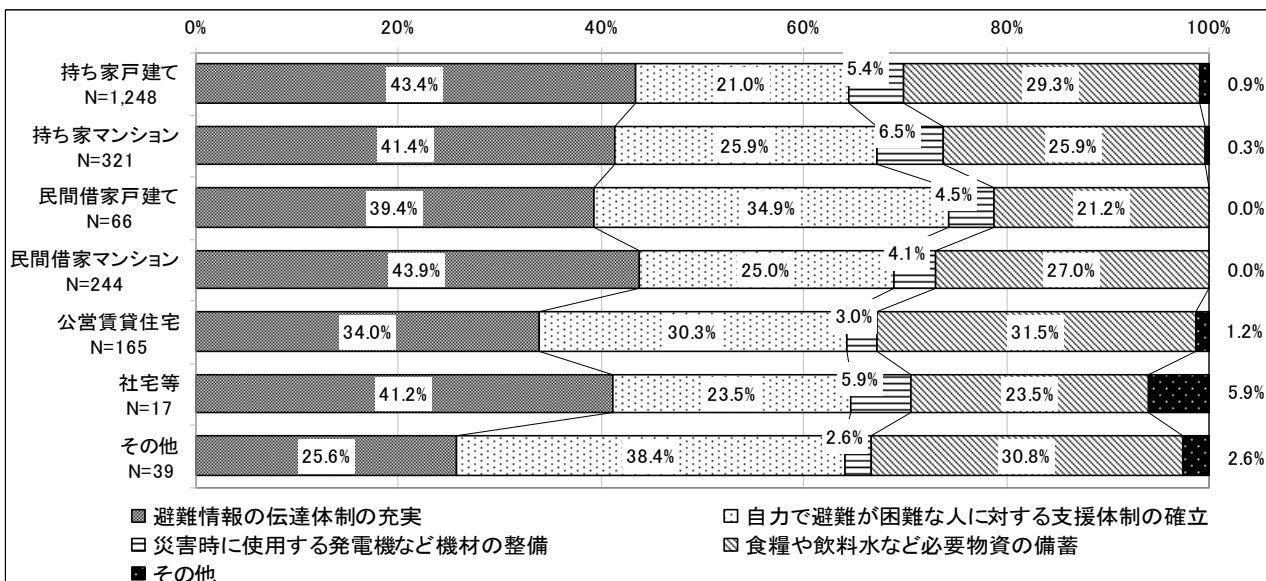
【校区別】

各校区において「避難情報の伝達体制の充実」が最も多く、第四、第十中学校区以外の校区においては「食糧や飲料水など必要物資の備蓄」が続いており、第四、第十中学校区においては「自力で避難が困難な人に対する支援体制の確立」が続いている。



【住宅形態別】

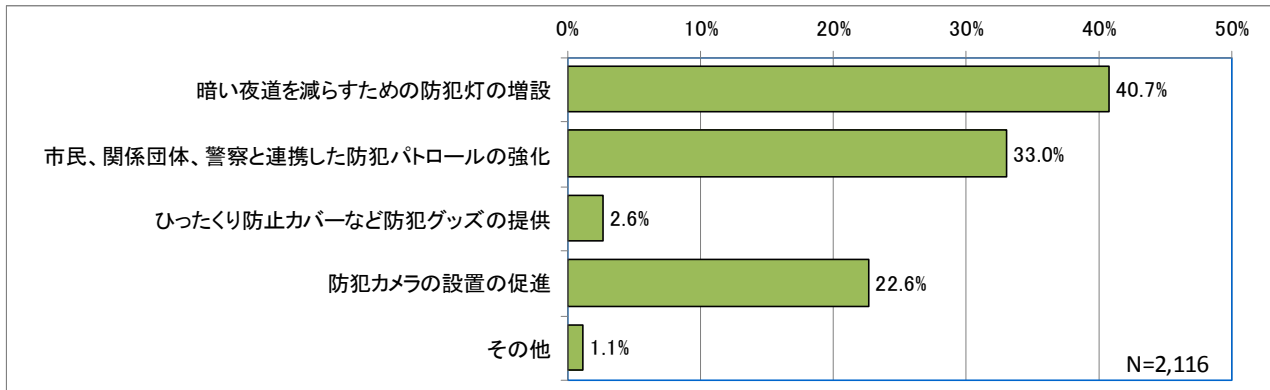
各住宅形態において「避難情報の伝達体制の充実」が最も多いが、公営住宅については「避難情報の伝達体制の充実」、「自力で避難が困難な人に対する支援体制の確立」、「食糧や飲料水など必要物資の備蓄」の3つがほぼ均等の割合である。



問3-4 防犯対策として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

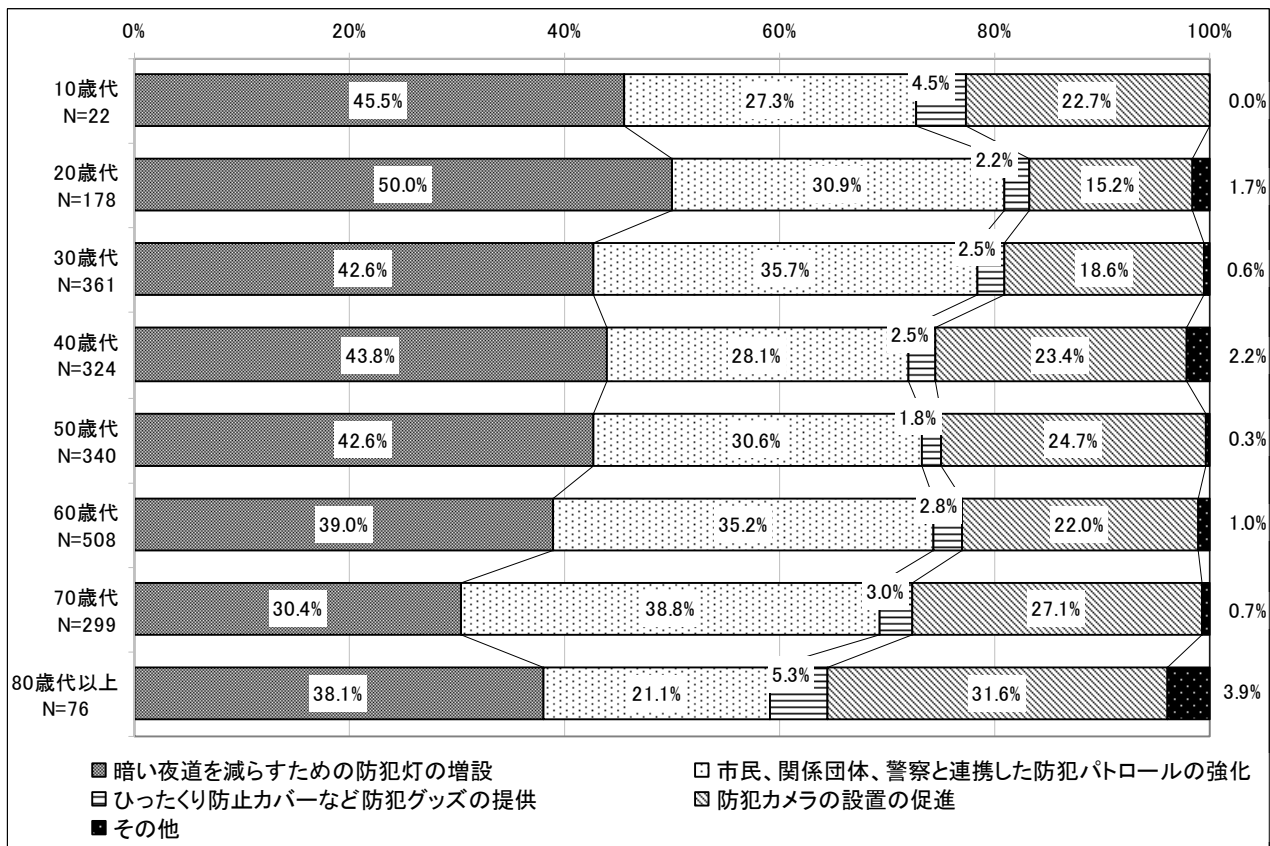
【全体】

「暗い夜道を減らすための防犯灯の増設」が40.7%と最も多く、「市民、関係団体、警察と連携した防犯パトロールの強化」が33.0%、「防犯カメラの設置の促進」が22.6%が続いている。



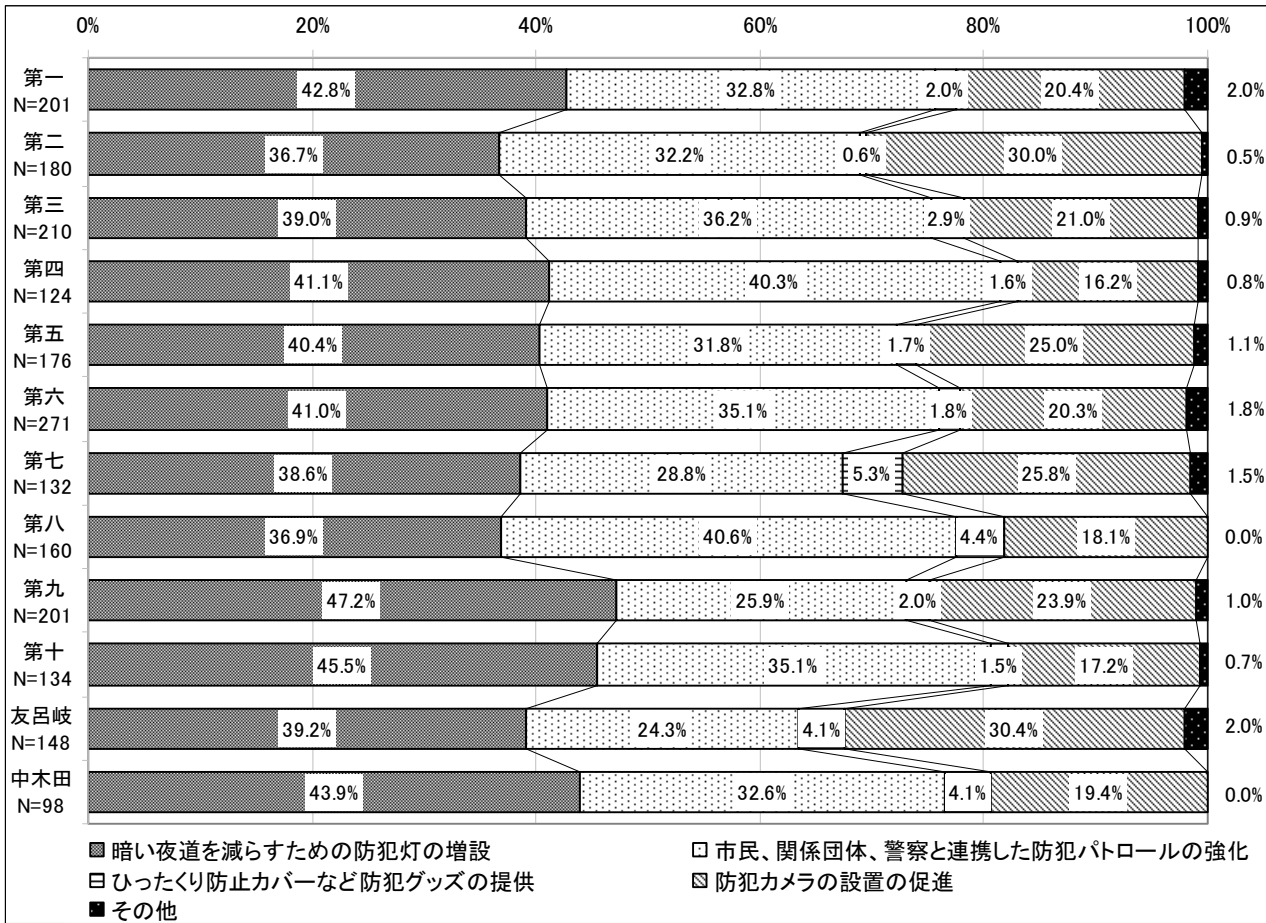
【年代別】

70歳代を除く各年代においては「暗い夜道を減らすための防犯灯の増設」が最も多く、70歳代においては「市民、関係団体、警察と連携した防犯パトロールの強化」が最も多くなっている。



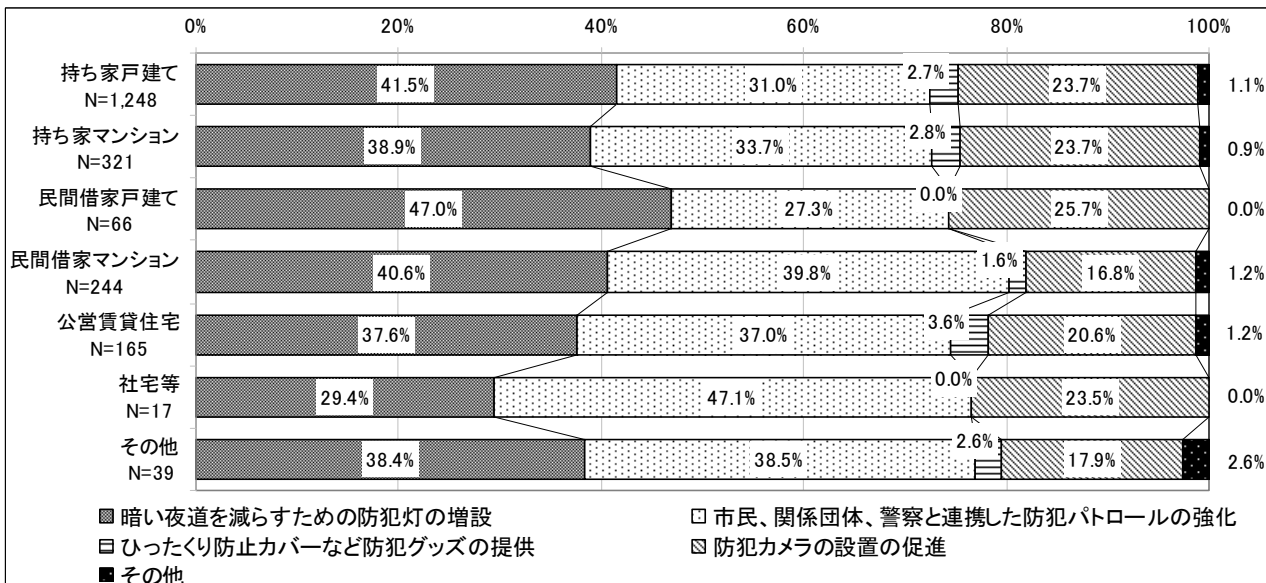
【校区別】

第八中学校以外の校区においては「暗い夜道を減らすための防犯灯の増設」が最も多く、第八中学校区においては「市民、関係団体、警察と連携した防犯パトロールの強化」が最も多くなっている。



【住宅形態別】

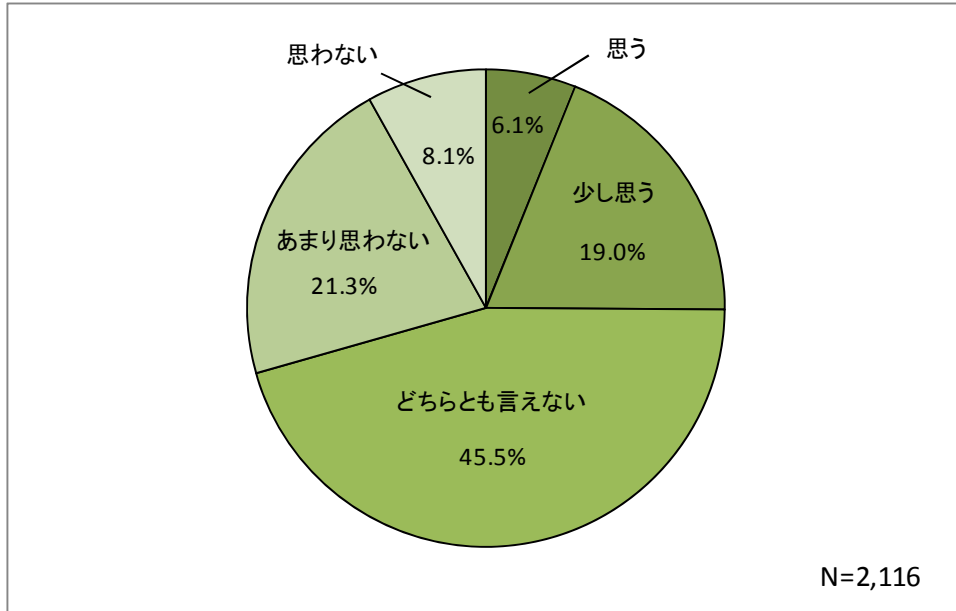
社宅等以外の住宅形態においては「暗い夜道を減らすための防犯灯の増設」が最も多く、社宅等においては「市民、関係団体、警察と連携した防犯パトロールの強化」が最も多くなっている。



問4 健康でいきいき暮らせるまちづくりについて

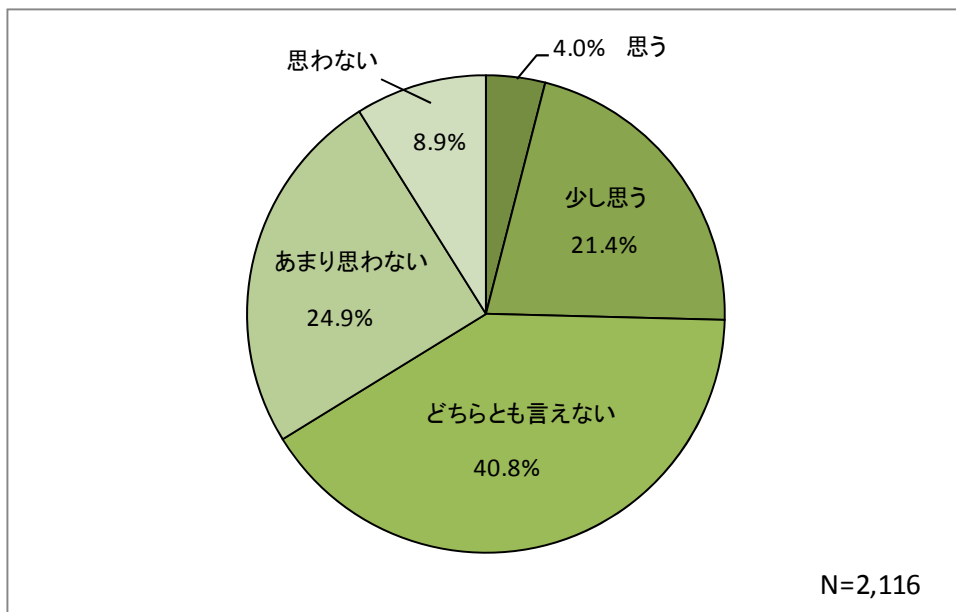
問4-1 市民一人ひとりの人権意識が高くなってきたと思いますか。

「どちらとも言えない」が45.5%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は25.1%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の29.4%を若干下回っている。



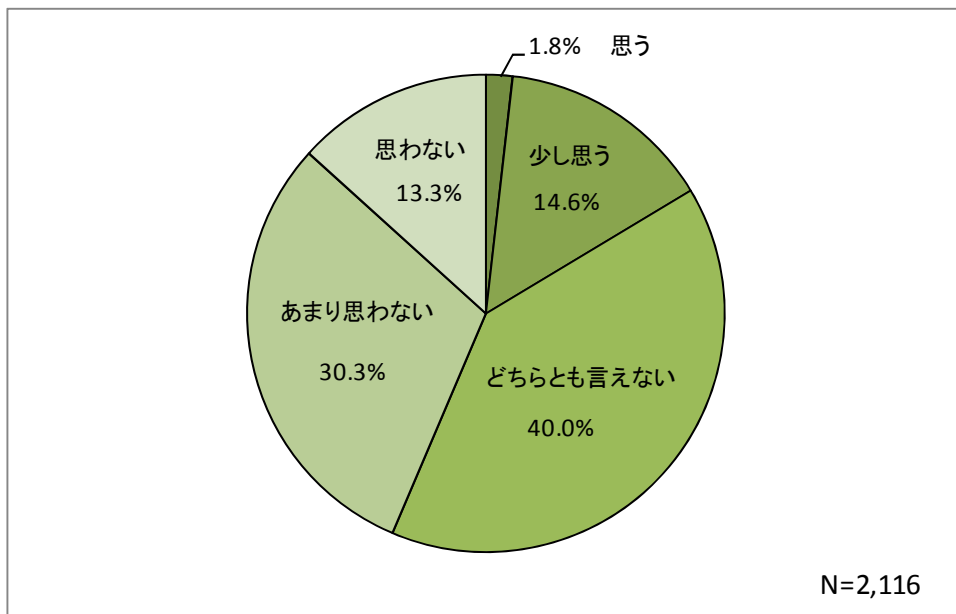
問4-2 地域の福祉活動が活発に行われていると思いますか。

「どちらとも言えない」が40.8%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は25.4%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の33.8%を下回っている。



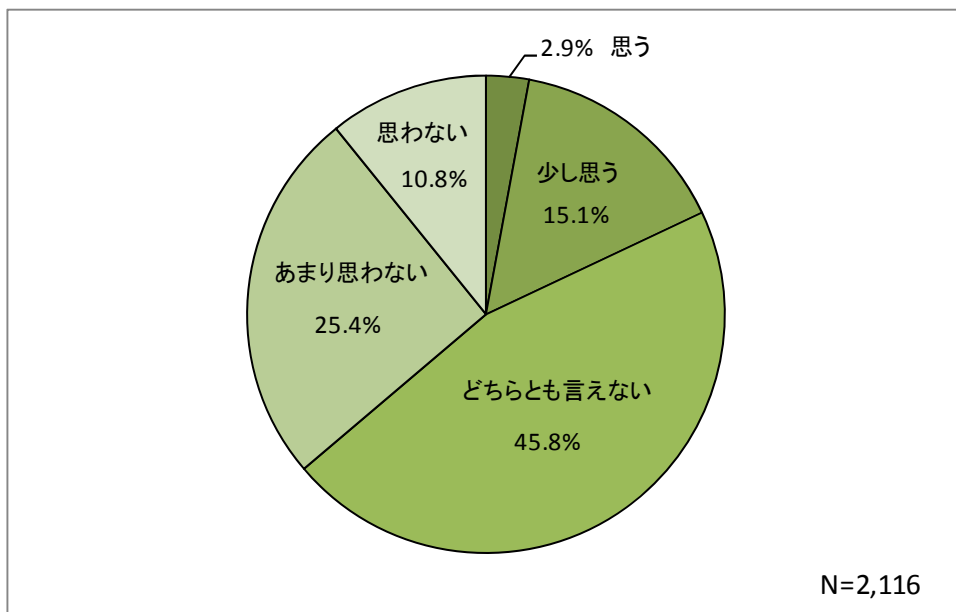
問4-3 寝屋川市は、高齢者が生きがいを持ち、健康で心豊かに暮らせる環境づくりが進んでいると思いますか。

「どちらとも言えない」が40.0%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は16.4%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の43.6%を大きく下回っている。



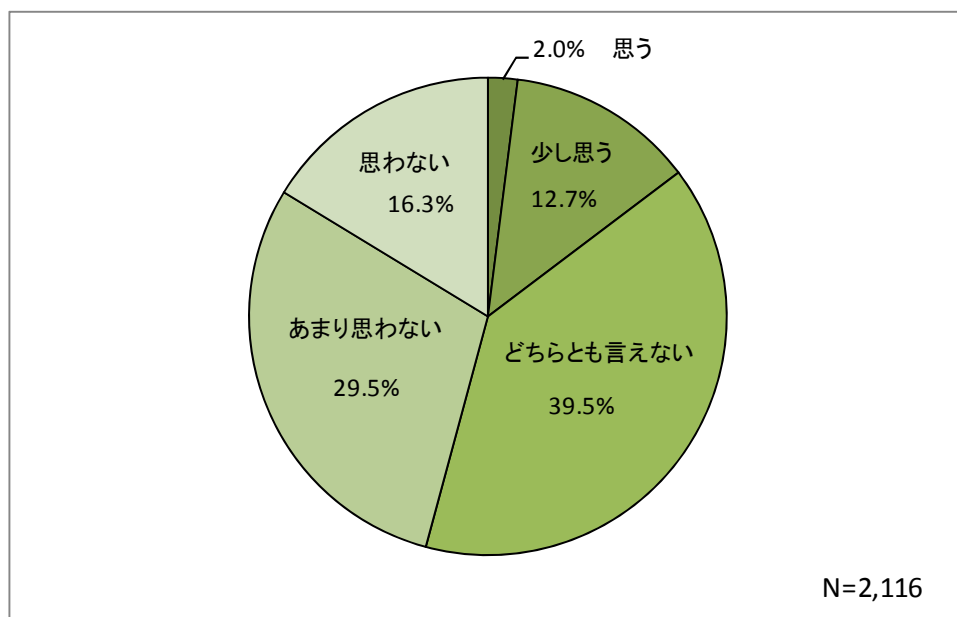
問4-4 寝屋川市は、障害のある人に対するサービスや支援体制が整っていると思いますか。

「どちらとも言えない」が45.8%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は18.0%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の36.2%を大きく下回っている。



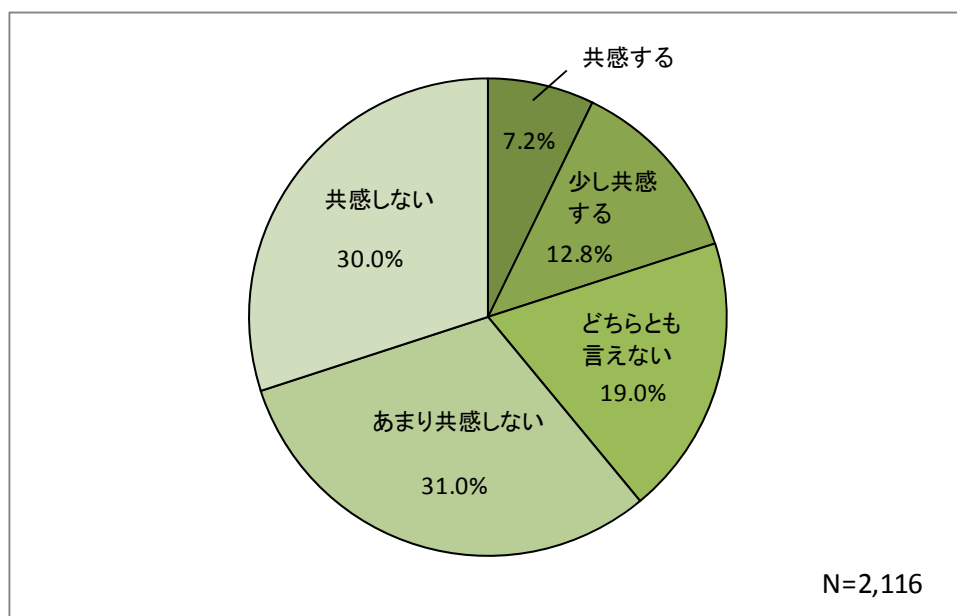
問4-5 寝屋川市は、安心して子どもを産み育てることができるサービスや環境が整っているとと思いますか。

「どちらとも言えない」が 39.5%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は 14.7%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の 45.8%を大きく下回っている。



問4-6 あなたは、「男は仕事、女は家庭」というように性別によって役割を分担する考え方に共感しますか。

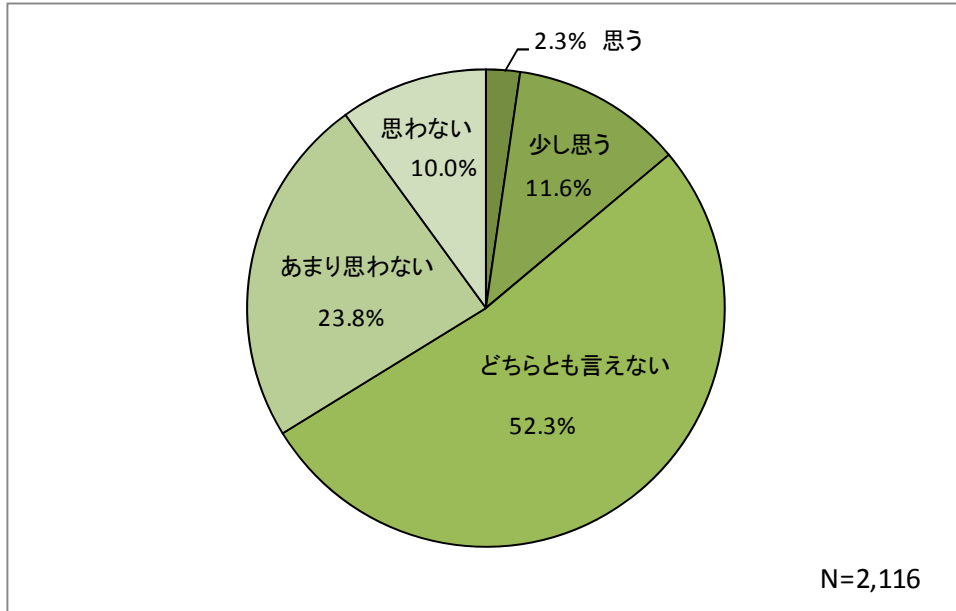
「あまり共感しない」が 31.0%で最も多く、「共感しない」と「あまり共感しない」とを合わせた『共感しない』は 61.0%で、「少し共感する」と「共感する」を合わせた『共感する』の 20.0%を大きく上回っている。



問5 夢を育む学びのまちづくりについて

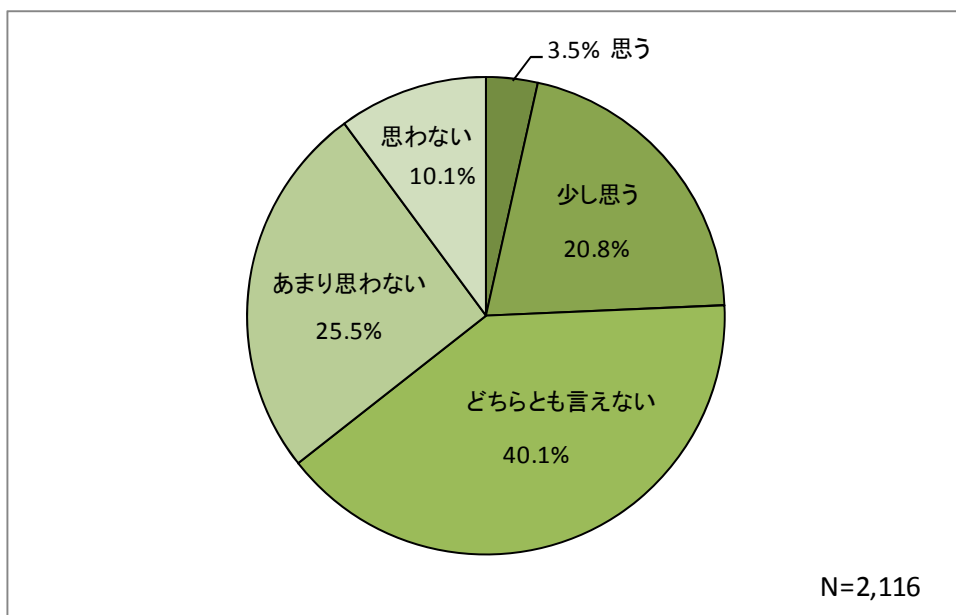
問5-1 寝屋川市の学校園は、教育内容が充実していると思いますか。

「どちらとも言えない」が 52.3%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は 13.9%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の 33.8%を大きく下回っている。



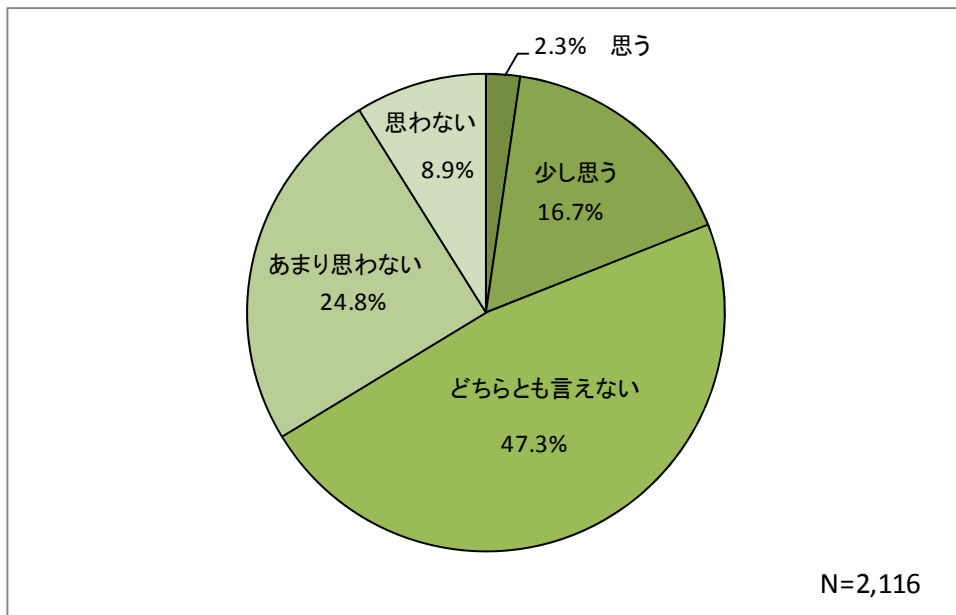
問5-2 寝屋川市では、学校・家庭・地域が連携して青少年の育成を見守っていると思いますか。

「どちらとも言えない」が 40.1%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は 24.3%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の 35.6%を下回っている。



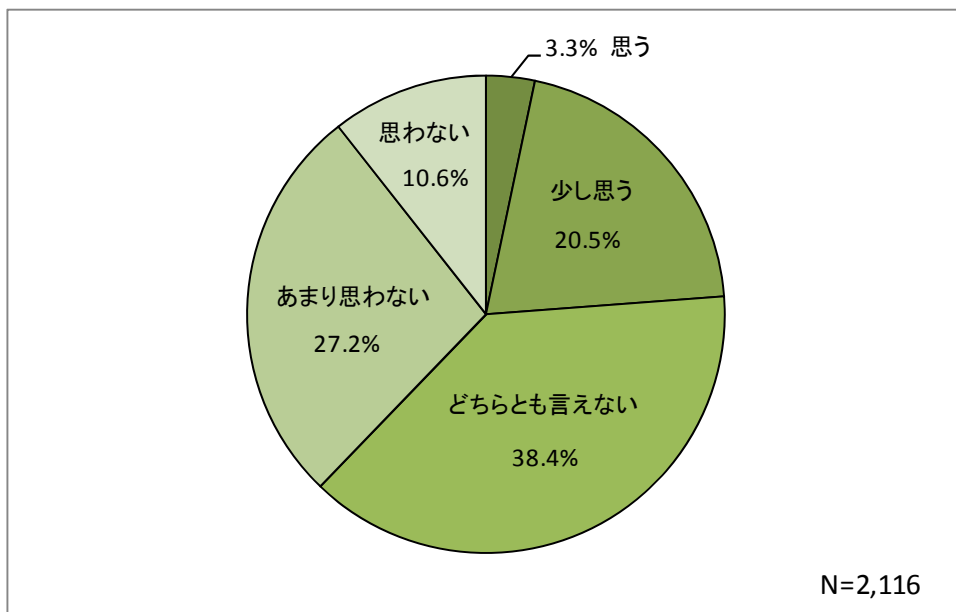
問5-3 寝屋川市は、生涯学習の機会や情報の提供が充実していると思いますか。

「どちらとも言えない」が47.3%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は19.0%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の33.7%を下回っている。



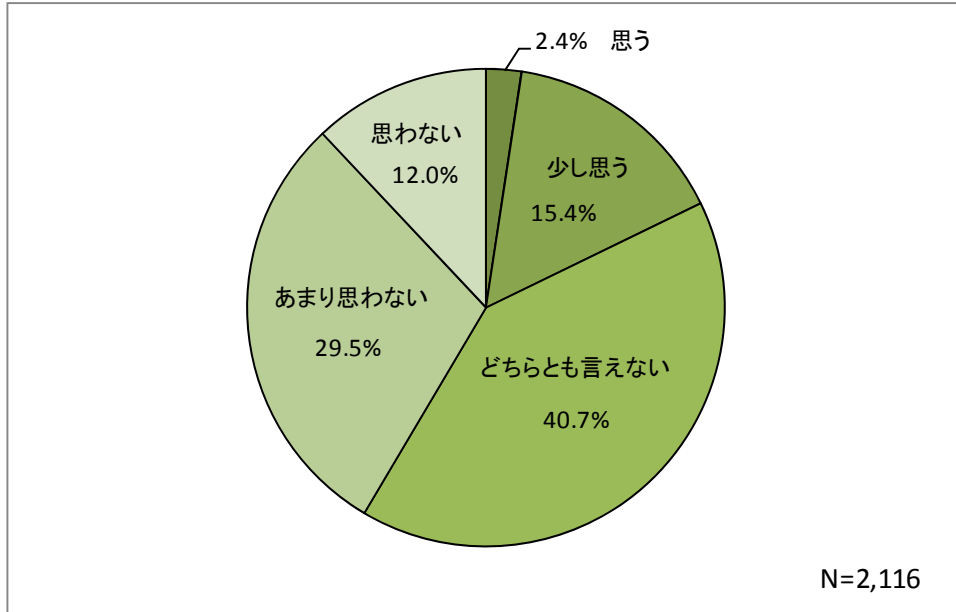
問5-4 寝屋川市では、展示会・コンサート等、文化・芸術活動が活発に行われていると思いますか。

「どちらとも言えない」が38.4%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は23.8%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の37.8%を下回っている。



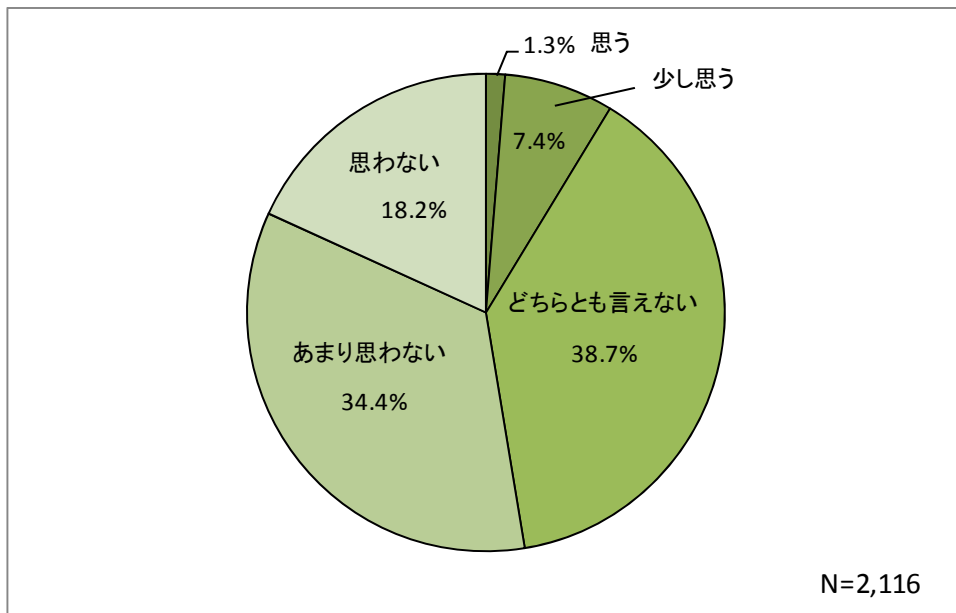
問5-5 寝屋川市は、スポーツ活動の環境が整っていると思いますか。

「どちらとも言えない」が 40.7%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は 17.8%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の 41.5%を大きく下回っている。



問5-6 寝屋川市は、国際交流が盛んであると思いますか。

「どちらとも言えない」が 38.7%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は 8.7%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の 52.6%を大きく下回っている。

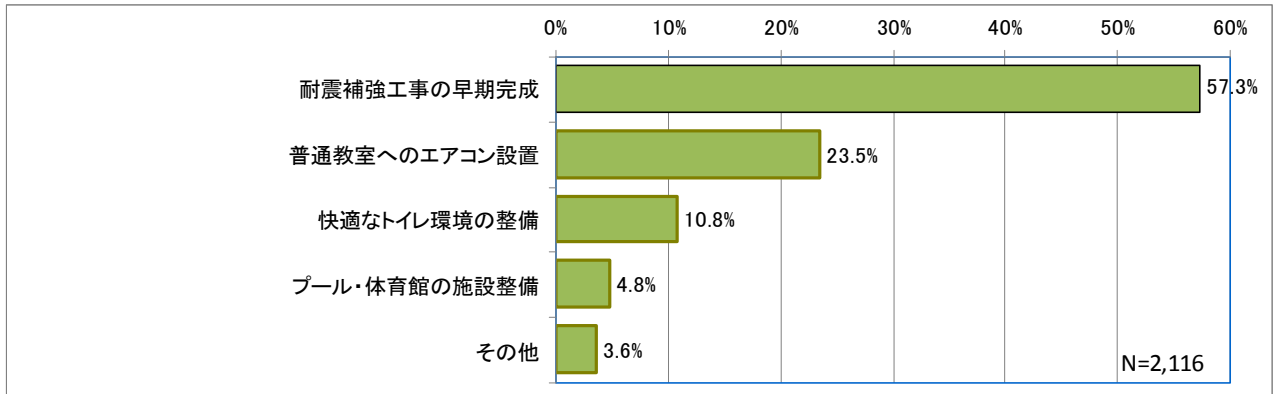


問6 夢を育む学びのまちづくりの実現に向けた取組について

問6-1 学校園施設の整備として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

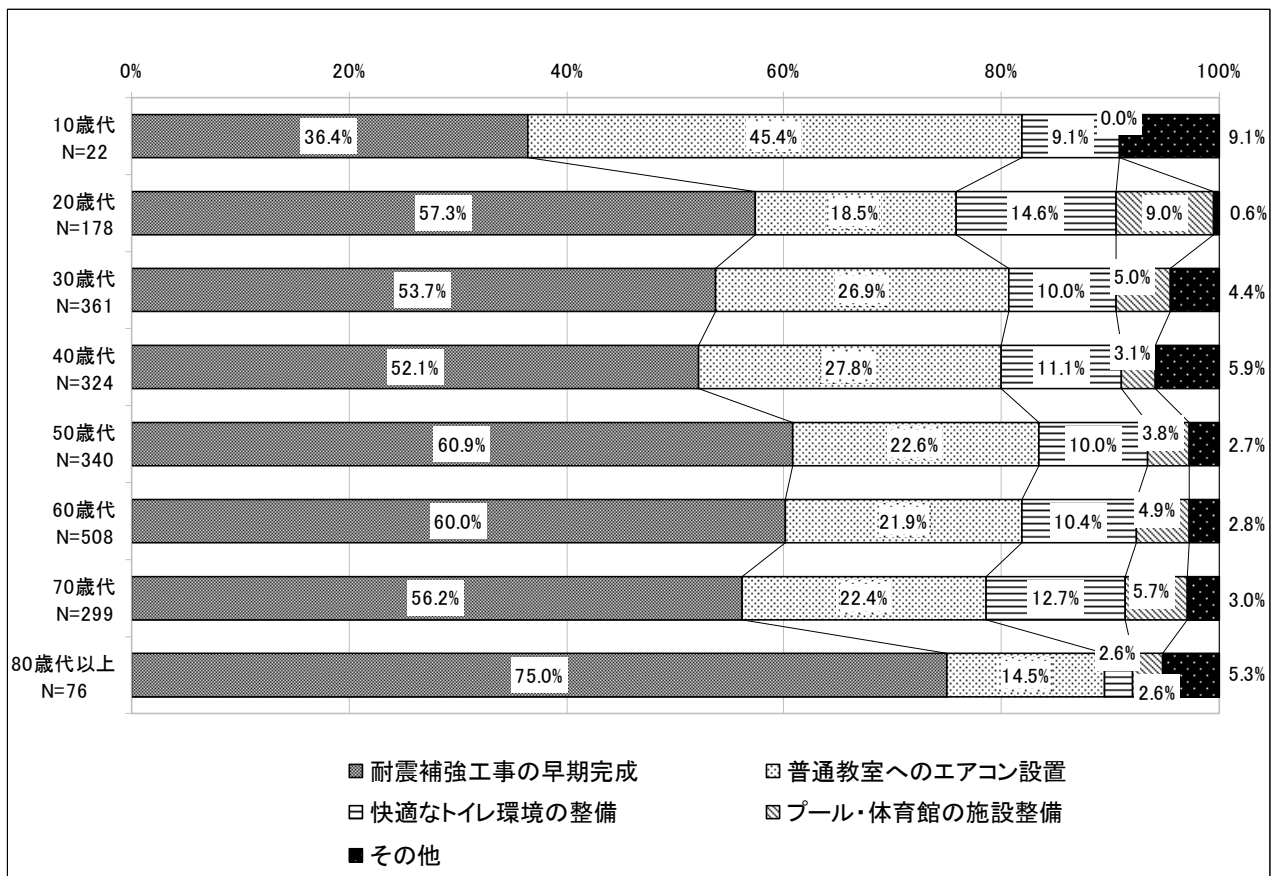
【全体】

「耐震補強工事の早期完成」が57.3%で最も多く、「普通教室へのエアコン設置」が23.5%で続いている。



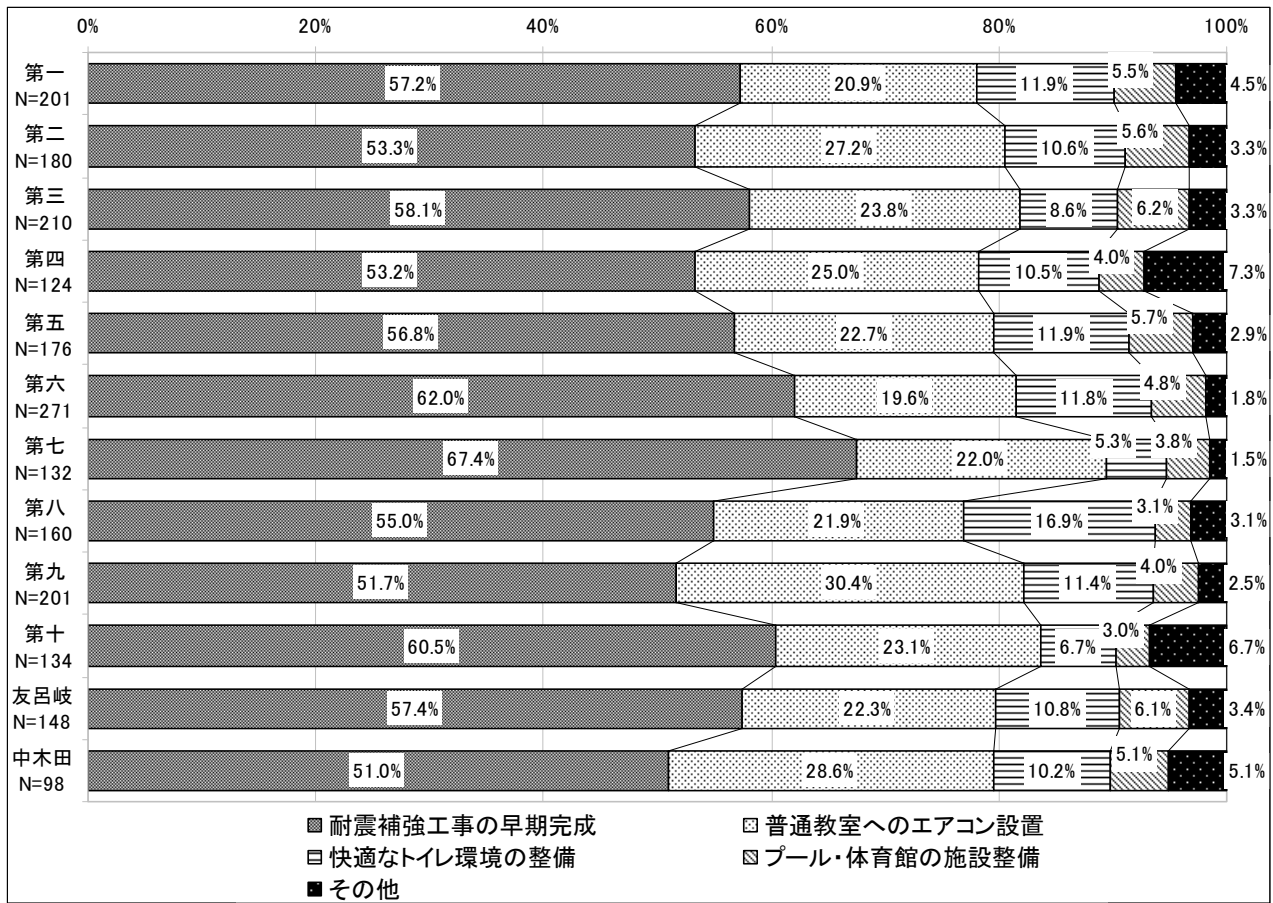
【年代別】

20歳代以上においては「耐震補強工事の早期完成」が最も多く、「普通教室へのエアコン設置」が続いている。また、10歳代においては、「普通教室へのエアコン設置」が最も多くなっている。



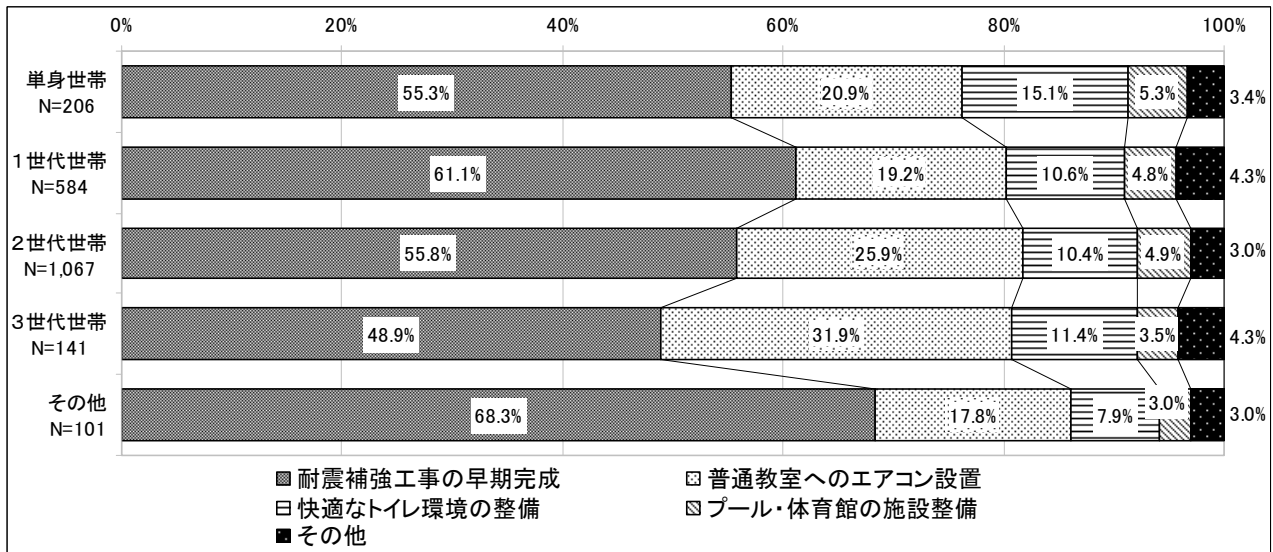
【校区別】

各校区において「耐震補強工事の早期完成」が最も多く、「普通教室へのエアコン設置」が続いている。



【家族構成別】

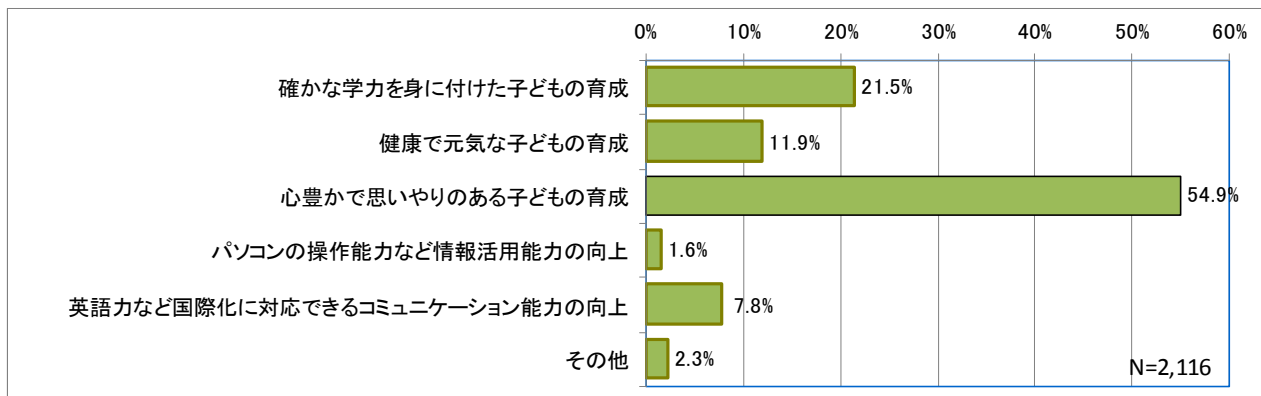
各家族構成において「耐震補強工事の早期完成」が最も多く、「普通教室へのエアコン設置」が続いている。



問6-2 学校教育として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

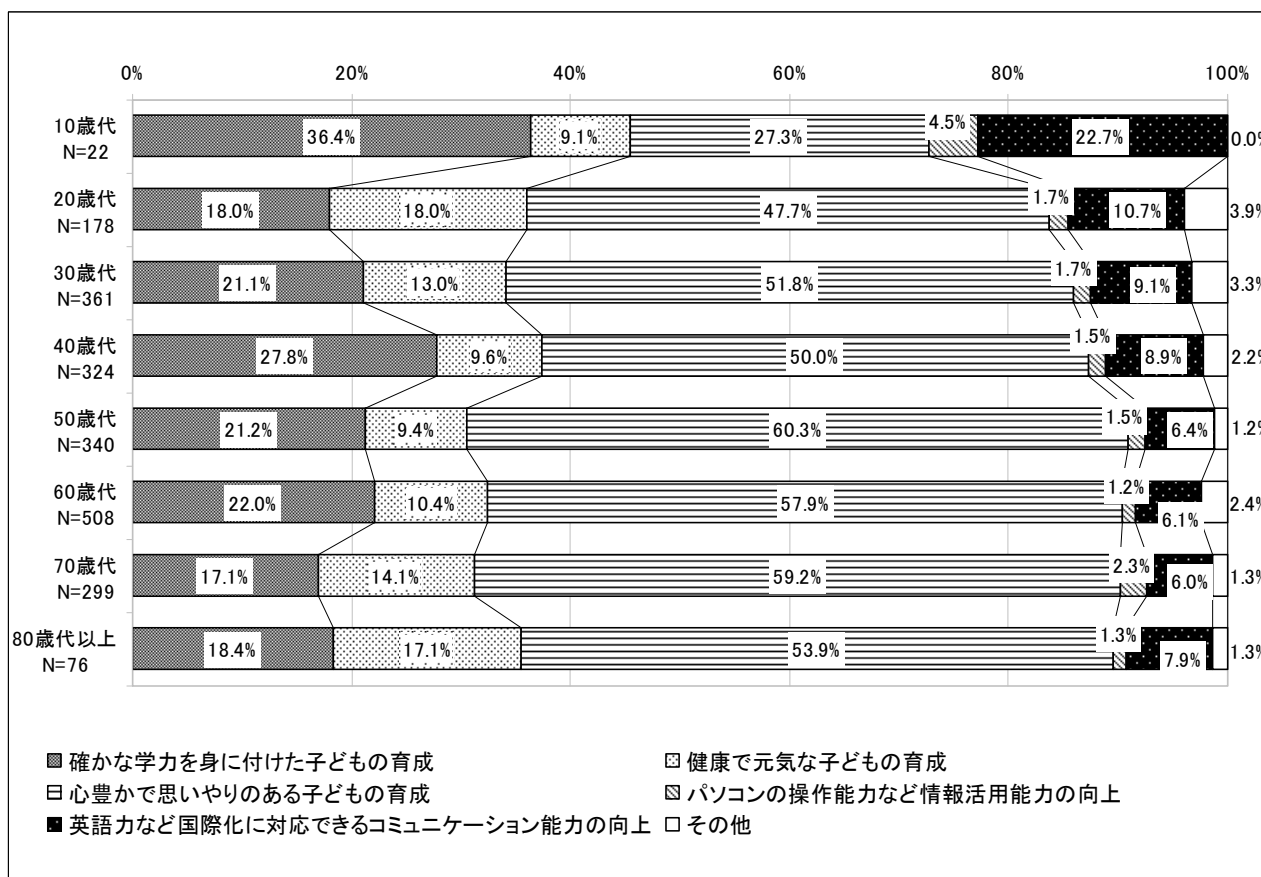
【全体】

「心豊かで思いやりのある子どもの育成」が54.9%で最も多く、「確かな学力を身に付けた子どもの育成」が21.5%が続いている。



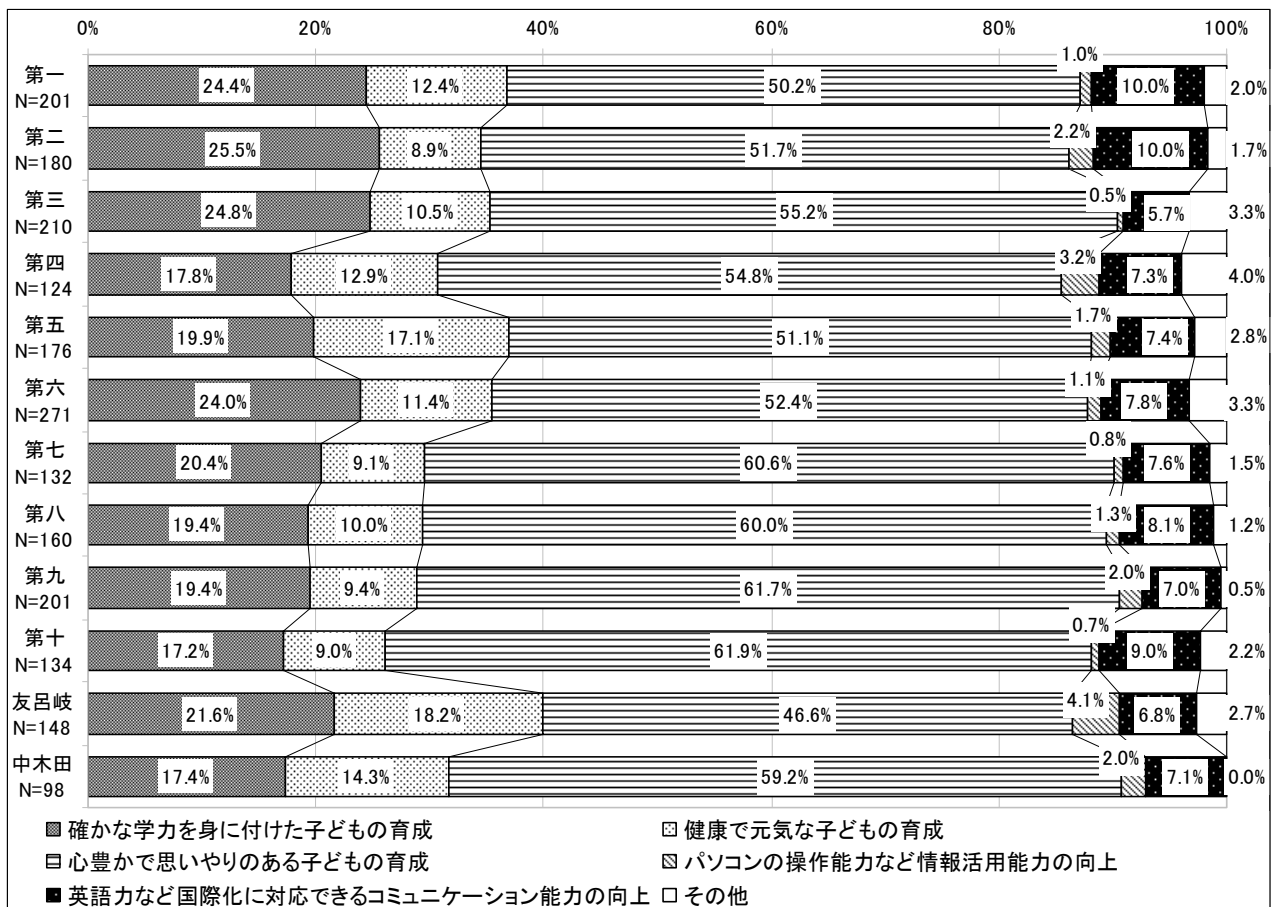
【年代別】

20歳代以上においては「心豊かで思いやりのある子どもの育成」が最も多く、「確かな学力を身に付けた子どもの育成」が続いている。また、10歳代においては、「確かな学力を身に付けた子どもの育成」が最も多くなっている。



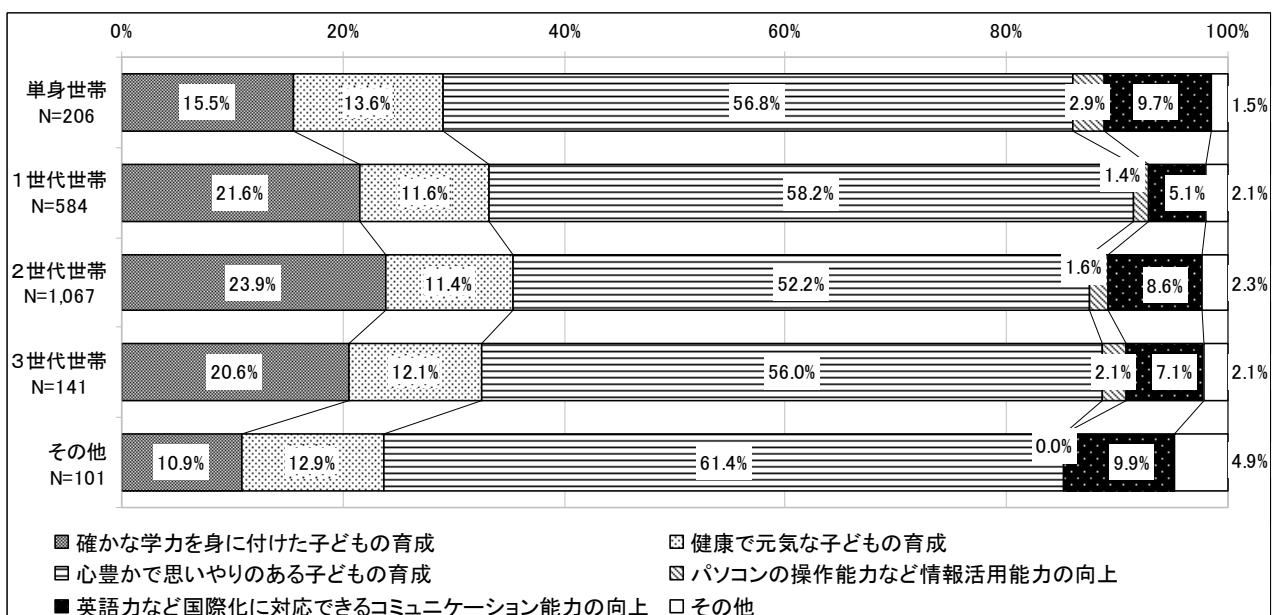
【校区別】

各校区において「心豊かで思いやりのある子どもの育成」が最も多く、「確かな学力を身に付けた子どもの育成」が続いている。



【家族構成別】

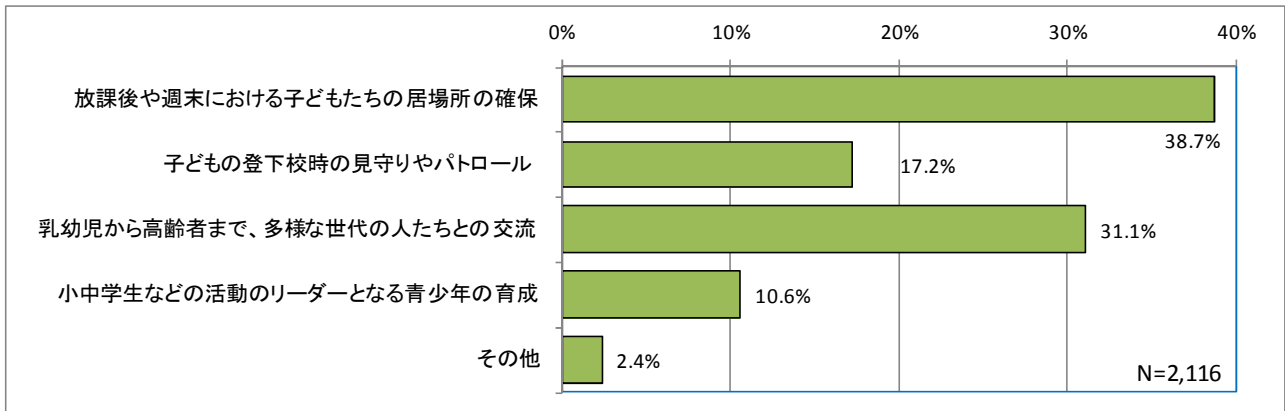
各家族構成において「心豊かで思いやりのある子どもの育成」が最も多く、「確かな学力を身に付けた子どもの育成」が続いている。



問6-3 青少年の健全育成のために、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

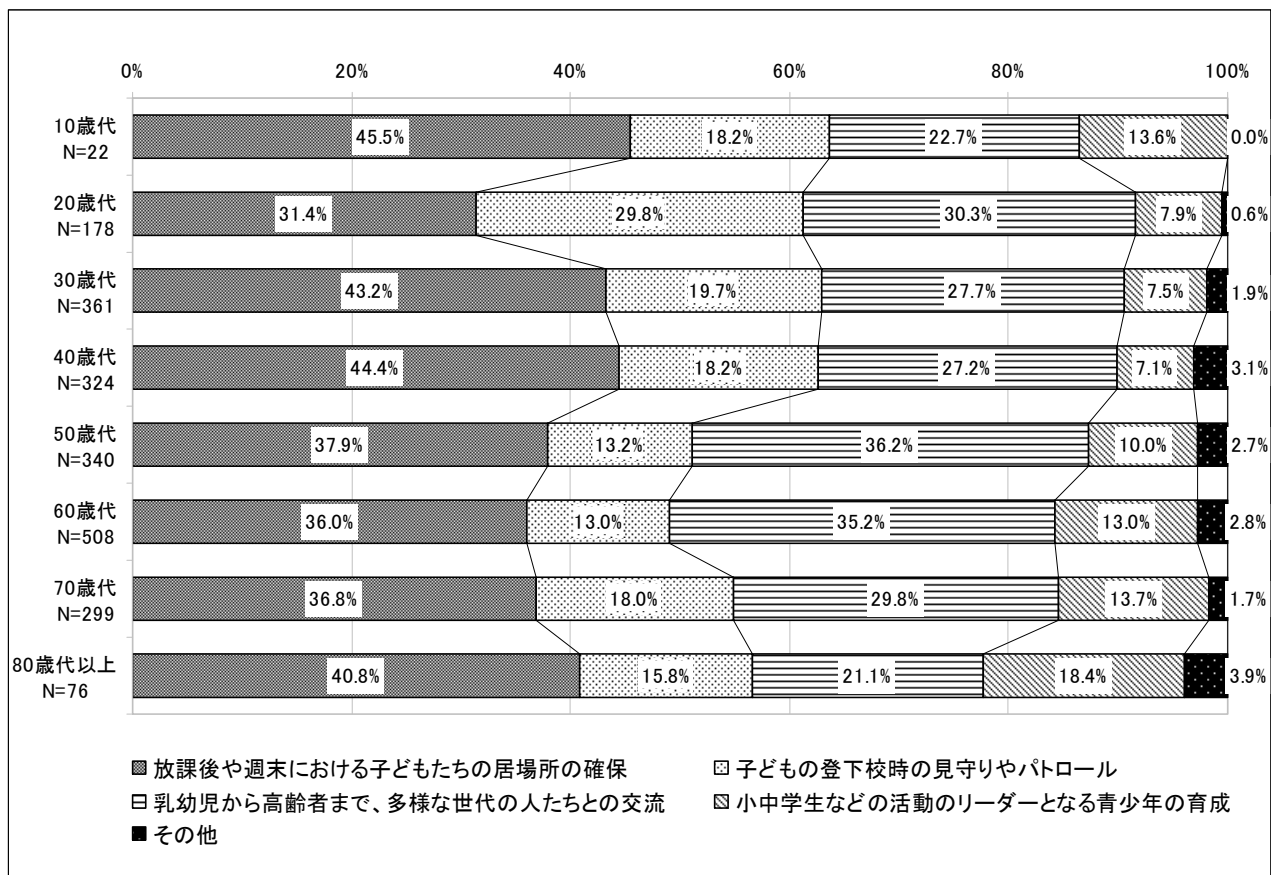
【全体】

「放課後や週末における子どもたちの居場所の確保」が38.7%で最も多く、「乳幼児から高齢者まで、多様な世代の人たちとの交流」が31.1%で続いている。



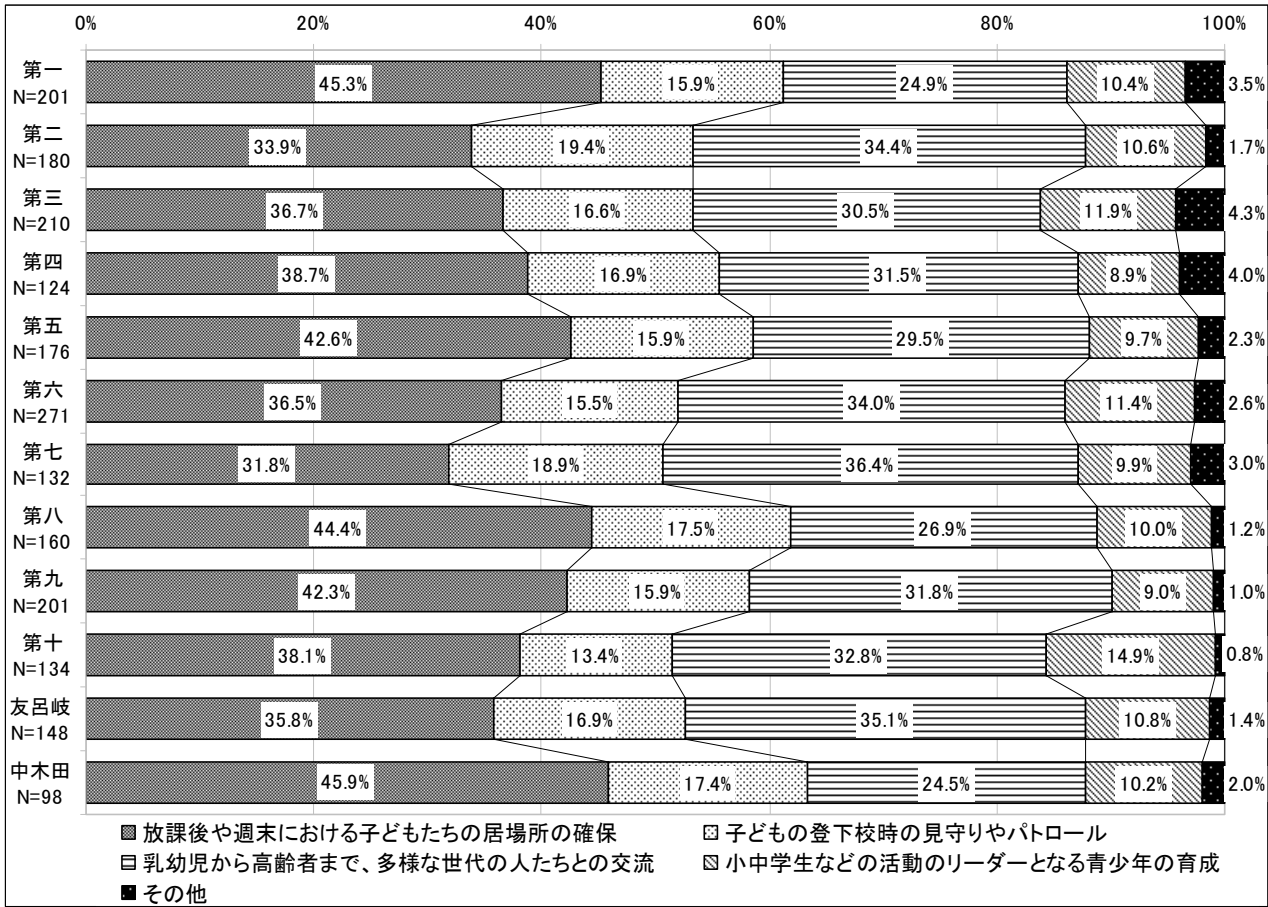
【年代別】

各年代において「放課後や週末における子どもたちの居場所の確保」が最も多く、「乳幼児から高齢者まで、多様な世代の人たちとの交流」が続いている。



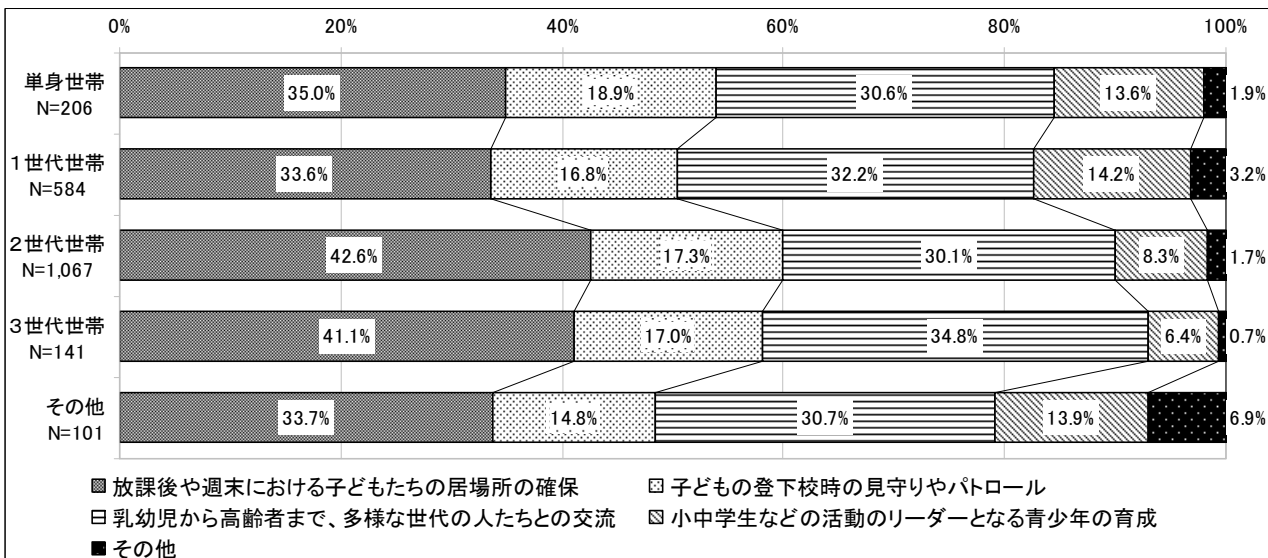
【校区別】

第二、第七中学校区以外の校区においては「放課後や週末における子どもたちの居場所の確保」が最も多く、第二、第七中学校区においては「乳幼児から高齢者まで、多様な世代の人たちとの交流」が最も多くなっている。



【家族構成別】

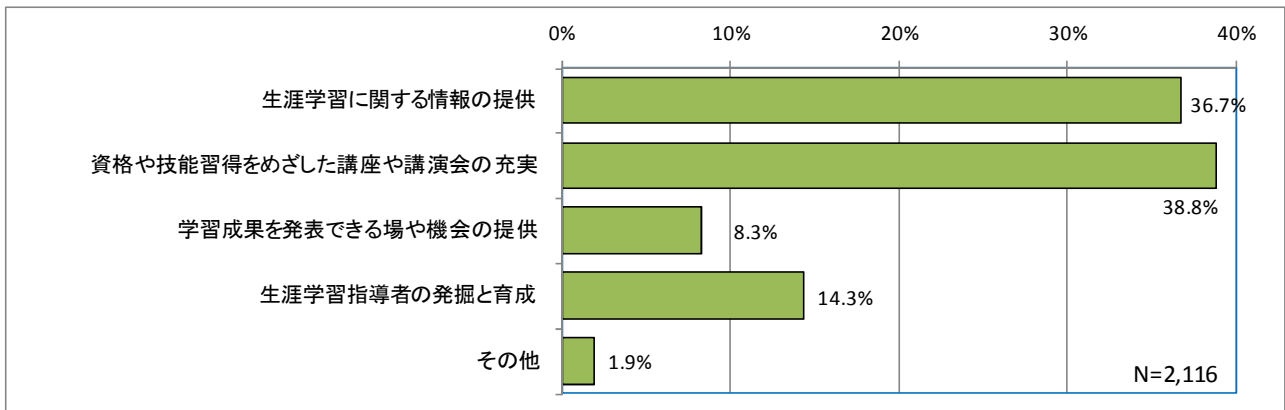
各家族構成において「放課後や週末における子どもたちの居場所の確保」が最も多く、特に2世代世帯と3世代世帯でその割合が高くなっている。



問6-4 生涯学習として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

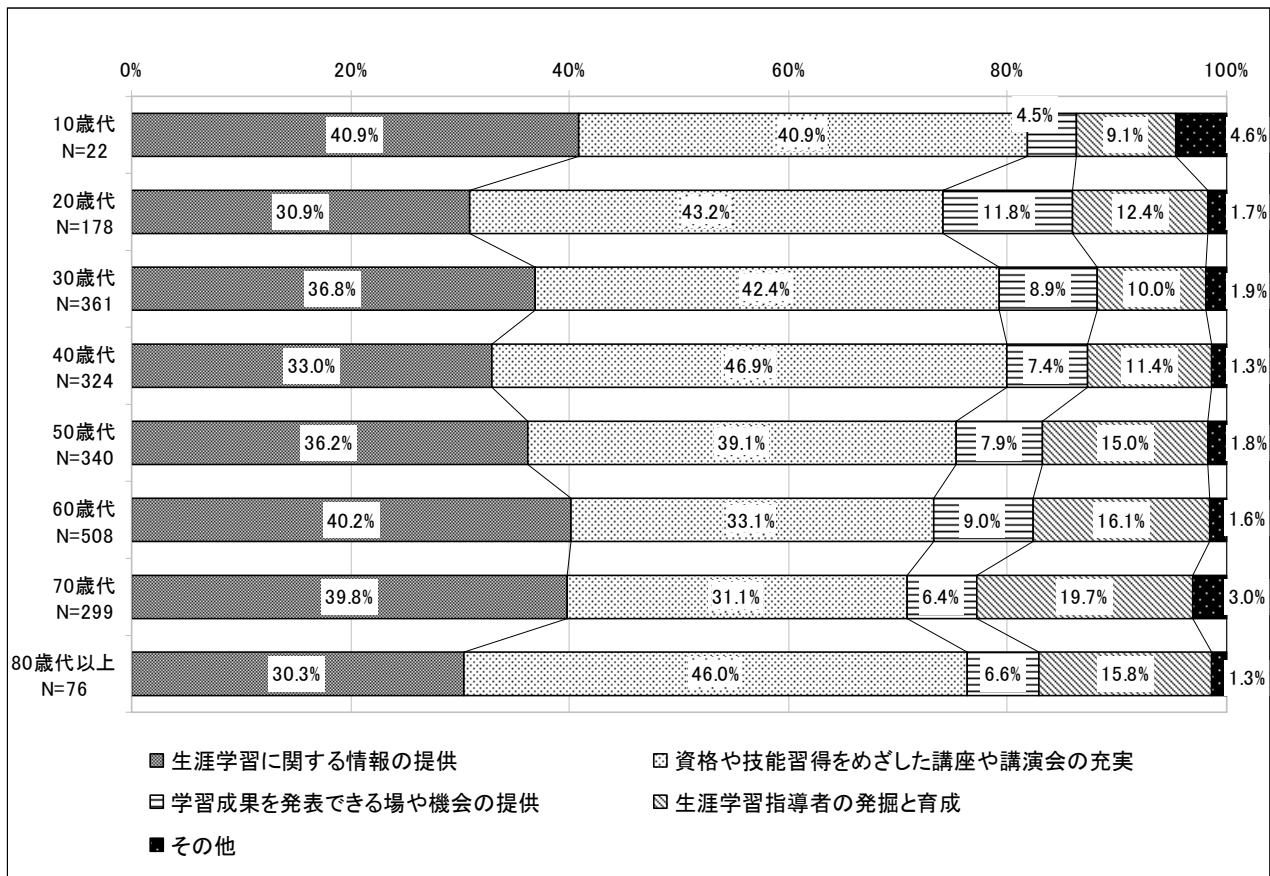
【全体】

「資格や技能習得をめざした講座や講演会の充実」が38.8%で最も多く、「生涯学習に関する情報の提供」が36.7%で続いている。



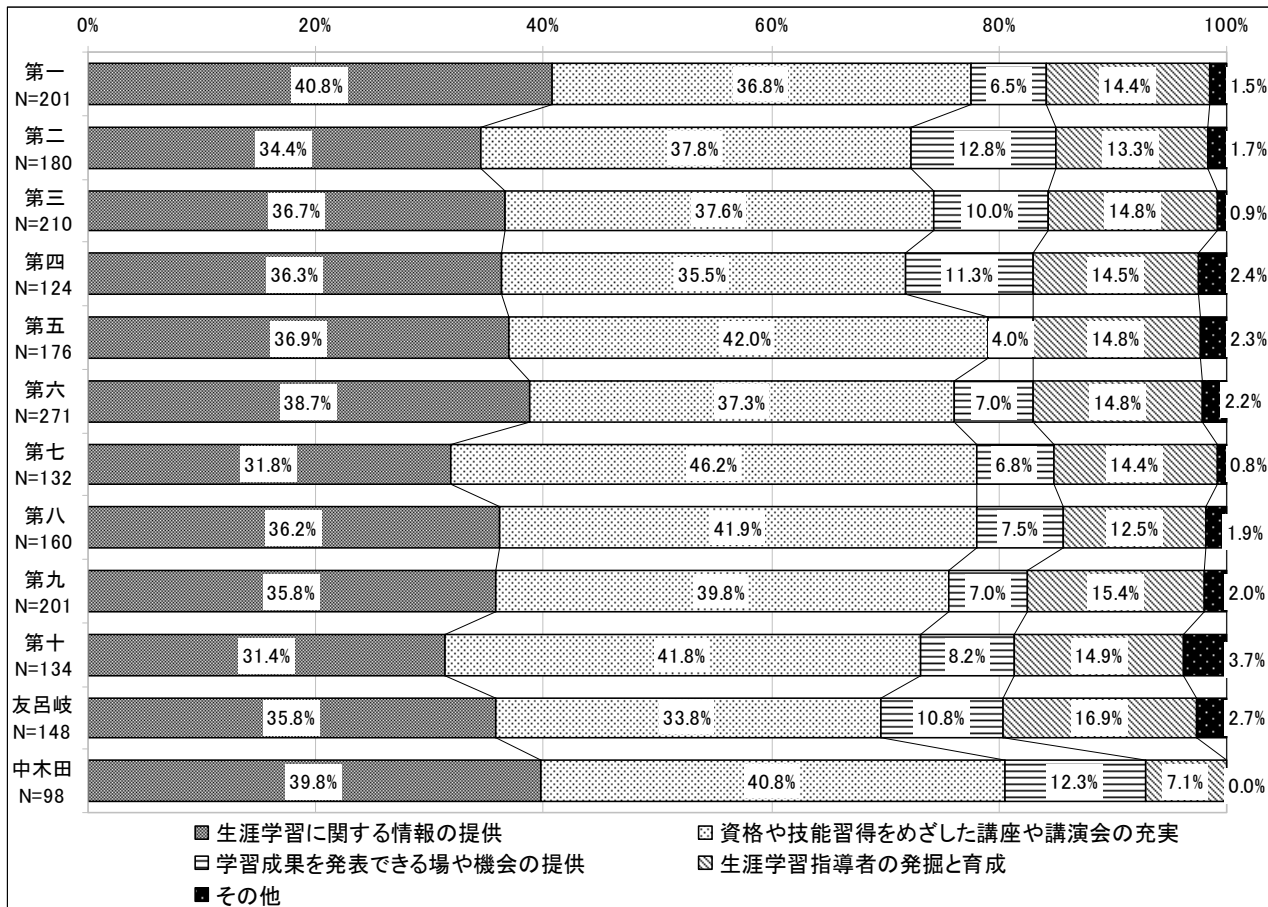
【年代別】

各年代において「生涯学習に関する情報の提供」と「資格や技能習得をめざした講座や講演会の充実」が合わせて7割以上を占めている。



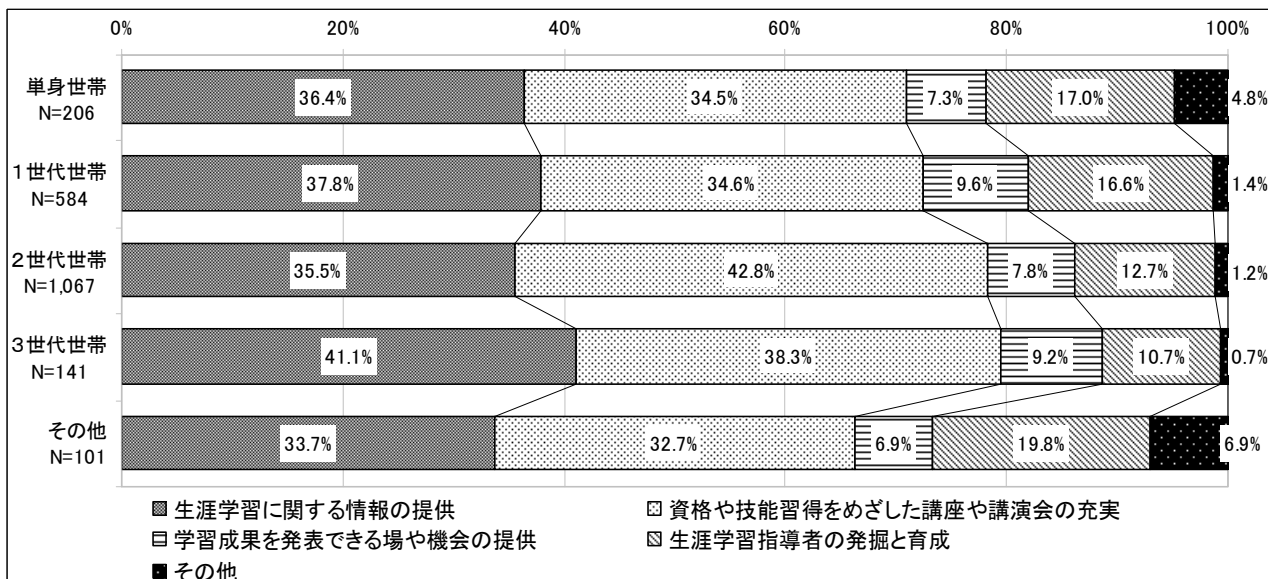
【校区別】

第一、第四、第六、友呂岐中学校区以外の校区においては「資格や技能習得をめざした講座や講演会の充実」が最も多く、第一、第四、第六、友呂岐中学校区においては、「生涯学習に関する情報の提供」が最も多くなっている。



【家族構成別】

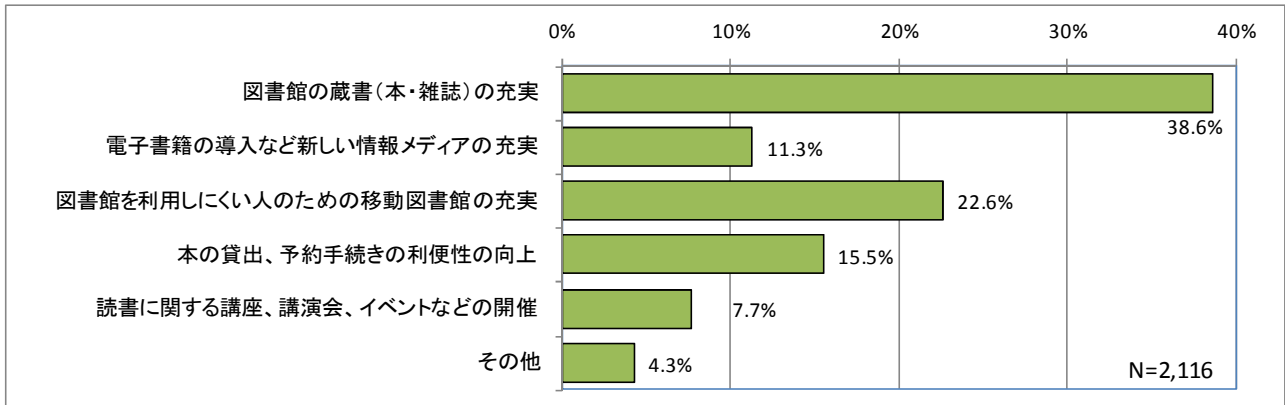
2世代世帯以外の家族構成においては「生涯学習に関する情報の提供」が最も多く、2世代世帯においては「資格や技能習得をめざした講座や講演会の充実」が最も多くなっている。



問6-5 図書館について、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

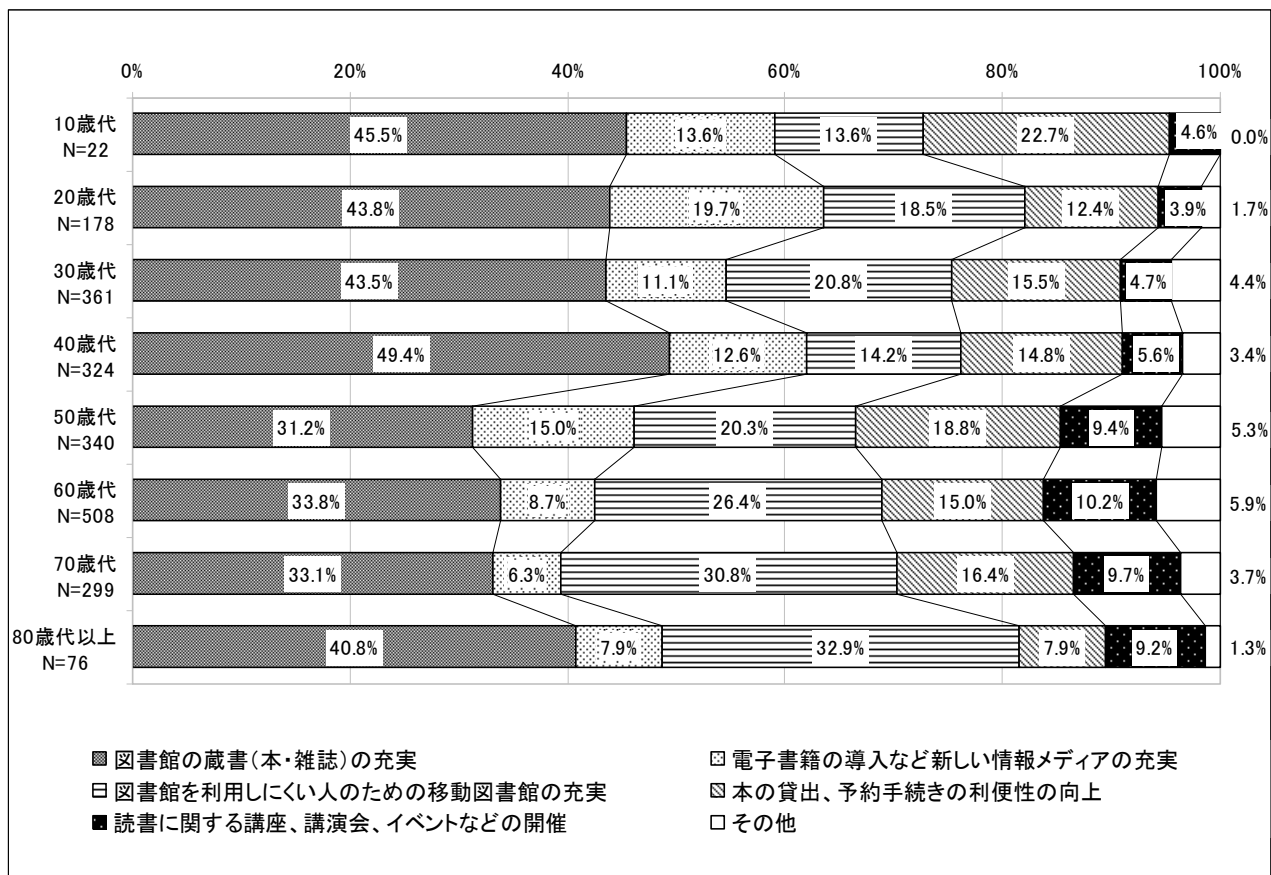
【全体】

「図書館の蔵書（本・雑誌）の充実」が38.6%で最も多く、「図書館を利用しにくい人のための移動図書館の充実」が22.6%が続いている。



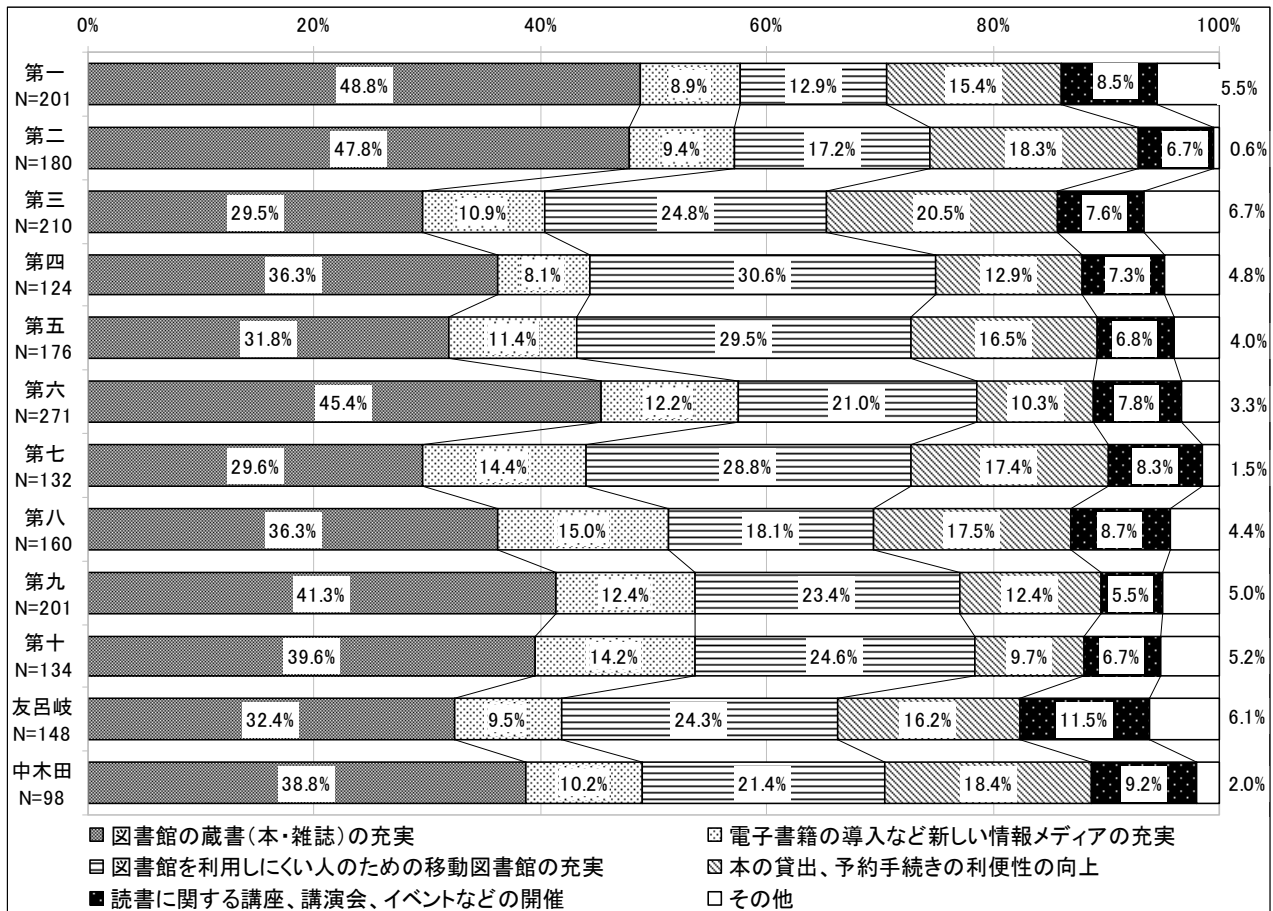
【年代別】

各年代において「図書館の蔵書（本・雑誌）の充実」が最も多い。30歳代及び50歳代以上では、「図書館を利用しにくい人のための移動図書館の充実」が続いており、50歳代以上になるとその割合が徐々に高くなっている。



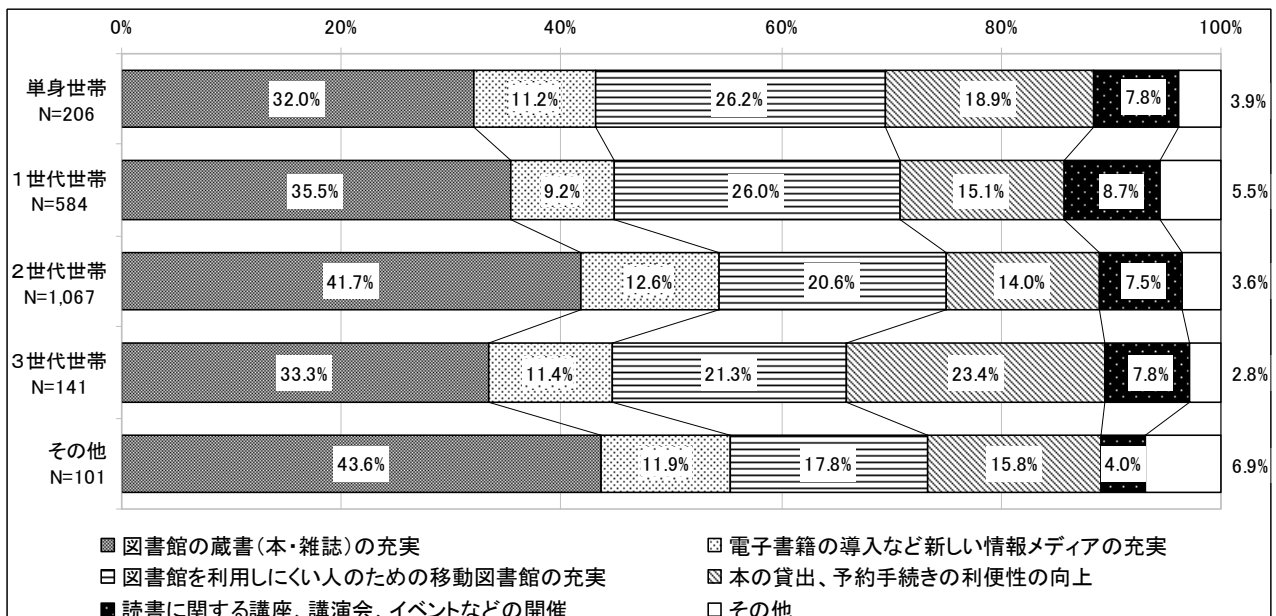
【校区別】

各校区において「図書館の蔵書（本・雑誌）の充実」が最も多く、第一、第二中学校区以外の校区においては「図書館を利用しにくい人のための移動図書館の充実」が続いており、第一、第二中学校区においては「本の貸出、予約手続きの利便性の向上」が続いている。



【家族構成別】

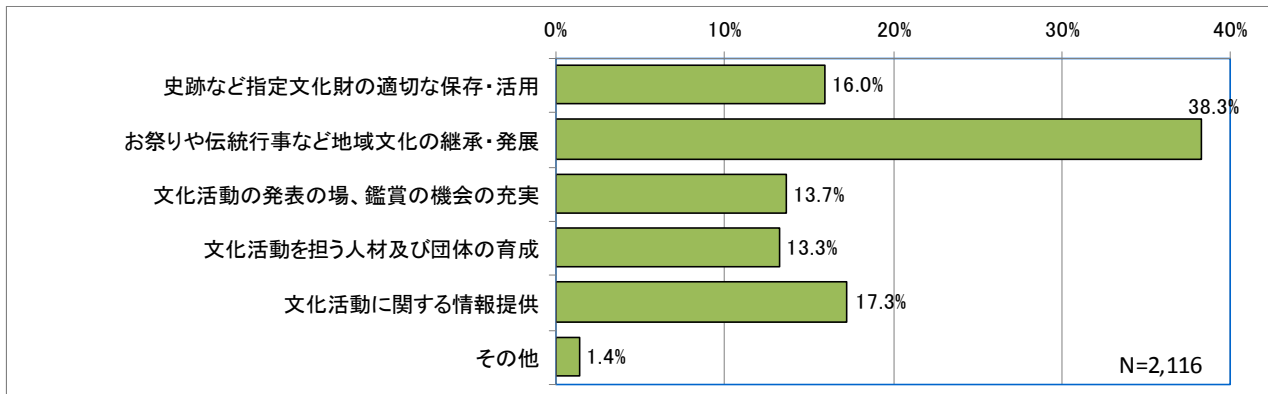
各家族構成において「図書館の蔵書（本・雑誌）の充実」が最も多く、「図書館を利用しにくい人のための移動図書館の充実」が続いている。



問6-6 文化の振興を図るために、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

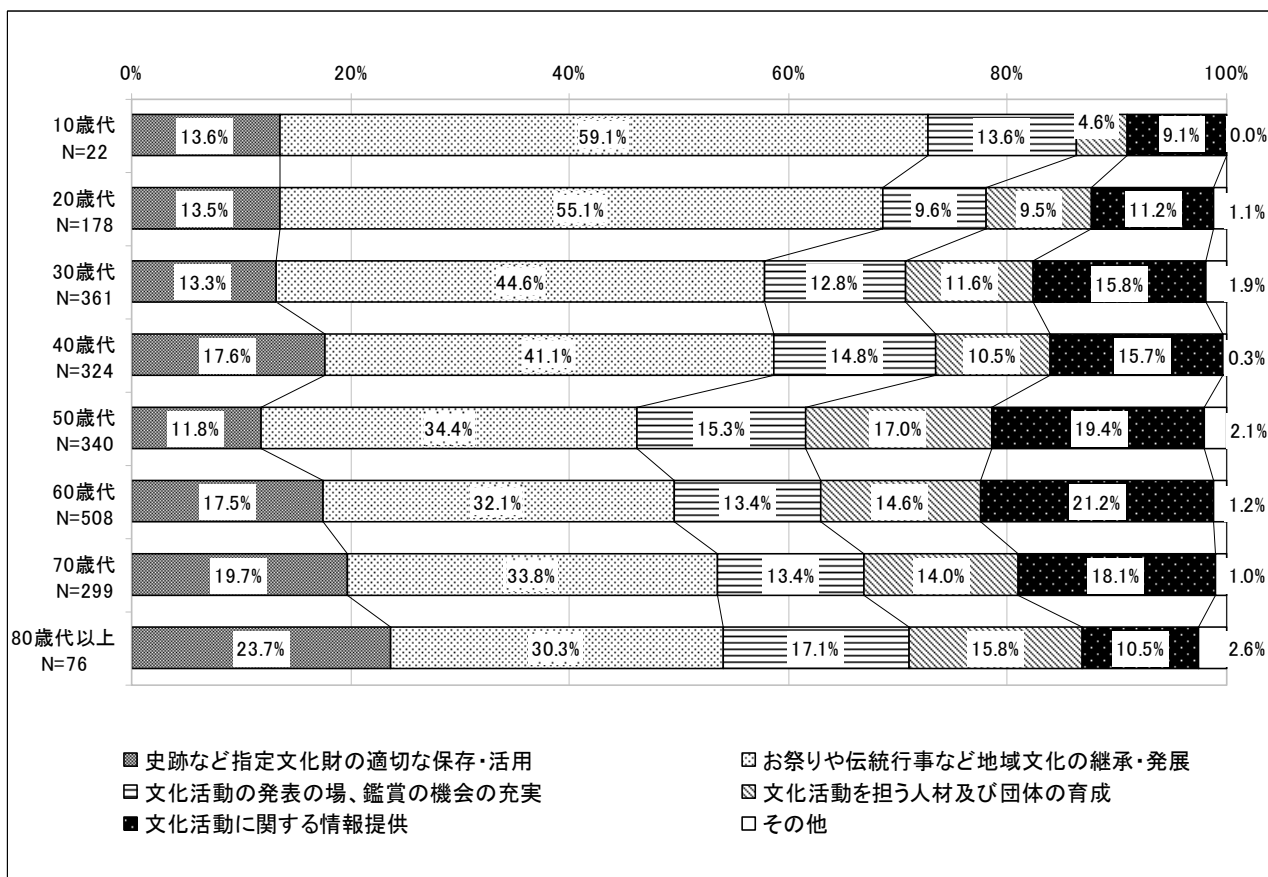
【全体】

「お祭りや伝統行事など地域文化の継承・発展」が38.3%で最も多く、「文化活動に関する情報提供」17.3%、「史跡など指定文化財の適切な保存・活用」16.0%と続いている。



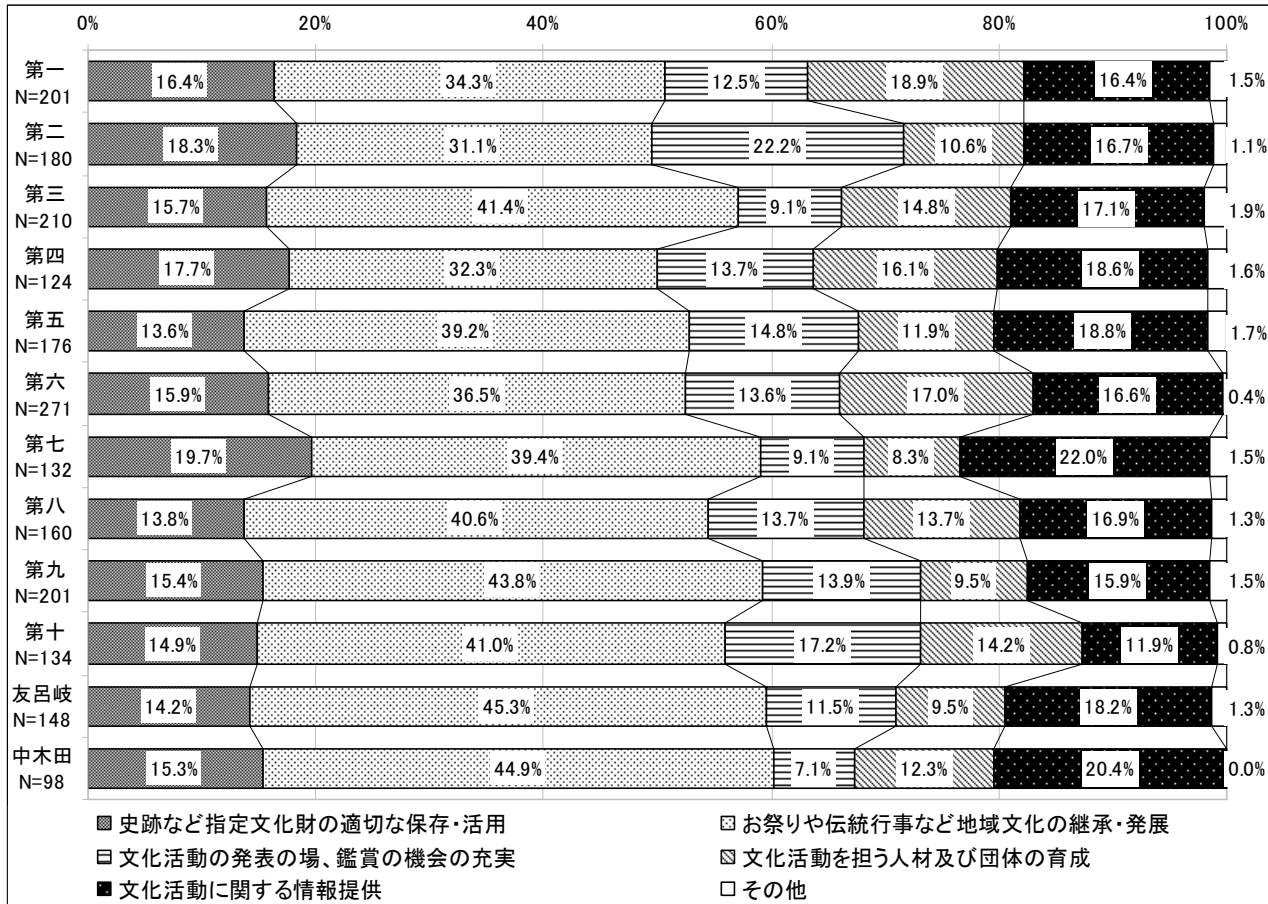
【年代別】

各年代において「お祭りや伝統行事など地域文化の継承・発展」が最も多く、若い年代ほどその割合が高くなっている。



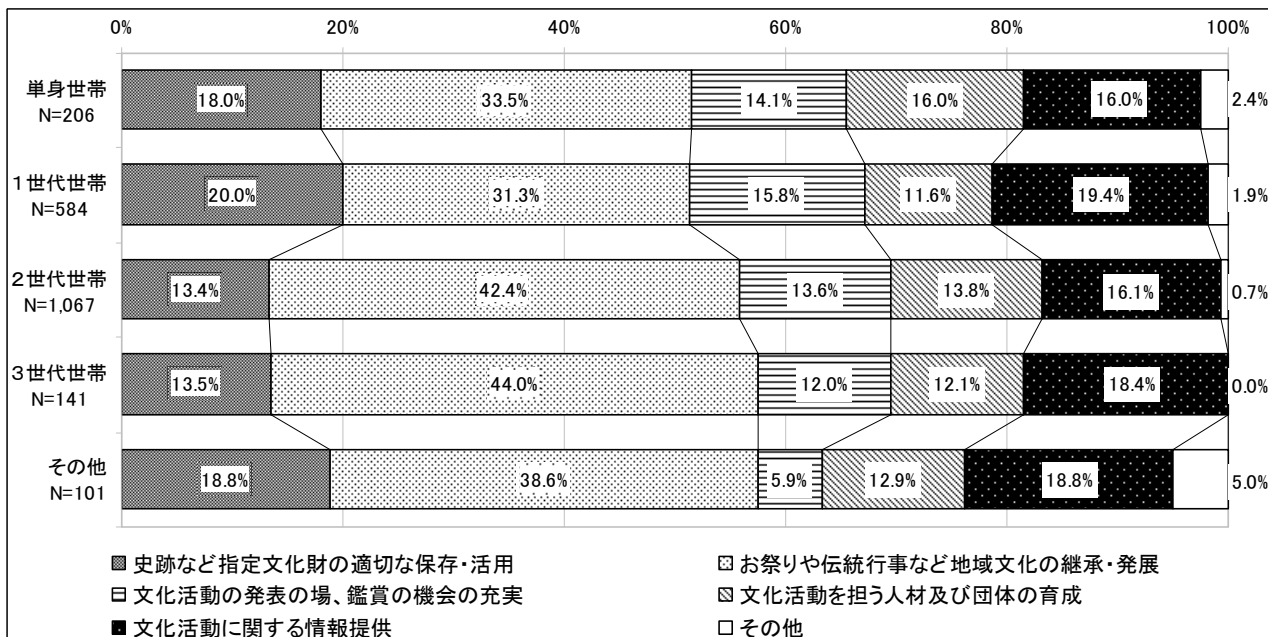
【校区別】

各校区において「お祭りや伝統行事など地域文化の継承・発展」が最も多い。また第一、第二、第六、第十中学校区以外の校区においては「文化活動に関する情報提供」が続いており、第一、第六中学校区は「文化活動を担う人材及び団体の育成」が、第二、第十中が校区においては「文化活動の発表の場、鑑賞の機会の充実」が続いている。



【家族構成別】

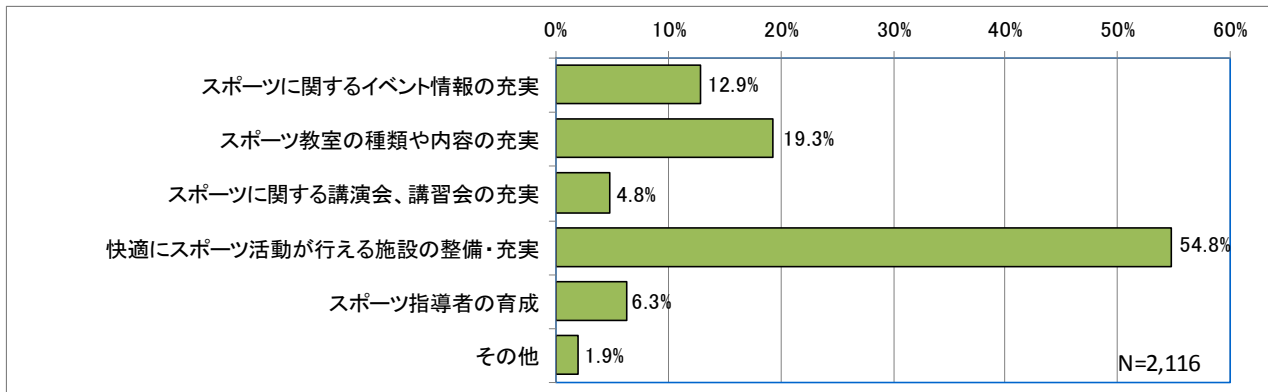
各家族構成において「お祭りや伝統行事など地域文化の継承・発展」が最も多く、特に2世代世帯、3世代世帯でその割合が高くなっている。



問6-7 スポーツ活動を推進するために、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

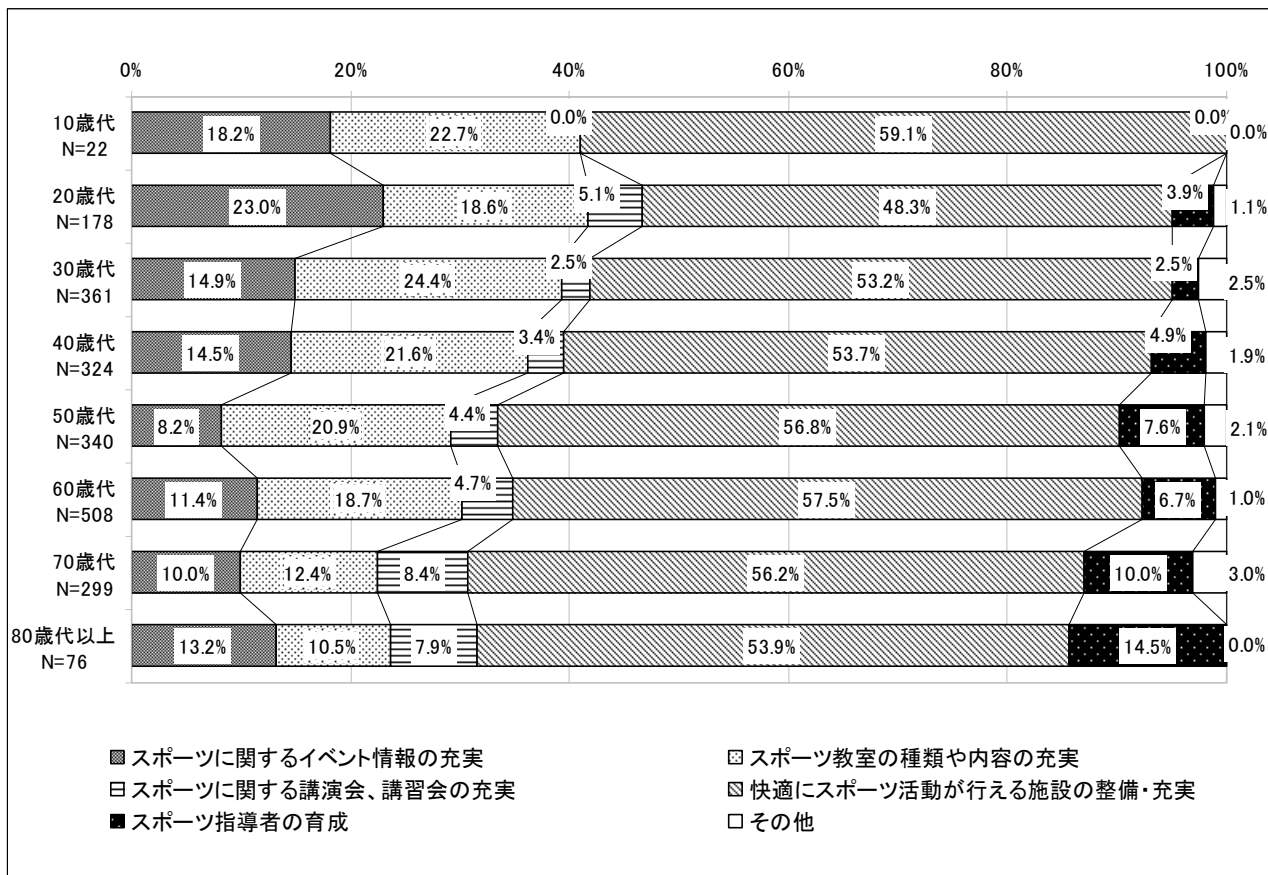
【全体】

「快適にスポーツ活動が行える施設の整備・充実」が54.8%で最も多く、「スポーツ教室の種類や内容の充実」19.3%が続いている。



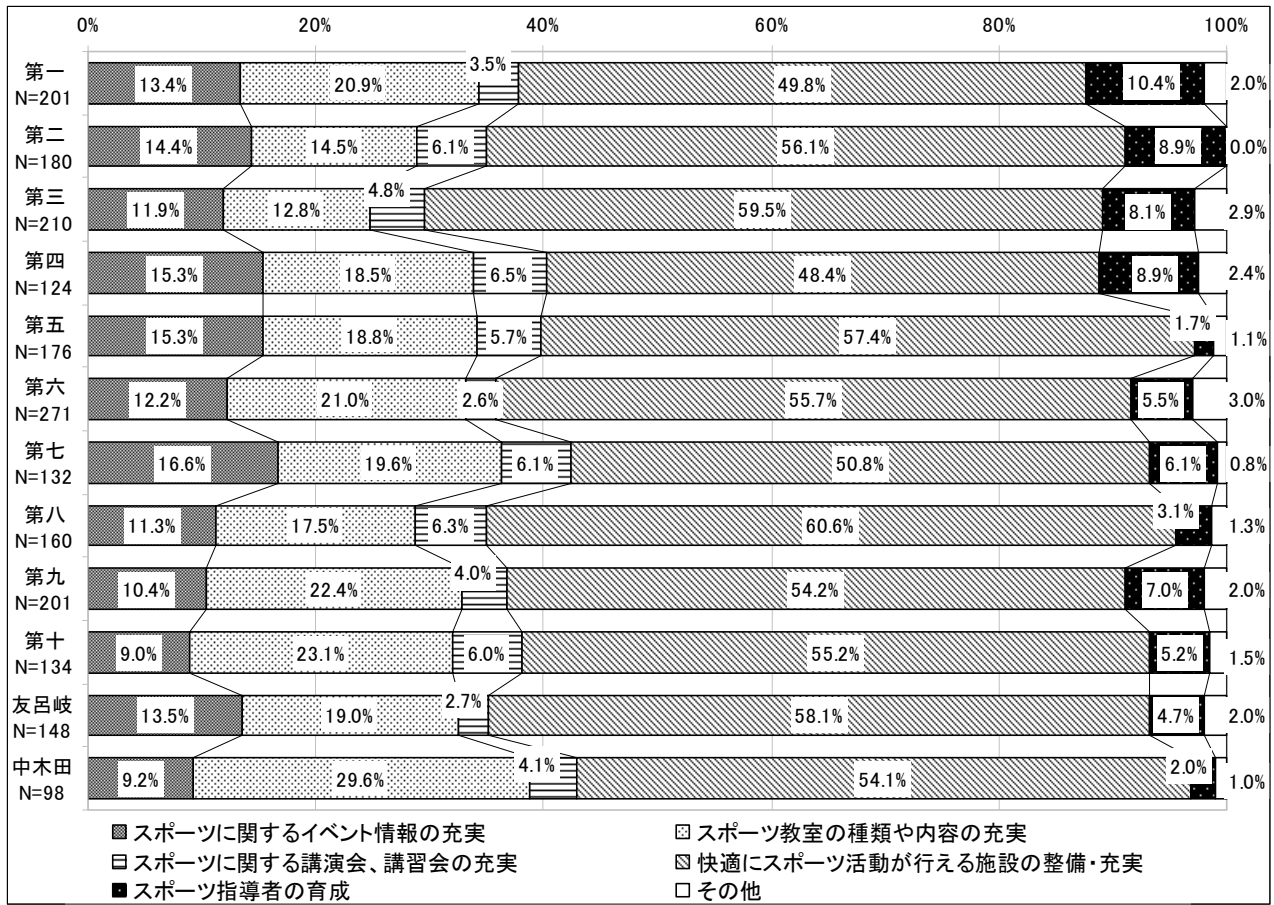
【年代別】

各年代において「快適にスポーツ活動が行える施設の整備・充実」が最も多く、20歳代及び80歳代以外の年代においては「スポーツ教室の種類や内容の充実」が続いている。また、20歳代では「スポーツに関するイベント情報の充実」、80歳代以上では「スポーツ指導者の育成」が続いている。



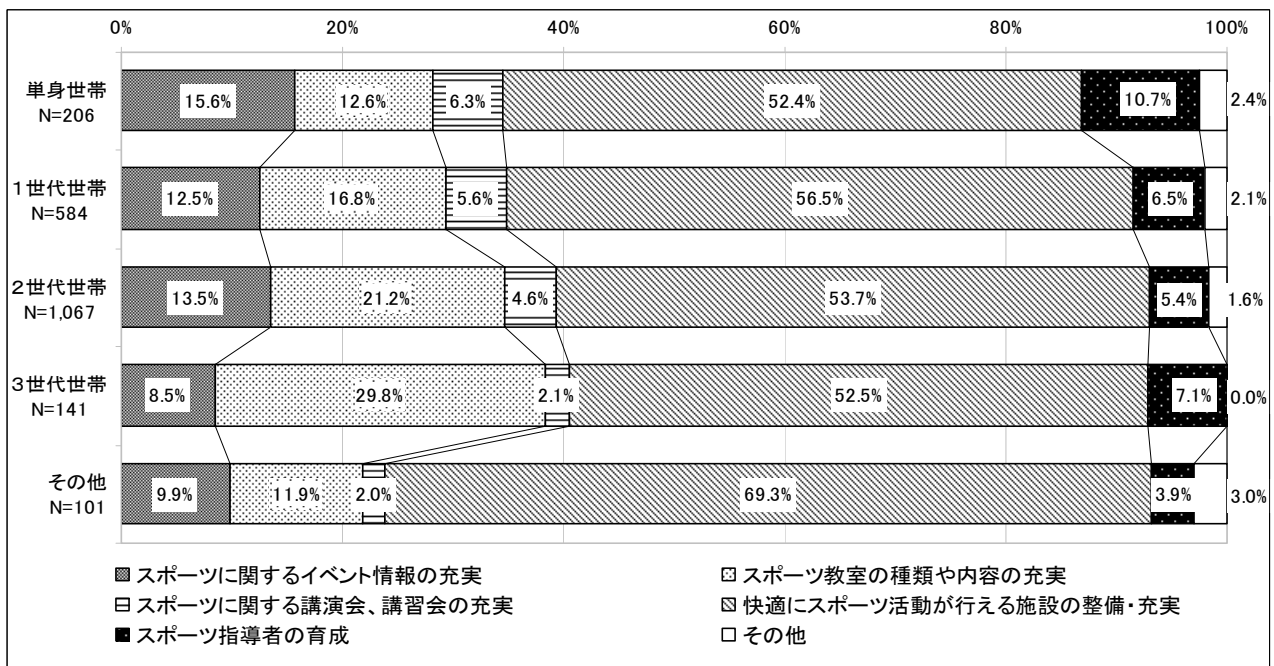
【校区別】

各校区において「快適にスポーツ活動が行える施設の整備・充実」が最も多く、「スポーツ教室の種類や内容の充実」が続いている。



【家族構成別】

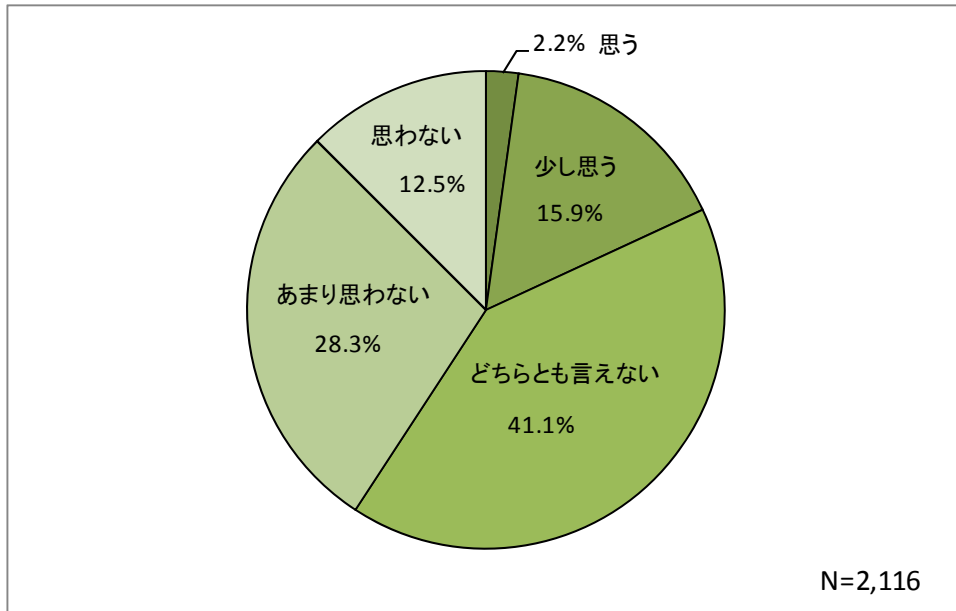
各家族構成において「快適にスポーツ活動が行える施設の整備・充実」が最も多く、単身世帯以外においては「スポーツ教室の種類や内容の充実」、単身世帯においては「スポーツに関するイベント情報の充実」が続いている。



問7 快適でうるおいのあるまちづくりについて

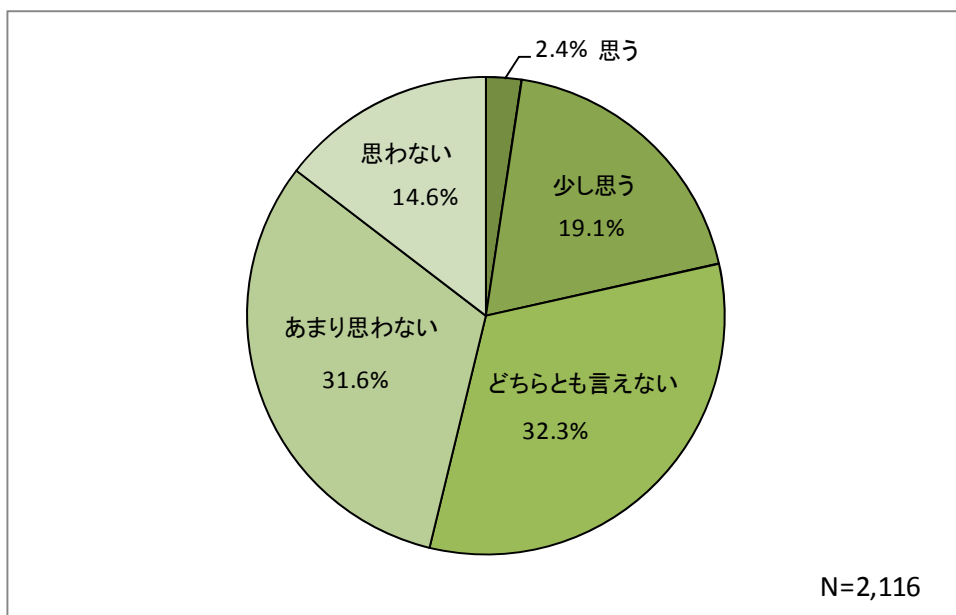
問7-1 寝屋川市では、地域の特性をいかした計画的なまちづくりが行われていると思いますか。

「どちらとも言えない」が41.1%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は18.1%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の40.8%を大きく下回っている。



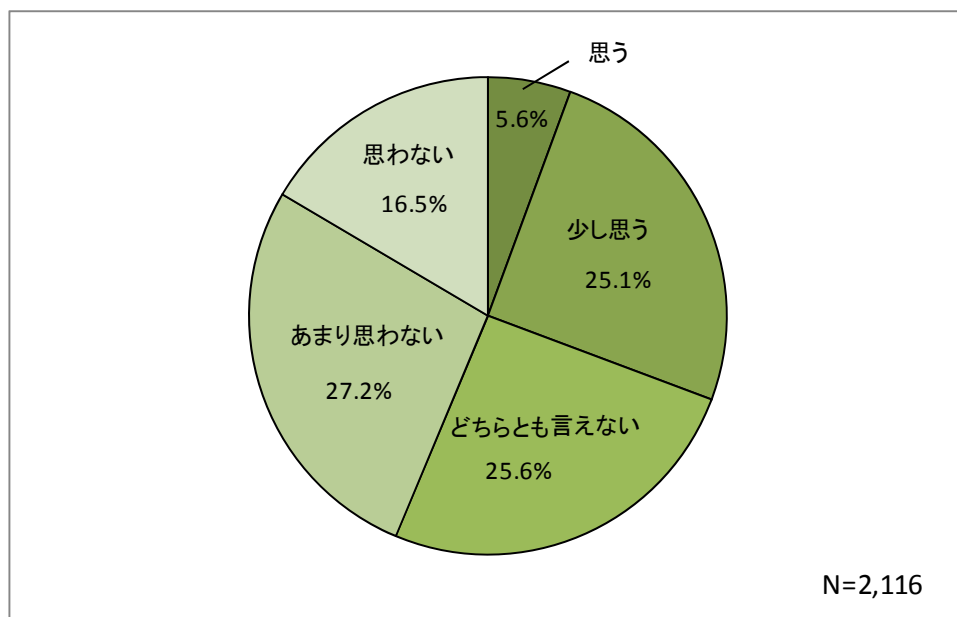
問7-2 寝屋川市では、快適な生活環境や美しいまちなみが確保されていると思いますか。

「どちらとも言えない」が32.3%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は21.5%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の46.2%を大きく下回っている。



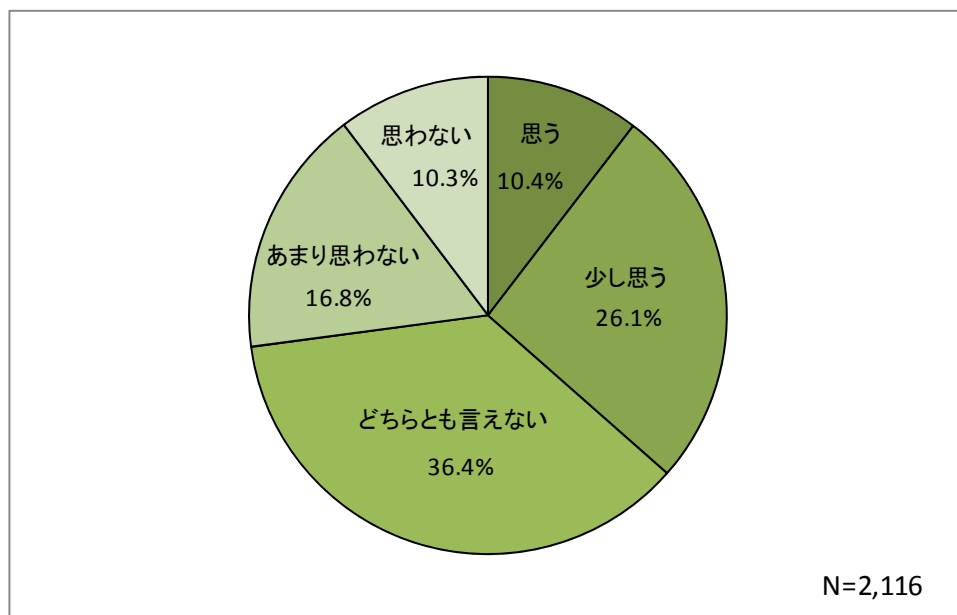
問7-3 寝屋川市は、駅周辺が魅力ある空間であると思いますか。

「あまり思わない」が27.2%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は30.7%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の43.7%を下回っている。



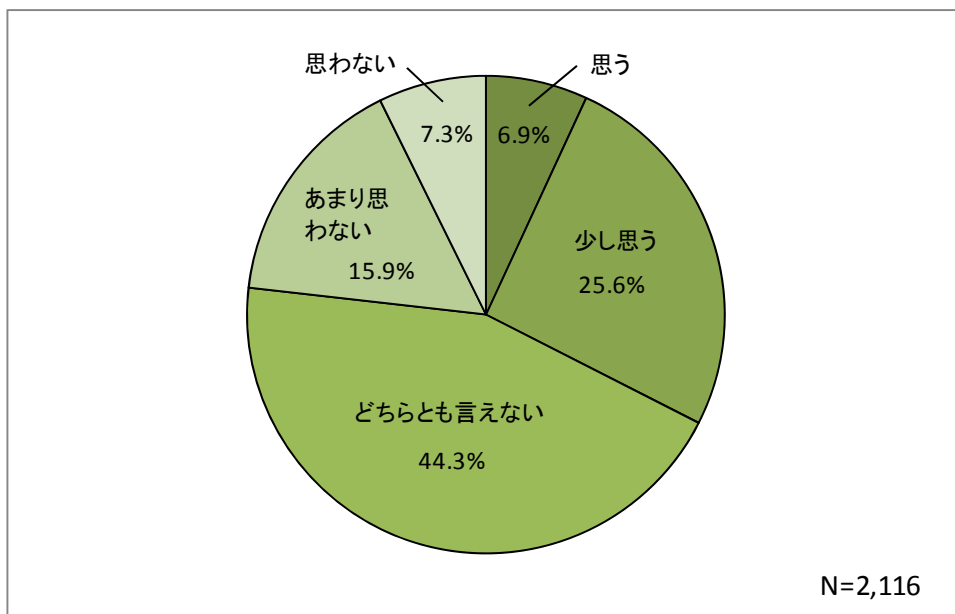
問7-4 寝屋川市の水道水は、安全でおいしいと思いますか。

「どちらとも言えない」が36.4%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は36.5%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の27.1%を上回っている。



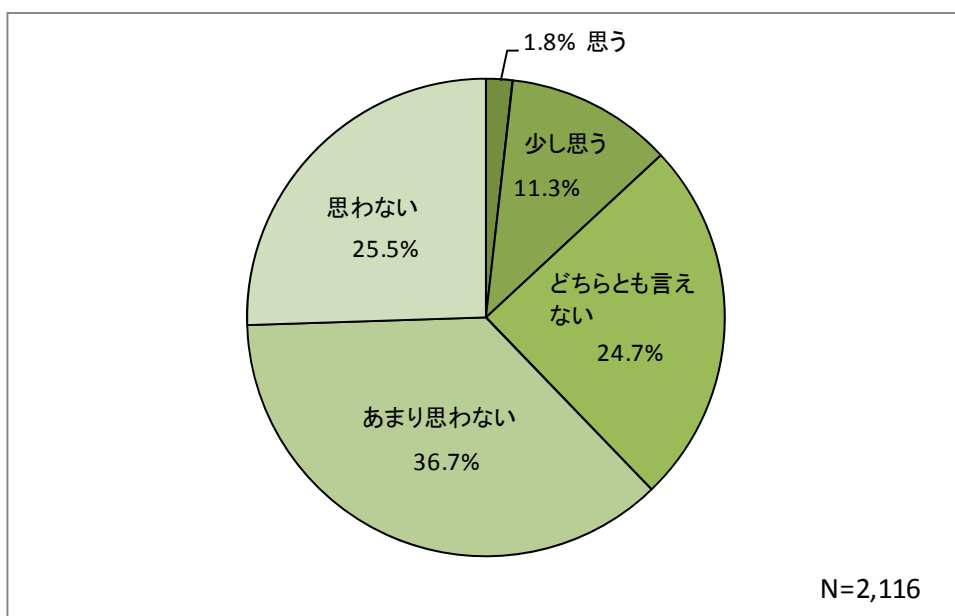
問7-5 寝屋川市では、下水道の整備や維持管理が適切に行われていると思いますか。

「どちらとも言えない」が44.3%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は32.5%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の23.2%を上回っている。



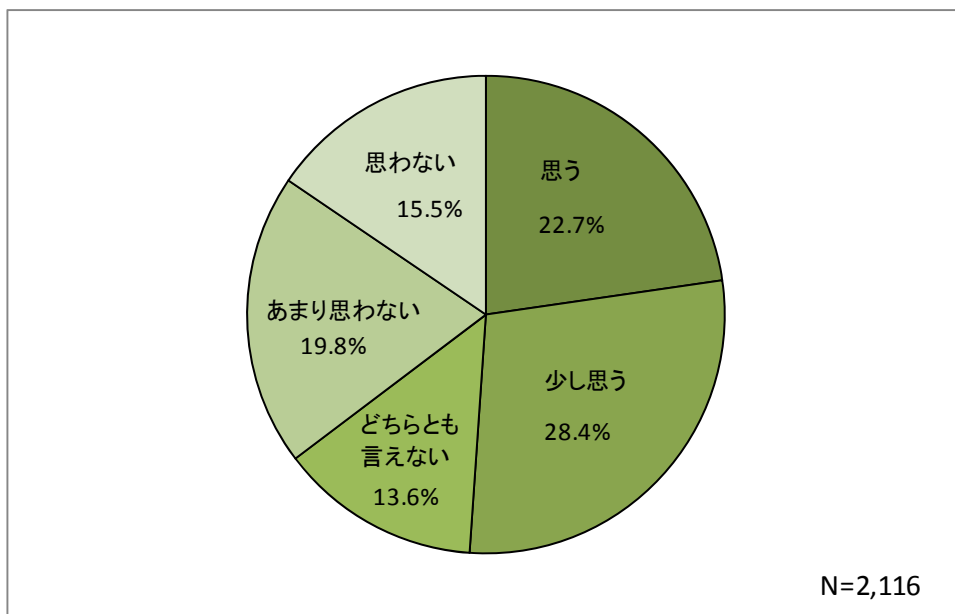
問7-6 寝屋川市では、歩行者にやさしい道路整備が進んでいると思いますか。

「あまり思わない」が36.7%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は13.1%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の62.2%を大きく下回っている。



問7-7 あなたの身近に公園・緑地がありますか。

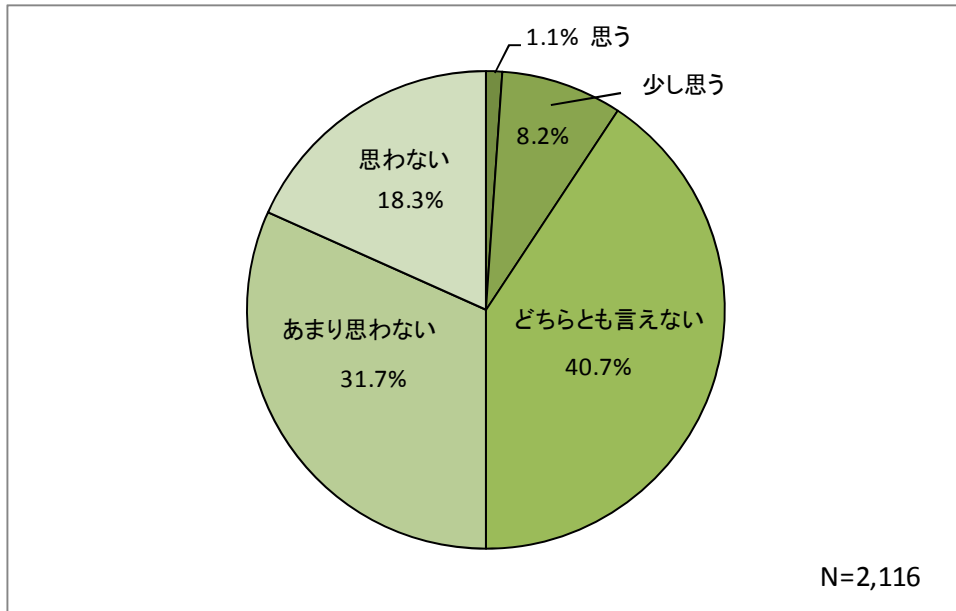
「少し思う」が28.4%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は51.1%と5割を占め、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の35.3%を上回っている。



問8 環境を守り育てるまちづくりについて

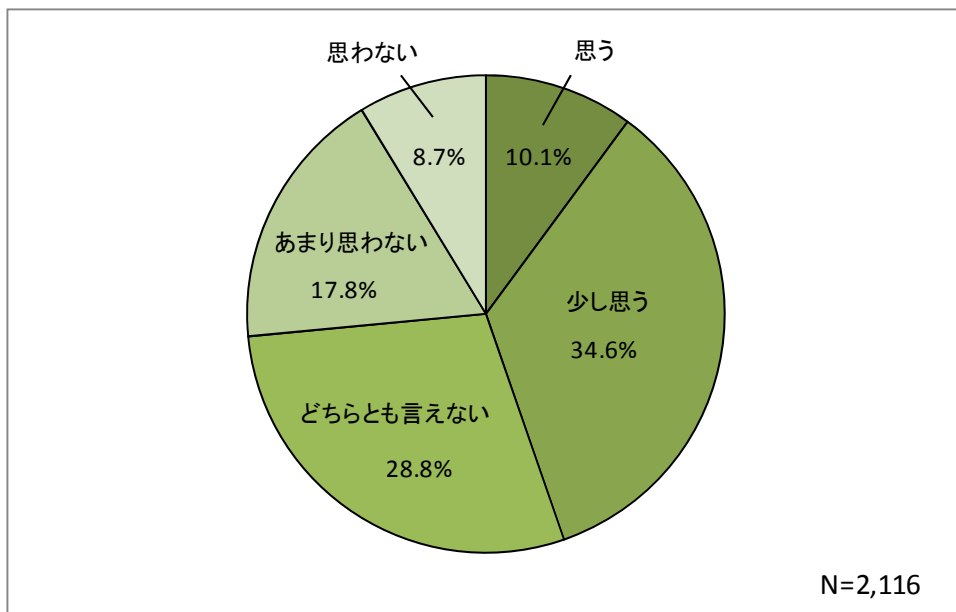
問8-1 寝屋川市では、地球温暖化防止に向けた取組の啓発活動など、温暖化対策が適切に行われていると思いますか。

「どちらとも言えない」が40.7%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は9.3%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の50.0%を大きく下回っている。



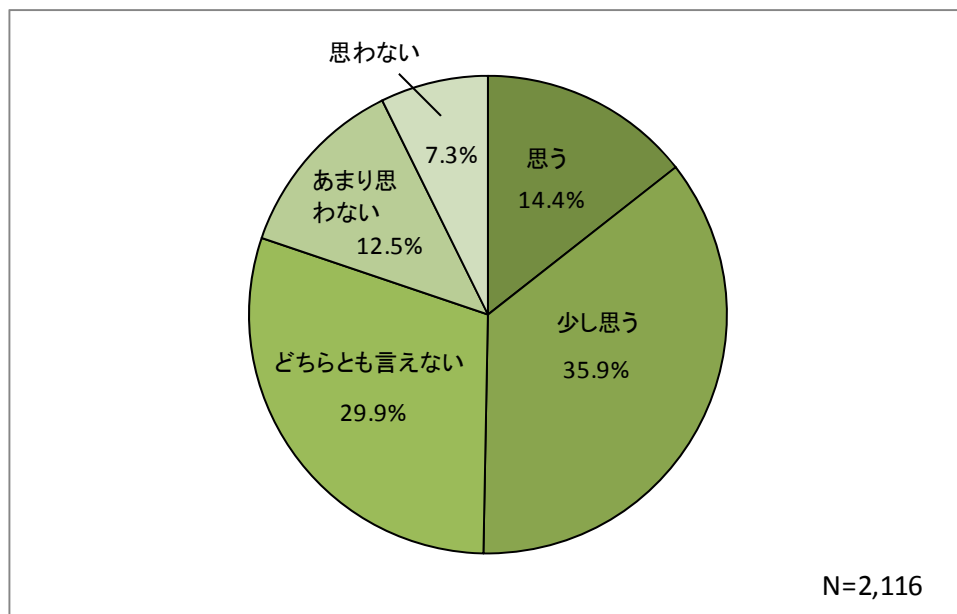
問8-2 寝屋川市では、ごみの減量と資源リサイクルの取組が進んでいると思いますか。

「少し思う」が34.6%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は44.7%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の26.5%を上回っている。



問 8-3 寝屋川市では、ごみ収集及び処理が効率的かつ適正に行われていると思いますか。

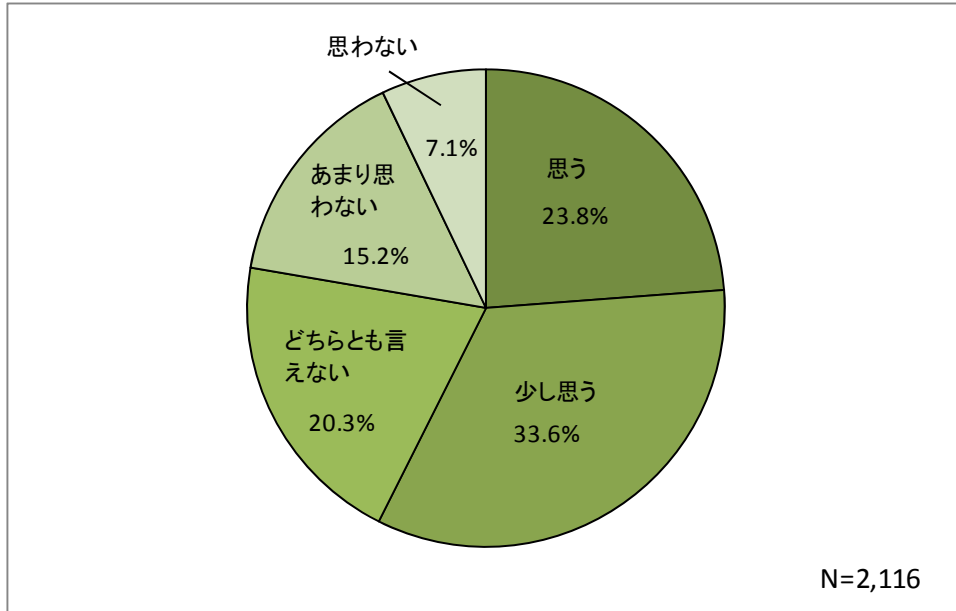
「少し思う」が 35.9%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は 50.3%と 5割を占め、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の 19.8%を大きく上回っている。



問9 活力あふれるにぎわいのまちづくりについて

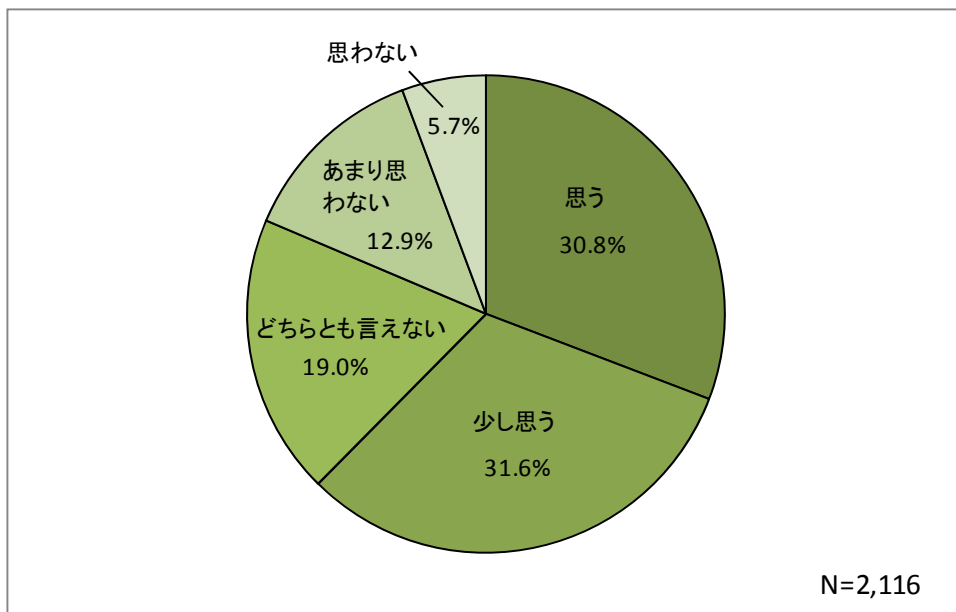
問9-1 寝屋川市内で、買い物がしやすいと思いますか。

「少し思う」が33.6%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は57.4%と6割近くを占め、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の22.3%を大きく上回っている。



問9-2 寝屋川市内で、生産した農作物を購入したいと思いますか。

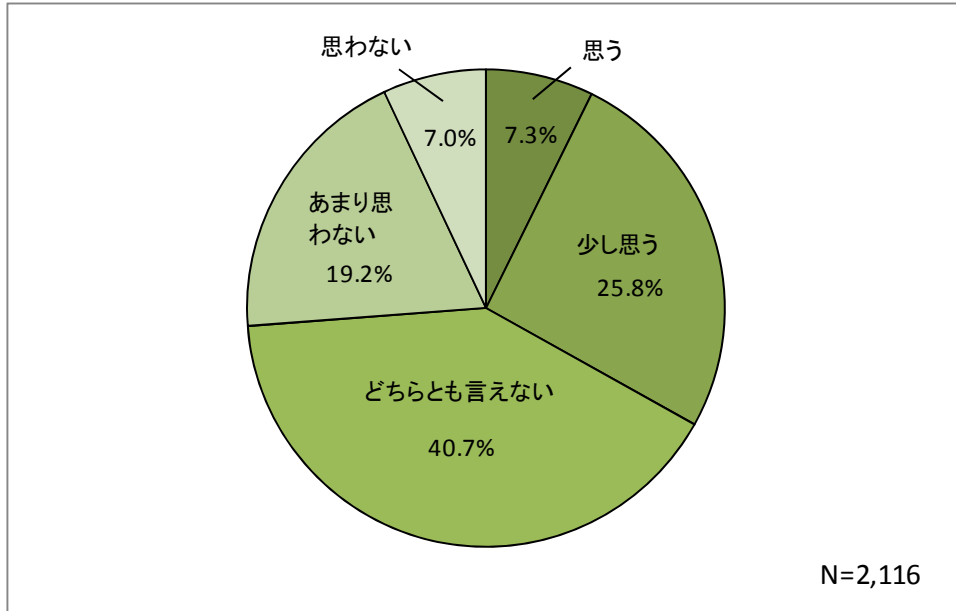
「少し思う」が31.6%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は62.4%と6割を占め、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の18.6%を大きく上回っている。



問 10 市民が主役のまちづくりについて

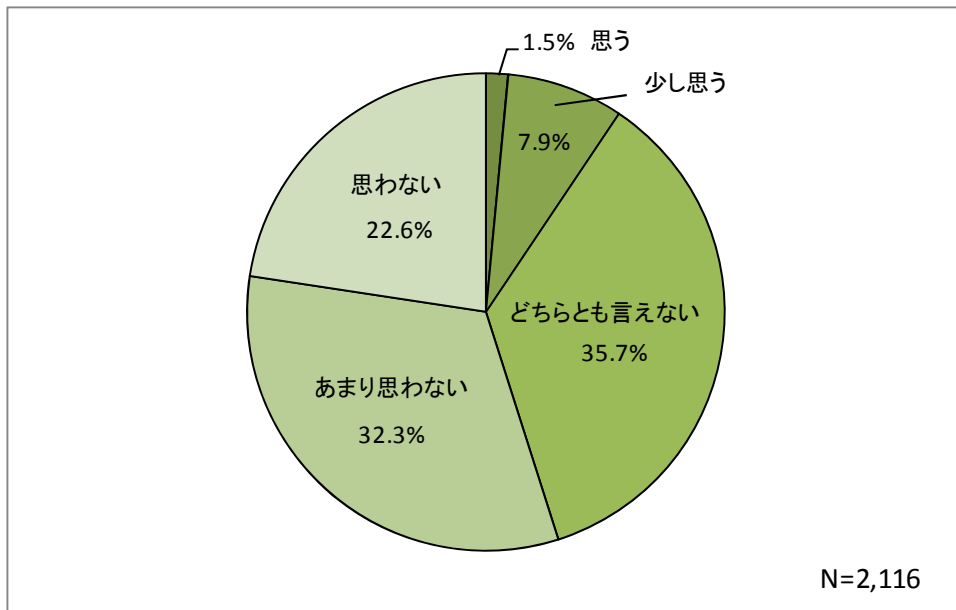
問 10-1 自治会や小学校区での地域活動が盛んであると思いますか。

「どちらとも言えない」が 40.7%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は 33.1%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の 26.2%を上回っている。



問 10-2 寝屋川市政に、市民の声が届いていると思いますか。

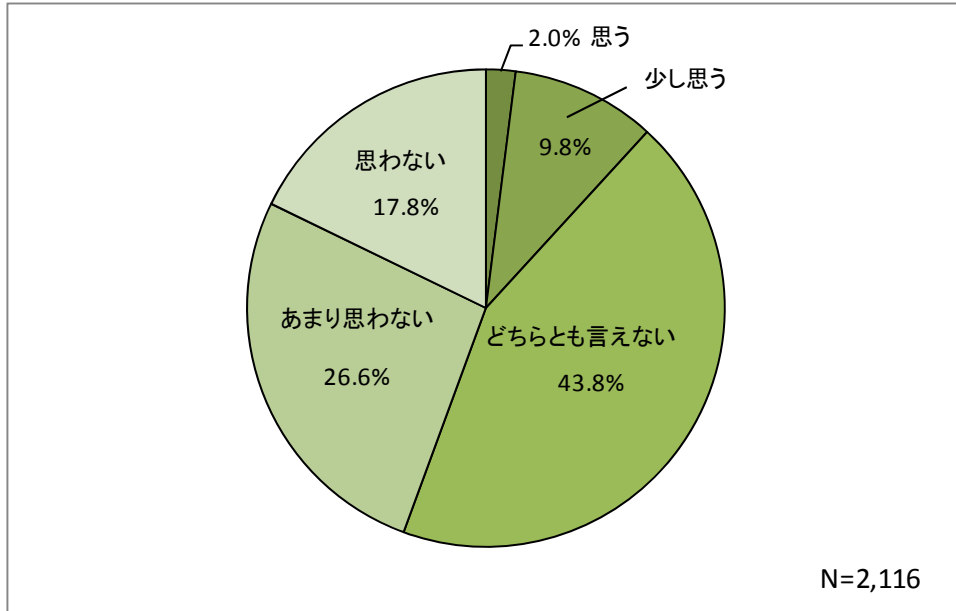
「どちらとも言えない」が 35.7%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は 9.4%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の 54.9%を大きく下回っている。



問 11 将来を見据えた自治経営について

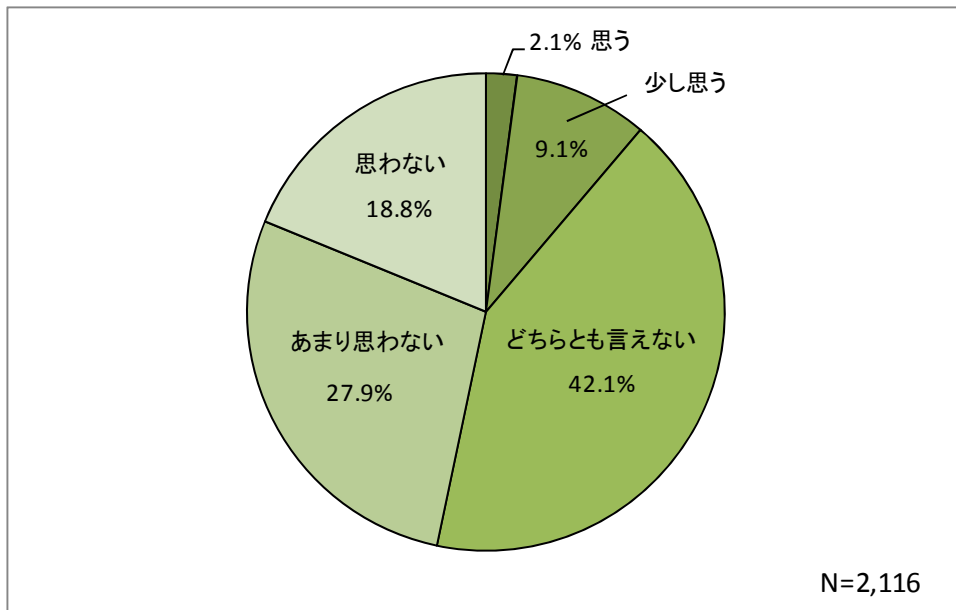
問 11-1 寝屋川市では、健全な財政運営が行われていると思いますか。

「どちらとも言えない」が 43.8%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は 11.8%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の 44.4%を大きく下回っている。



問 11-2 寝屋川市では、行財政改革が進んでいると思いますか。

「どちらとも言えない」が 42.1%で最も多く、「思う」と「少し思う」を合わせた『思う』は 11.2%で、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』の 46.7%を大きく下回っている。



参 考 资 料

資料 1 市民意識調査内容

平成22年度 市民意識調査 ご協力をお願いします

調査のお願い

市民の皆様には、日頃よりまちづくりにご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、このたび、市民の皆様からまちづくりについてのご意見などをお伺いし、今後の市政運営の参考とさせていただくために、市民意識調査を実施します。

この調査は、寝屋川市にお住まいの18歳以上の方を無作為に3,500人選ばせていただき、ご協力をお願いしています。

お手数ですが調査票に回答いただき、同封の返信用封筒（切手を貼る必要はありません）に入れ、

8月31日（火）までに

ご返送くださいますようお願いいたします。

この調査は、無記名で回答いただき、その結果は統計的にのみ処理して利用させていただきます。また、市政運営以外の目的で使用することはありません。

お忙しいところ恐れいますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成22年8月

寝屋川市長 馬場 好弘

●記入にあたってのお願い●

1. 回答は、あて名のご本人にお願いします。

なお、病気などやむをえない事情によって、ご本人に回答いただけない場合は、18歳以上で同居されている家族の方に回答いただきますようお願いいたします。

2. 回答は、あなたのお考えや行動などにあてはまる選択肢の番号を1つ選び、○印を付けてください。

3. 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、()内にその内容を具体的にご記入ください。

4. 返信用封筒に、ご住所・お名前を記入いただく必要はありません。

※この調査について、ご不明な点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ先●

寝屋川市 経営企画部総合計画室 TEL:072-824-1181(内線2338) FAX:072-825-0761

調 査 票

① あなたの日頃の行動など

次の各問について、あなたの日頃の行動などに最も近い選択肢を選んで、○印を付けてください。

問1 あなたは、「広報ねやがわ」を読んでいますか。

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1. 毎号読んでいる | 2. 時々読んでいる | 3. 読んでいない |
|------------|------------|-----------|

問2 あなたは、消費生活センターからの情報が役に立っていると思いますか。

- | | | |
|------------|--------------|-------------|
| 1. 役に立っている | 2. どちらとも言えない | 3. 役に立っていない |
|------------|--------------|-------------|

問3 あなたは、産業振興センター(にぎわい創造館)を知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問4 あなたは、市が配布している「健康づくりプログラム」を活用していますか。

- | | | |
|-----------|------------|---------------|
| 1. 活用している | 2. 活用していない | 3. プログラムを知らない |
|-----------|------------|---------------|

問5 あなたは、市役所や市民センターでの窓口対応に満足しましたか。

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| 1. 満足した | 2. 少し満足した | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり満足しなかった | 5. 満足しなかった | |

問6 あなたは、寝屋川市のイメージが良いと感じますか。

- | | | |
|------------|----------|--------------|
| 1. 感じる | 2. 少し感じる | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり感じない | 5. 感じない | |

② 安全で安心できるまちづくりについて

	選択肢(1つ選び、番号に○印を付けてください)				
	思う	少し思う	言えない どちらとも	思わない あまり	思わない
問1 寝屋川市は、災害に備えるまちづくりが行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問2 地域の消防防災体制が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5
問3 寝屋川市は、犯罪が少なく、安全なまちであると思いますか。	1	2	3	4	5

	選択肢(1つ選び、番号に○印を付けてください)				
	不安がある	不安がある 少し	言えない どちらとも	不安がない あまり	不安がない
問4 あなたは、雨の時に浸水の不安がありますか。	1	2	3	4	5

③ 安全で安心できるまちづくりの実現に向けた取組について

問1 災害に強いまちづくりのために、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

1. 緊急車両が通れるよう、幅の狭い道路の改良
2. 密集住宅地区の老朽化した住宅の建て替えの促進
3. 住宅、公共施設など建物の耐震化・不燃化
4. 水道、下水道などライフラインの耐震化
5. その他 ()

問2 治水対策として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

1. 水路・河川改修の促進
2. 校庭などに雨水を貯める施設の整備
3. 集中豪雨にも対応できる下水道施設の整備
4. 地域でできる水防活動への助言・指導
5. その他 ()

問3 災害時の対策として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

- | |
|--|
| 1. 避難情報の伝達体制の充実
2. 自力で避難が困難な人に対する支援体制の確立
3. 災害時に使用する発電機など機材の整備
4. 食糧や飲料水など必要物資の備蓄
5. その他 () |
|--|

問4 防犯対策として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

- | |
|---|
| 1. 暗い夜道を減らすための防犯灯の増設
2. 市民、関係団体、警察と連携した防犯パトロールの強化
3. ひったくり防止カバーなど防犯グッズの提供
4. 防犯カメラの設置の促進
5. その他 () |
|---|

④ 健康でいきいき暮らせるまちづくりについて

	選択肢(1つ選び、番号に○印を付けてください)				
	思う	少し思う	言えない ところが多い	思わない あまり	思わない
問1 市民一人ひとりの人権意識が高くなってきたと思いますか。	1	2	3	4	5
問2 地域の福祉活動が活発に行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問3 寝屋川市は、高齢者が生きがいを持ち、健康で心豊かに暮らせる環境づくりが進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
問4 寝屋川市は、障害のある人に対するサービスや支援体制が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5
問5 寝屋川市は、安心して子どもを産み育てることができるサービスや環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5

		選択肢(1つ選び、番号に○印を付けてください)				
		共感する	共感する 少し	言えない どちらとも	共感しない あまり	共感しない
問6	あなたは、「男は仕事、女は家庭」というように性別によって役割を分担する考え方に共感しますか。	1	2	3	4	5

⑤ 夢を育む学びのまちづくりについて

		選択肢(1つ選び、番号に○印を付けてください)				
		思う	少し思う	言えない どちらとも	思わない あまり	思わない
問1	寝屋川市の学校園は、教育内容が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5
問2	寝屋川市では、学校・家庭・地域が連携して青少年の育成を見守っていると思いますか。	1	2	3	4	5
問3	寝屋川市は、生涯学習の機会や情報の提供が充実していると思いますか。	1	2	3	4	5
問4	寝屋川市では、展示会・コンサート等、文化・芸術活動が活発に行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問5	寝屋川市は、スポーツ活動の環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5
問6	寝屋川市は、国際交流が盛んであると思いますか。	1	2	3	4	5

⑥ 夢を育む学びのまちづくりの実現に向けた取組について

問1 学校園施設の整備として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

1. 耐震補強工事の早期完成
2. 普通教室へのエアコン設置
3. 快適なトイレ環境の整備
4. プール・体育館の施設整備
5. その他（ ）

問2 学校教育として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

1. 確かな学力を身に付けた子どもの育成
2. 健康で元気な子どもの育成
3. 心豊かで思いやりのある子どもの育成
4. パソコンの操作能力など情報活用能力の向上
5. 英語力など国際化に対応できるコミュニケーション能力の向上
6. その他（ ）

問3 青少年の健全育成のために、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

1. 放課後や週末における子どもたちの居場所の確保
2. 子どもの登下校時の見守りやパトロール
3. 乳幼児から高齢者まで、多様な世代の人たちとの交流
4. 小中学生などの活動のリーダーとなる青少年の育成
5. その他（ ）

問4 生涯学習として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

1. 生涯学習に関する情報の提供
2. 資格や技能習得をめざした講座や講演会の充実
3. 学習成果を発表できる場や機会の提供
4. 生涯学習指導者の発掘と育成
5. その他（ ）

⑦ 快適でうるおいのあるまちづくりについて

	選択肢(1つ選び、番号に○印を付けてください)				
	思う	少し思う	言えない ところもある	思わない あまり	思わない
問1 寝屋川市では、地域の特性をいかした計画的なまちづくりが行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問2 寝屋川市では、快適な生活環境や美しいまちなみが確保されていると思いますか。	1	2	3	4	5
問3 寝屋川市は、駅周辺が魅力ある空間であると思いますか。	1	2	3	4	5
問4 寝屋川市の水道水は、安全でおいしいと思いますか。	1	2	3	4	5
問5 寝屋川市では、下水道の整備や維持管理が適切に行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問6 寝屋川市では、歩行者にやさしい道路整備が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
問7 あなたの身近に公園・緑地があると思いますか。	1	2	3	4	5

⑧ 環境を守り育てるまちづくりについて

	選択肢(1つ選び、番号に○印を付けてください)				
	思う	少し思う	言えない ところもある	思わない あまり	思わない
問1 寝屋川市では、地球温暖化防止に向けた取組の啓発活動など、温暖化対策が適切に行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問2 寝屋川市では、ごみの減量と資源リサイクルの取組が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
問3 寝屋川市では、ごみ収集及び処理が効率的かつ適正に行われていると思いますか。	1	2	3	4	5

⑨ 活力あふれるにぎわいのまちづくりについて

		選択肢(1つ選び、番号に○印を付けてください)				
		思う	少し思う	言えない どちらでも	思わない あまり	思わない
問1	寝屋川市内で、買い物がしやすいと思いますか。	1	2	3	4	5
問2	寝屋川市内で、生産した農作物を購入したいと思いますか。	1	2	3	4	5

⑩ 市民が主役のまちづくりについて

		選択肢(1つ選び、番号に○印を付けてください)				
		思う	少し思う	言えない どちらでも	思わない あまり	思わない
問1	自治会や小学校区での地域活動が盛んであると思いますか。	1	2	3	4	5
問2	寝屋川市政に、市民の声が届いていると思いますか。	1	2	3	4	5

⑪ 将来を見据えた自治経営について

		選択肢(1つ選び、番号に○印を付けてください)				
		思う	少し思う	言えない どちらでも	思わない あまり	思わない
問1	寝屋川市では、健全な財政運営が行われていると思いますか。	1	2	3	4	5
問2	寝屋川市では、行財政改革が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5

⑫ あなたご自身のことについておたずねします

次の各項目について、該当する番号を1つ選んで、番号に○印を付けてください。

あなたの性別は	1. 男性 2. 女性
あなたの年齢は	1. 18～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上
あなたの お住まいの 校区は	1. 第一中学校区 2. 第二中学校区 3. 第三中学校区 4. 第四中学校区 5. 第五中学校区 6. 第六中学校区 7. 第七中学校区 8. 第八中学校区 9. 第九中学校区 10. 第十中学校区 11. 友呂岐中学校区 12. 中木田中学校区 13. わからない ()
同居されている 家族の構成は	1. 単身世帯（ひとり暮らし） 2. 1世代世帯（夫婦だけ） 3. 2世代世帯（親と子） → → → → → 18歳未満の子ども的人数 () 人 4. 3世代世帯（親と子と孫） → → → → → 18歳未満の子ども的人数 () 人 5. その他
あなたの お仕事は	1. 会社員・公務員 2. 家事専業 3. 自営業・会社役員 4. パート・アルバイト・契約社員・派遣社員 5. 学生 6. 無職（学生、家事専業を除く）
あなたが お住まいの 住居は	1. 持ち家（一戸建て） 2. 持ち家（マンションなど） 3. 民間の借家（一戸建て） 4. 民間の借家（マンション・アパートなど） 5. 公営賃貸住宅（府営・市営・UR都市機構・公社） 6. 社宅・官舎・寮 7. その他 ()
あなたは いつ頃から 寝屋川市に住ん でいますか	1. 昭和40年以前 2. 昭和41年～50年 3. 昭和51年～60年 4. 昭和61年～平成7年 5. 平成8年～18年 6. 平成19年以降

中学校区が不明の場合は、
町名を記入してください。

調査はこれで終わりです。

記入漏れがないかご確認のうえ、返信用の封筒に入れて、

8月31日（火）までに切手を貼らずにポストへ入れてください。

ご協力ありがとうございました。

資料 2 単純集計結果

問 1 日頃の行動などについて

問 1 - 1 あなたは、「広報ねやがわ」を読んでいますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 毎号読んでいる	999	47.2 %
2. 時々読んでいる	811	38.3 %
3. 読んでいない	306	14.5 %
計	2,116	100.0 %

問 1 - 2 あなたは、消費生活センターからの情報が役に立っていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 役に立っている	535	25.3 %
2. どちらとも言えない	1,217	57.5 %
3. 役に立っていない	364	17.2 %
計	2,116	100.0 %

問 1 - 3 あなたは、産業振興センター（にぎわい創造館）を知っていますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 知っている	482	22.8 %
2. 知らない	1,634	77.2 %
計	2,116	100.0 %

問 1 - 4 あなたは、市が配布している「健康づくりプログラム」を活用していますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 活用している	266	12.6 %
2. 活用していない	1,220	57.6 %
3. プログラムを知らない	630	29.8 %
計	2,116	100.0 %

問 1 - 5 あなたは、市役所や市民センターでの窓口対応に満足しましたか。

選択肢	回答数	構成比
1. 満足した	377	17.8 %
2. 少し満足した	468	22.1 %
3. どちらとも言えない	840	39.7 %
4. あまり満足しなかった	295	14.0 %
5. 満足しなかった	136	6.4 %
計	2,116	100.0 %

問 1 - 6 あなたは、寝屋川市のイメージが良いと感じますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 感じる	108	5.1 %
2. 少し感じる	327	15.4 %
3. どちらとも言えない	662	31.3 %
4. あまり感じない	662	31.3 %
5. 感じない	357	16.9 %
計	2,116	100.0 %

問2 安全で安心できるまちづくりについて

問2-1 寝屋川市は、災害に備えるまちづくりが行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	112	5.3 %
2. 少し思う	483	22.8 %
3. どちらとも言えない	782	36.9 %
4. あまり思わない	562	26.6 %
5. 思わない	177	8.4 %
計	2,116	100.0 %

問2-2 地域の消防防災体制が充実していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	130	6.1 %
2. 少し思う	422	19.9 %
3. どちらとも言えない	930	44.0 %
4. あまり思わない	474	22.4 %
5. 思わない	160	7.6 %
計	2,116	100.0 %

問2-3 寝屋川市は、犯罪が少なく、安全なまちであると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	32	1.5 %
2. 少し思う	174	8.2 %
3. どちらとも言えない	402	19.0 %
4. あまり思わない	808	38.2 %
5. 思わない	700	33.1 %
計	2,116	100.0 %

問2-4 あなたは、雨の時に浸水の不安がありますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 不安がある	299	14.1 %
2. 少し不安がある	566	26.8 %
3. どちらとも言えない	211	10.0 %
4. あまり不安がない	614	29.0 %
5. 不安がない	426	20.1 %
計	2,116	100.0 %

問3 安全で安心できるまちづくりの実現に向けた取組について

問3-1 災害に強いまちづくりのために、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1. 緊急車両が通れるよう、幅の狭い道路の改良	892	42.2 %
2. 密集住宅地区の老朽化した住宅の建て替えの促進	314	14.8 %
3. 住宅、公共施設など建物の耐震化・不燃化	307	14.5 %
4. 水道、下水道などライフラインの耐震化	547	25.9 %
5. その他	56	2.6 %
計	2,116	100.0 %

問3-2 治水対策として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1. 水路・河川改修の促進	368	17.4 %
2. 校庭などに雨水を貯める施設の整備	164	7.8 %
3. 集中豪雨にも対応できる下水道施設の整備	1,352	63.9 %
4. 地域でできる水防活動への助言・指導	210	9.9 %
5. その他	22	1.0 %
計	2,116	100.0 %

問3-3 災害時の対策として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1. 避難情報の伝達体制の充実	889	42.0 %
2. 自力で避難が困難な人に対する支援体制の確立	500	23.6 %
3. 災害時に使用する発電機など機材の整備	111	5.3 %
4. 食糧や飲料水など必要物資の備蓄	599	28.3 %
5. その他	17	0.8 %
計	2,116	100.0 %

問3-4 防犯対策として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1. 暗い夜道を減らすための防犯灯の増設	860	40.7 %
2. 市民、関係団体、警察と連携した防犯パトロールの強化	699	33.0 %
3. ひったくり防止カバーなど防犯グッズの提供	55	2.6 %
4. 防犯カメラの設置の促進	478	22.6 %
5. その他	24	1.1 %
計	2,116	100.0 %

問4 健康でいきいき暮らせるまちづくりについて

問4-1 市民一人ひとりの人権意識が高くなってきたと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	129	6.1 %
2. 少し思う	402	19.0 %
3. どちらとも言えない	964	45.5 %
4. あまり思わない	450	21.3 %
5. 思わない	171	8.1 %
計	2,116	100.0 %

問4-2 地域の福祉活動が活発に行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	85	4.0 %
2. 少し思う	453	21.4 %
3. どちらとも言えない	864	40.8 %
4. あまり思わない	526	24.9 %
5. 思わない	188	8.9 %
計	2,116	100.0 %

問4-3 寝屋川市は、高齢者が生きがいを持ち、健康で心豊かに暮らせる環境づくりが進んでいると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	38	1.8 %
2. 少し思う	310	14.6 %
3. どちらとも言えない	846	40.0 %
4. あまり思わない	641	30.3 %
5. 思わない	281	13.3 %
計	2,116	100.0 %

問4-4 寝屋川市は、障害のある人に対するサービスや支援体制が整っていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	61	2.9 %
2. 少し思う	321	15.1 %
3. どちらとも言えない	969	45.8 %
4. あまり思わない	537	25.4 %
5. 思わない	228	10.8 %
計	2,116	100.0 %

問4-5 寝屋川市は、安心して子どもを産み育てることができるサービスや環境が整っていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	42	2.0 %
2. 少し思う	270	12.7 %
3. どちらとも言えない	835	39.5 %
4. あまり思わない	624	29.5 %
5. 思わない	345	16.3 %
計	2,116	100.0 %

問4-6 あなたは、「男は仕事、女は家庭」というように性別によって役割を分担する考え方に共感しますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 共感する	152	7.2 %
2. 少し共感する	272	12.8 %
3. どちらとも言えない	403	19.0 %
4. あまり共感しない	655	31.0 %
5. 共感しない	634	30.0 %
	2,116	100.0 %

問5 夢を育む学びのまちづくりについて

問5-1 寝屋川市の学校園は、教育内容が充実していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	49	2.3 %
2. 少し思う	245	11.6 %
3. どちらとも言えない	1,106	52.3 %
4. あまり思わない	503	23.8 %
5. 思わない	213	10.0 %
計	2,116	100.0 %

問5-2 寝屋川市では、学校・家庭・地域が連携して青少年の育成を見守っていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	74	3.5 %
2. 少し思う	441	20.8 %
3. どちらとも言えない	849	40.1 %
4. あまり思わない	539	25.5 %
5. 思わない	213	10.1 %
計	2,116	100.0 %

問5-3 寝屋川市は、生涯学習の機会や情報の提供が充実していると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	48	2.3 %
2. 少し思う	354	16.7 %
3. どちらとも言えない	1,002	47.3 %
4. あまり思わない	524	24.8 %
5. 思わない	188	8.9 %
計	2,116	100.0 %

問5-4 寝屋川市では、展示会・コンサート等、文化・芸術活動が活発に行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	70	3.3 %
2. 少し思う	435	20.5 %
3. どちらとも言えない	812	38.4 %
4. あまり思わない	575	27.2 %
5. 思わない	224	10.6 %
計	2,116	100.0 %

問5-5 寝屋川市は、スポーツ活動の環境が整っていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	51	2.4 %
2. 少し思う	326	15.4 %
3. どちらとも言えない	862	40.7 %
4. あまり思わない	624	29.5 %
5. 思わない	253	12.0 %
計	2,116	100.0 %

問5－6 寝屋川市は、国際交流が盛んであると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	27	1.3 %
2. 少し思う	156	7.4 %
3. どちらとも言えない	820	38.7 %
4. あまり思わない	728	34.4 %
5. 思わない	385	18.2 %
計	2,116	100.0 %

問6 夢を育む学びのまちづくりの実現に向けた取組について

問6-1 学校園施設の整備として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1. 耐震補強工事の早期完成	1,213	57.3 %
2. 普通教室へのエアコン設置	498	23.5 %
3. 快適なトイレ環境の整備	229	10.8 %
4. プール・体育館の施設整備	101	4.8 %
5. その他	75	3.6 %
計	2,116	100.0 %

問6-2 学校教育として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1. 確かな学力を身に付けた子どもの育成	456	21.5 %
2. 健康で元気な子どもの育成	252	11.9 %
3. 心豊かで思いやりのある子どもの育成	1,162	54.9 %
4. パソコンの操作能力など情報活用能力の向上	34	1.6 %
5. 英語力など国際化に対応できるコミュニケーション能力の向上	164	7.8 %
6. その他	48	2.3 %
計	2,116	100.0 %

問6-3 青少年の健全育成のために、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1. 放課後や週末における子どもたちの居場所の確保	819	38.7 %
2. 子どもの登下校時の見守りやパトロール	364	17.2 %
3. 乳幼児から高齢者まで、多様な世代の人たちとの交流	659	31.1 %
4. 小中学生などの活動のリーダーとなる青少年の育成	224	10.6 %
5. その他	50	2.4 %
計	2,116	100.0 %

問6-4 生涯学習として、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1. 生涯学習に関する情報の提供	776	36.7 %
2. 資格や技能習得をめざした講座や講演会の充実	821	38.8 %
3. 学習成果を発表できる場や機会の提供	177	8.3 %
4. 生涯学習指導者の発掘と育成	302	14.3 %
5. その他	40	1.9 %
計	2,116	100.0 %

問6-5 図書館について、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1. 図書館の蔵書（本・雑誌）の充実	817	38.6 %
2. 電子書籍の導入など新しい情報メディアの充実	239	11.3 %
3. 図書館を利用しにくい人のための移動図書館の充実	478	22.6 %
4. 本の貸出、予約手続きの利便性の向上	327	15.5 %
5. 読書に関する講座、講演会、イベントなどの開催	164	7.7 %
6. その他	91	4.3 %
計	2,116	100.0 %

問6-6 文化の振興を図るために、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1. 史跡など指定文化財の適切な保存・活用	339	16.0 %
2. お祭りや伝統行事など地域文化の継承・発展	810	38.3 %
3. 文化活動の発表の場、鑑賞の機会の充実	290	13.7 %
4. 文化活動を担う人材及び団体の育成	281	13.3 %
5. 文化活動に関する情報提供	367	17.3 %
6. その他	29	1.4 %
計	2,116	100.0 %

問6-7 スポーツ活動を推進するために、最も重要だと思う取組を一つ選んでください。

選択肢	回答数	構成比
1. スポーツに関するイベント情報の充実	273	12.9 %
2. スポーツ教室の種類や内容の充実	409	19.3 %
3. スポーツに関する講演会、講習会の充実	101	4.8 %
4. 快適にスポーツ活動が行える施設の整備・充実	1,160	54.8 %
5. スポーツ指導者の育成	134	6.3 %
6. その他	39	1.9 %
計	2,116	100.0 %

問7 快適でうるおいのあるまちづくりについて

問7-1 寝屋川市では、地域の特性をいかした計画的なまちづくりが行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	46	2.2 %
2. 少し思う	337	15.9 %
3. どちらとも言えない	870	41.1 %
4. あまり思わない	598	28.3 %
5. 思わない	265	12.5 %
計	2,116	100.0 %

問7-2 寝屋川市では、快適な生活環境や美しいまちなみが確保されていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	51	2.4 %
2. 少し思う	405	19.1 %
3. どちらとも言えない	684	32.3 %
4. あまり思わない	668	31.6 %
5. 思わない	308	14.6 %
計	2,116	100.0 %

問7-3 寝屋川市は、駅周辺が魅力ある空間であると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	119	5.6 %
2. 少し思う	530	25.1 %
3. どちらとも言えない	542	25.6 %
4. あまり思わない	576	27.2 %
5. 思わない	349	16.5 %
計	2,116	100.0 %

問7-4 寝屋川市の水道水は、安全でおいしいと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	219	10.4 %
2. 少し思う	553	26.1 %
3. どちらとも言えない	771	36.4 %
4. あまり思わない	355	16.8 %
5. 思わない	218	10.3 %
計	2,116	100.0 %

問7-5 寝屋川市では、下水道の整備や維持管理が適切に行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	145	6.9 %
2. 少し思う	542	25.6 %
3. どちらとも言えない	938	44.3 %
4. あまり思わない	336	15.9 %
5. 思わない	155	7.3 %
計	2,116	100.0 %

問7-6 寝屋川市では、歩行者にやさしい道路整備が進んでいると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	38	1.8 %
2. 少し思う	240	11.3 %
3. どちらとも言えない	523	24.7 %
4. あまり思わない	776	36.7 %
5. 思わない	539	25.5 %
計	2,116	100.0 %

問7-7 あなたの身近に公園・緑地があると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	480	22.7 %
2. 少し思う	601	28.4 %
3. どちらとも言えない	288	13.6 %
4. あまり思わない	419	19.8 %
5. 思わない	328	15.5 %
計	2,116	100.0 %

問8 環境を守り育てるまちづくりについて

問8-1 寝屋川市では、地球温暖化防止に向けた取組の啓発活動など、温暖化対策が適切に行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	23	1.1 %
2. 少し思う	174	8.2 %
3. どちらとも言えない	862	40.7 %
4. あまり思わない	670	31.7 %
5. 思わない	387	18.3 %
計	2,116	100.0 %

問8-2 寝屋川市では、ごみの減量と資源リサイクルの取組が進んでいると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	213	10.1 %
2. 少し思う	733	34.6 %
3. どちらとも言えない	610	28.8 %
4. あまり思わない	377	17.8 %
5. 思わない	183	8.7 %
計	2,116	100.0 %

問8-3 寝屋川市では、ごみ収集及び処理が効率的かつ適正に行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	304	14.4 %
2. 少し思う	759	35.9 %
3. どちらとも言えない	634	29.9 %
4. あまり思わない	265	12.5 %
5. 思わない	154	7.3 %
計	2,116	100.0 %

問9 活力あふれるにぎわいのまちづくりについて

問9-1 寝屋川市内で、買い物がしやすいと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	503	23.8 %
2. 少し思う	711	33.6 %
3. どちらとも言えない	431	20.3 %
4. あまり思わない	321	15.2 %
5. 思わない	150	7.1 %
計	2,116	100.0 %

問9-2 寝屋川市内で、生産した農作物を購入したいと思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	651	30.8 %
2. 少し思う	669	31.6 %
3. どちらとも言えない	401	19.0 %
4. あまり思わない	274	12.9 %
5. 思わない	121	5.7 %
計	2,116	100.0 %

問10 市民が主役のまちづくりについて

問10-1 自治会や小学校区での地域活動が盛んであると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	154	7.3 %
2. 少し思う	545	25.8 %
3. どちらとも言えない	861	40.7 %
4. あまり思わない	407	19.2 %
5. 思わない	149	7.0 %
計	2,116	100.0 %

問10-2 寝屋川市政に、市民の声が届いていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	31	1.5 %
2. 少し思う	167	7.9 %
3. どちらとも言えない	756	35.7 %
4. あまり思わない	684	32.3 %
5. 思わない	478	22.6 %
計	2,116	100.0 %

問11 将来を見据えた自治経営について

問11-1 寝屋川市では、健全な財政運営が行われていると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	43	2.0 %
2. 少し思う	207	9.8 %
3. どちらとも言えない	926	43.8 %
4. あまり思わない	563	26.6 %
5. 思わない	377	17.8 %
計	2,116	100.0 %

問11-2 寝屋川市では、行財政改革が進んでいると思いますか。

選択肢	回答数	構成比
1. 思う	45	2.1 %
2. 少し思う	192	9.1 %
3. どちらとも言えない	891	42.1 %
4. あまり思わない	590	27.9 %
5. 思わない	398	18.8 %
計	2,116	100.0 %

問12 あなたご自身のことについておたずねします

あなたの性別は

選択肢	回答数	構成比
1. 男性	805	38.0 %
2. 女性	1,276	60.3 %
未回答	35	1.7 %
計	2,116	100.0 %

あなたの年齢は

選択肢	回答数	構成比
1. 18～19歳	22	1.0 %
2. 20～29歳	178	8.4 %
3. 30～39歳	361	17.1 %
4. 40～49歳	324	15.3 %
5. 50～59歳	340	16.1 %
6. 60～69歳	508	24.0 %
7. 70～79歳	299	14.1 %
8. 80歳以上	76	3.6 %
未回答	8	0.4 %
計	2,116	100.0 %

あなたのお住まいの校区は

選択肢	回答数	構成比
1. 第一中学校区	201	9.5 %
2. 第二中学校区	180	8.5 %
3. 第三中学校区	210	9.9 %
4. 第四中学校区	124	5.9 %
5. 第五中学校区	176	8.3 %
6. 第六中学校区	271	12.8 %
7. 第七中学校区	132	6.3 %
8. 第八中学校区	160	7.6 %
9. 第九中学校区	201	9.5 %
10. 第十中学校区	134	6.3 %
11. 友呂岐中学校区	148	7.0 %
12. 中木田中学校区	98	4.6 %
13. わからない	5	0.2 %
未回答	76	3.6 %
計	2,116	100.0 %

同居されている家族の構成は

選択肢	回答数	構成比
1. 単身世帯（ひとり暮らし）	206	9.7 %
2. 1世代世帯（夫婦だけ）	584	27.6 %
3. 2世代世帯（親と子）	1,067	50.4 %
4. 3世代世帯（親と子と孫）	141	6.7 %
5. その他	101	4.8 %
未回答	17	0.8 %
計	2,116	100.0 %

18歳未満の子どもの人数

選択肢	2世代世帯	3世代世帯
0人	253	29
1人	212	29
2人	174	30
3人	56	9
4人	6	2
5人	3	1
7人	0	1

あなたのお仕事は

選択肢	回答数	構成比
1. 会社員・公務員	529	25.0 %
2. 家事専業	481	22.7 %
3. 自営業・会社役員	200	9.5 %
4. パート・アルバイト・契約社員・派遣社員	424	20.0 %
5. 学生	49	2.3 %
6. 無職（学生、家事専業を除く）	414	19.6 %
未回答	19	0.9 %
計	2,116	100.0 %

あなたがお住まいの住居は

選択肢	回答数	構成比
1. 持ち家（一戸建て）	1,248	59.0 %
2. 持ち家（マンションなど）	321	15.2 %
3. 民間の借家（一戸建て）	66	3.1 %
4. 民間の借家（マンション・アパートなど）	244	11.5 %
5. 公営賃貸住宅（府営・市営・UR・公社）	165	7.8 %
6. 社宅・官舎・寮	17	0.8 %
7. その他	39	1.8 %
未回答	16	0.8 %
計	2,116	100.0 %

あなたはいつ頃から寝屋川市に住んでいますか

選択肢	回答数	構成比
1. 昭和40年以前	306	14.5 %
2. 昭和41年～50年	540	25.5 %
3. 昭和51年～60年	456	21.6 %
4. 昭和61年～平成7年	348	16.4 %
5. 平成8年～18年	305	14.4 %
6. 平成19年以降	146	6.9 %
未回答	15	0.7 %
計	2,116	100.0 %